

山県市

子ども・子育て支援事業に関する ニーズ調査報告書

平成 26 年 3 月

岐阜県 山県市

目次

第1章 調査実施の概要

1	調査の目的	3
2	調査の設計	3
	(1) 調査票の種類と調査の実施方法等	3
	(2) 調査票の配布・回収状況	4
3	グラフ等の見方について	4
	(1) 電算処理の注意点	4
	(2) 現状人口と人口推計の活用について	4
	(3) 設問の注意点	4
4	調査対象者の属性・家族状況	5
	(1) 就学前児童の属性	5
	(2) 小学生の属性	5
	(3) 居住地区の状況	6
	(4) 調査回答者の状況と配偶者有無	7

第2章 子育て家庭を取り巻く環境

1	子育ての環境について	11
	(1) 主な保育者と親族等協力者の状況	11
	(2) 子育てに関する相談者の状況	14
2	主な保育者とその就労状況	15
	(1) 母親の就労状況	15
	(2) 父親の就労状況	19

第3章 子育て支援サービス等の現状と今後のニーズ量

1	就学前児童・小学生数の推移と推計	25
2	子育て支援サービスの利用状況と利用希望	26
	(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	26
	(2) 施設サービスごとの利用希望	28
	(3) 定期的な教育・保育の利用理由と未利用の理由	30
3	地域の子育て支援拠点事業の利用状況と利用希望	31
	(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況と利用希望	31
	(2) 休日の教育・保育事業の利用意向	32
	(3) 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ	35
	(4) 一時預かり事業の潜在ニーズ	41
	(5) 放課後の過ごし方について	48
4	子育て支援サービスの周知・利用状況と今後の利用意向	57
5	その他のことについて	58

第4章 育児休業制度の利用状況

1	育児休業制度の利用状況	69
2	地域の子育て支援の環境や支援への満足度	75

第 1 章

調査実施の概要

第1章 調査実施の概要

1 調査の目的

平成24年8月に、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現に寄与することを目的とする「子ども・子育て支援法」が成立し、新しい「子ども・子育て支援制度」が施行されます。

新しい制度では、子ども・子育て支援法の基本理念や、子ども・子育ての意義を踏まえて、今後5年間の事業計画を作成することになります。

このような状況により、事業計画の策定に必要な情報を得るため、住民ニーズの動向分析等を行い、現状と今後の子ども・子育て支援における課題を整理することを目的としたアンケート調査を実施しました。

2 調査の設計

(1) 調査票の種類と調査の実施方法等

調査対象者別の調査内容は以下のとおりです。

▶ 調査の実施方法

①ニーズ調査票（就学前児童用）	
調査対象者	就学前児童を持つ保護者
標本数	870 件
調査方法	調査対象者全員に調査を実施
配布・回収方法	保育園を通じた配布・回収と、一部郵送による配布・回収
調査時期	平成 25 年 11 月 25 日～平成 25 年 12 月 6 日
②ニーズ調査票（小学生用）	
調査対象者	小学生を持つ保護者
標本数	779 件
調査方法	調査対象者全員に調査を実施
配布・回収方法	小学校を通じた配布・回収
調査時期	平成 25 年 11 月 25 日～平成 25 年 12 月 6 日

※就学前児童、小学生両方の子どもを持つ保護者には①、②両方の調査を実施

※就学前児童、小学生の各調査票について同世帯に兄弟がいる場合、一番上の子を「宛名の子」とする。



(2) 調査票の配布・回収状況

▶ 調査票の配布・回収状況

調査対象者	配布数	回収数	回収率
就学前児童の保護者	870 件	598 件	68.7%
小学生の保護者	779 件	683 件 (うち無効3件)	87.7%

3 グラフ等の見方について

(1) 電算処理の注意点

調査結果の数値については小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。

(2) 現状人口と人口推計の活用について

人口推計は「コーホート変化率法」を用いて算出します。「コーホート」とは、同じ年（または同じ期間）に生まれた人々の集団のことを指し、過去における実績人口の動勢から「変化率」を求め、それに基づき人口推計を行っています。

(3) 設問の注意点

各設問内の（ ）は、小学生の保護者用の設問番号になります。

4 調査対象者の属性・家族状況

(1) 就学前児童の属性

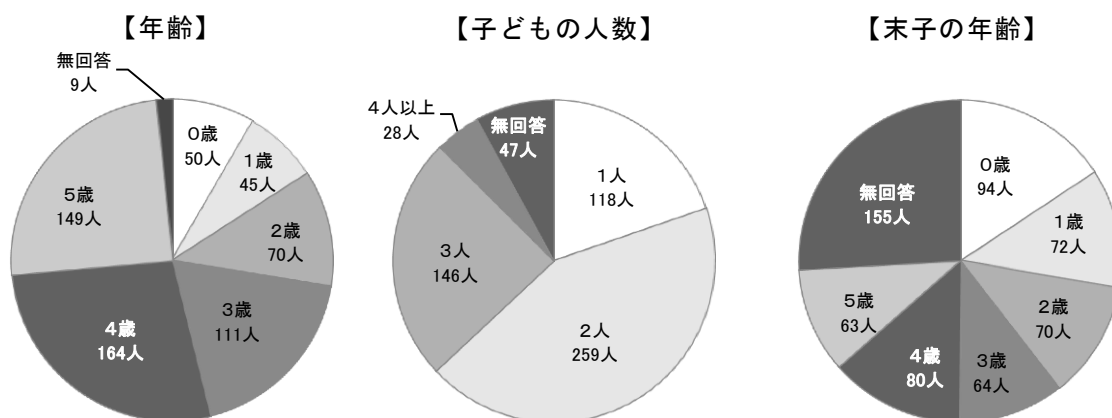
回答された598件の就学前児童の属性は、以下のとおりです。

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

※宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。

※お子さんが2人以上の場合は、末子の生年月をご記入ください。



(2) 小学生の属性

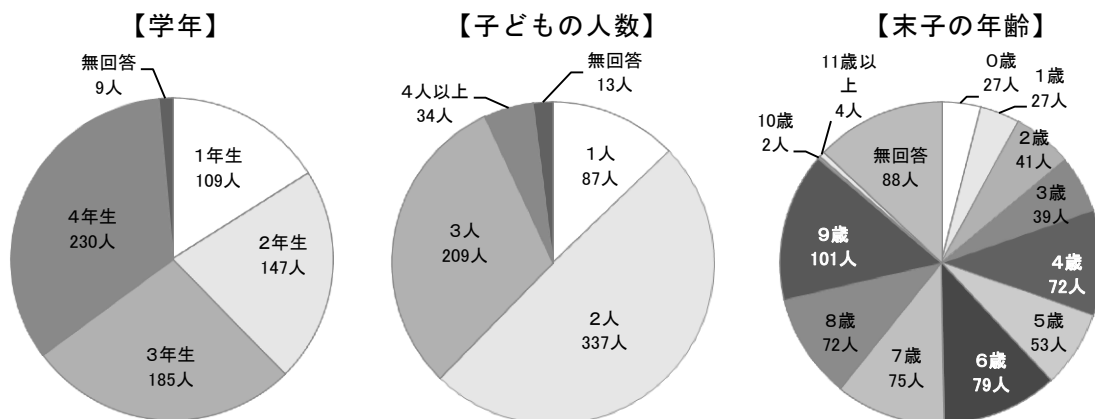
回答された680件的小学生の属性は、以下のとおりです。

(問2) 宛名のお子さんの学年はどれですか。(あてはまる番号1つに○)

(問3) 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

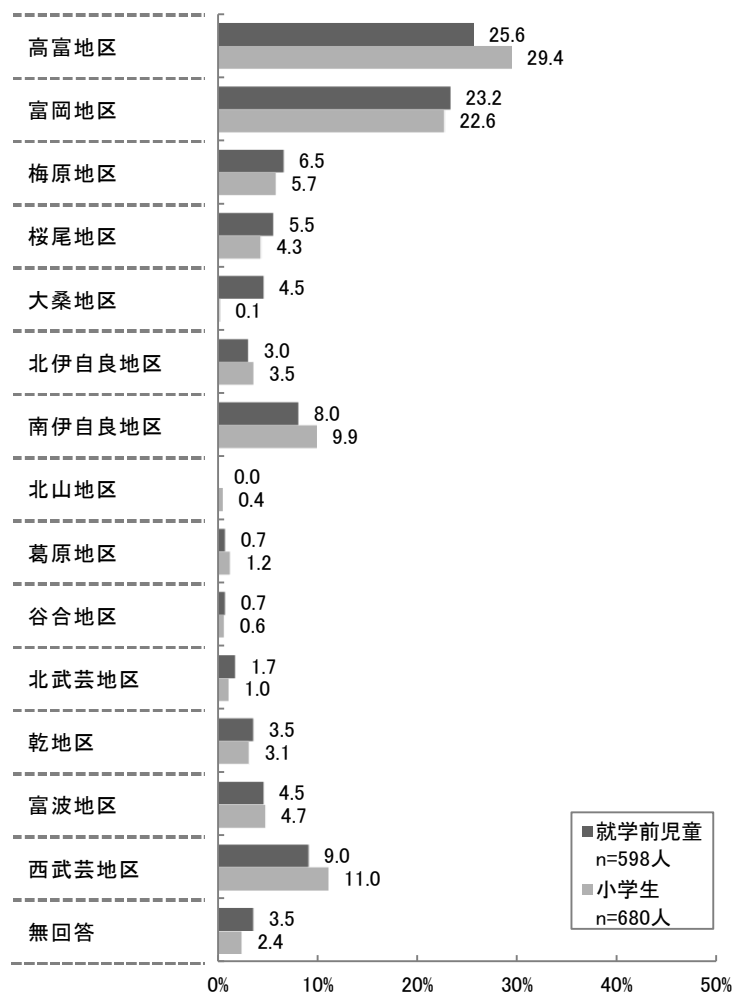
※宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。

※お子さんが2人以上の場合は、末子の生年月をご記入ください。



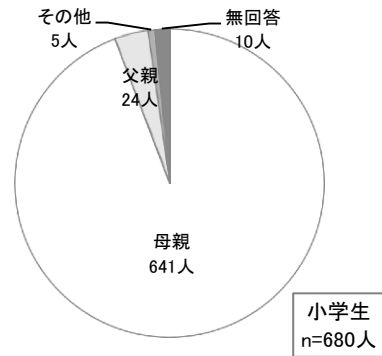
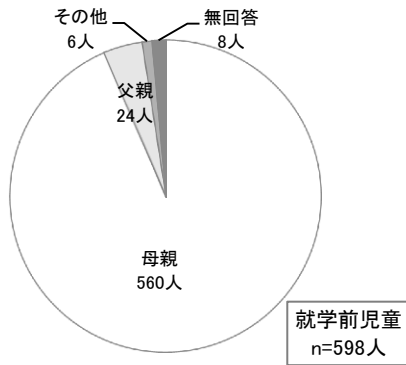
(3) 居住地区の状況

問1(問1) お住まいの地区はどれになりますか。(あてはまる番号1つに○)

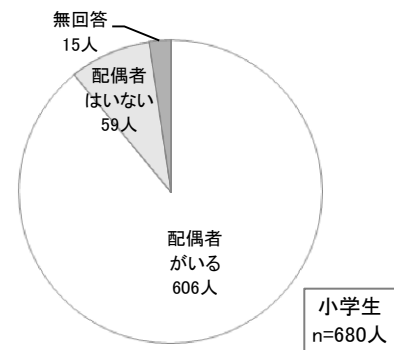
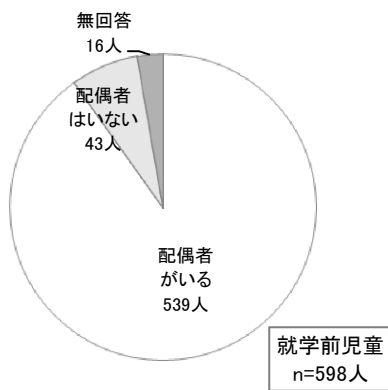


(4) 調査回答者の状況と配偶者有無

問4(問4) この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
(あてはまる番号1つに○)



問5(問5) この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。
(あてはまる番号1つに○)



第2章

子育て家庭を取り巻く環境

第2章 子育て家庭を取り巻く環境

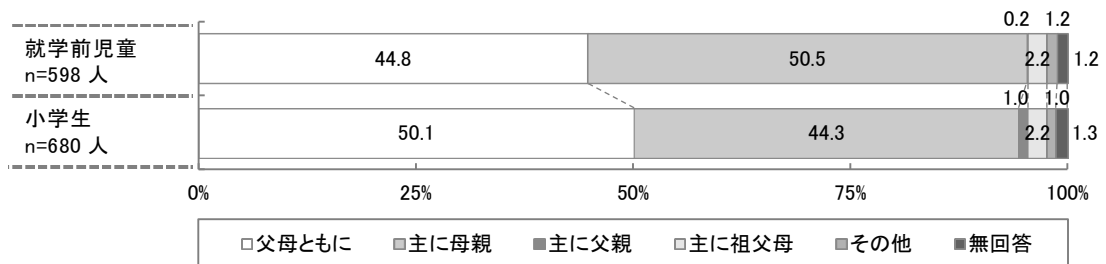
1 子育ての環境について

(1) 主な保育者と親族等協力者の状況

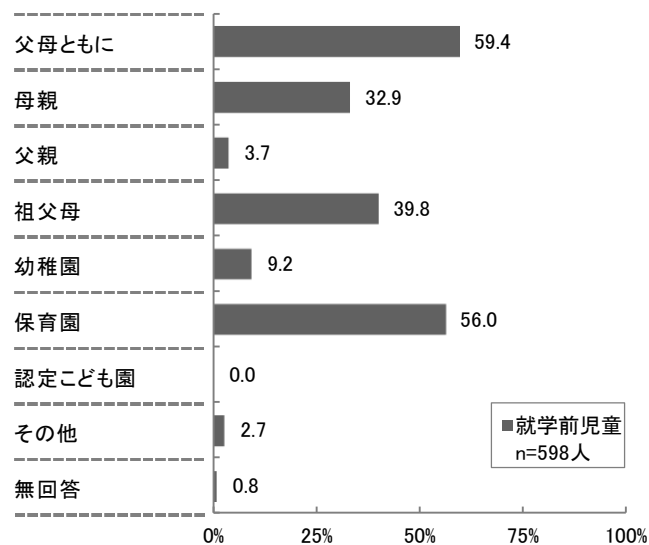
就学前児童は「主に母親」が、小学生は「父母ともに」子育てを行っている。

主に子育てを行っているのは、就学前児童では「主に母親」が50.5%、「父母ともに」が44.8%、小学生では「父母ともに」が50.1%、「主に母親」が44.3%となっています。

問6(問6) 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。
宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)



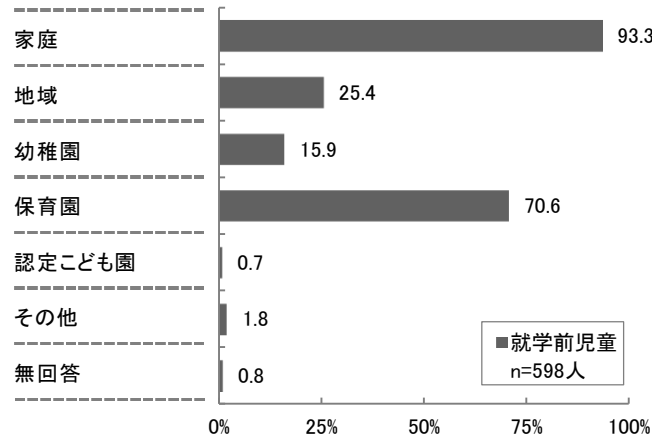
問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。
宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号すべてに○)



子育て（教育を含む）に大きな影響を与えると思う環境は「家庭」が約9割。

子育て（教育を含む）に大きな影響を与えると思う環境は「家庭」が93.3%で最も多く、次いで「保育園」となっています。

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に大きな影響を与えると思う環境は何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

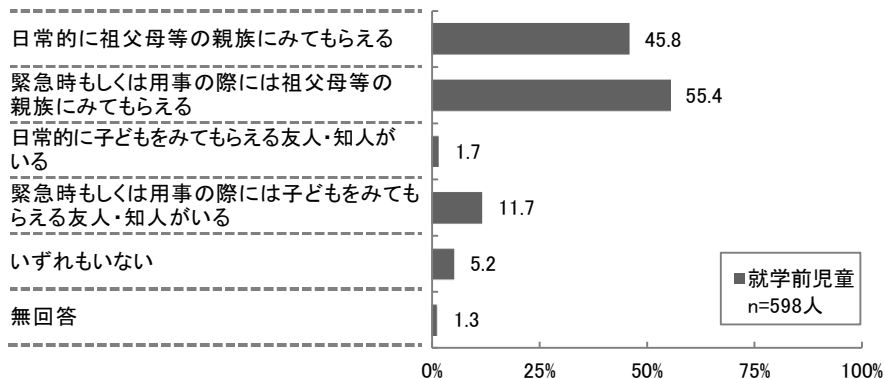


「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が約6割。

緊急時もしくは用事の際や日常的に祖父母等の親族にみてもらえる方は約4～6割となっています。同様に友人・知人では2割未満となっています。

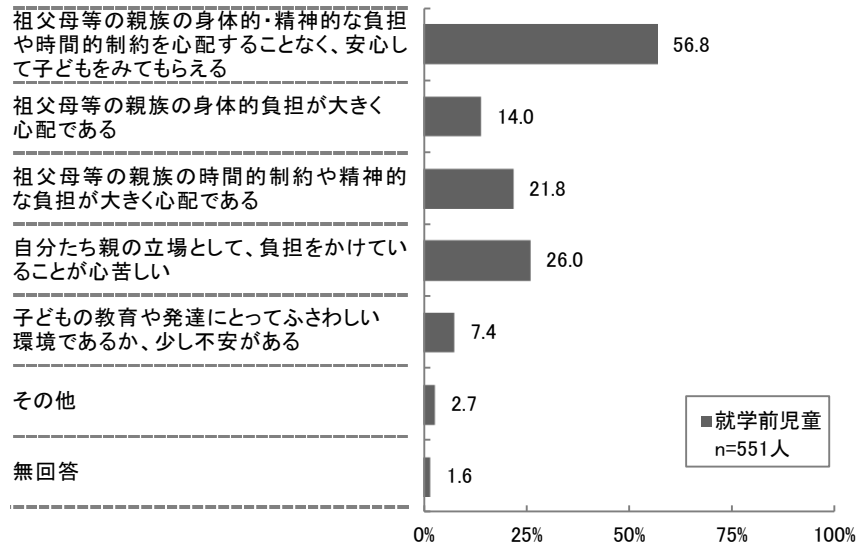
祖父母等の親族に対し、心配することなく、安心して子どもをみてもらえる方は56.8%となり、負担の心配や心苦しさを感じている方は約2～3割となっています。

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)



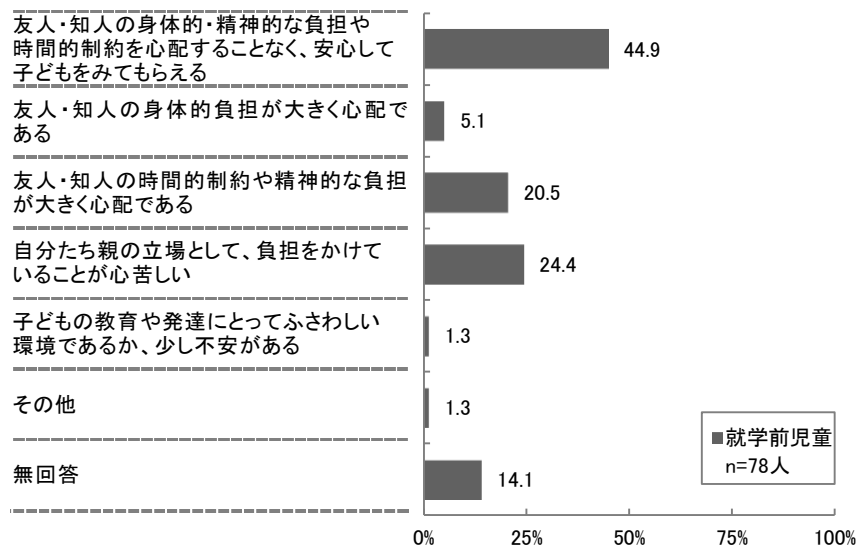
問9で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。

問9-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(あてはまる番号すべてに○)



問9で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。

問9-2 友人・知人にみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

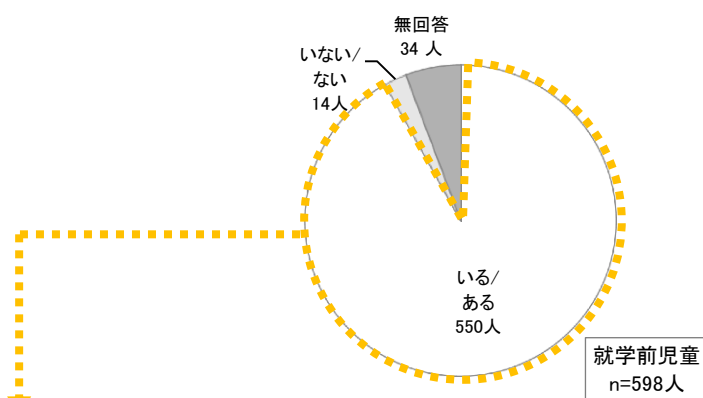


(2) 子育てに関する相談者の状況

子育てに関して、気軽に相談できる先は「配偶者・パートナー」「親族」が多い。

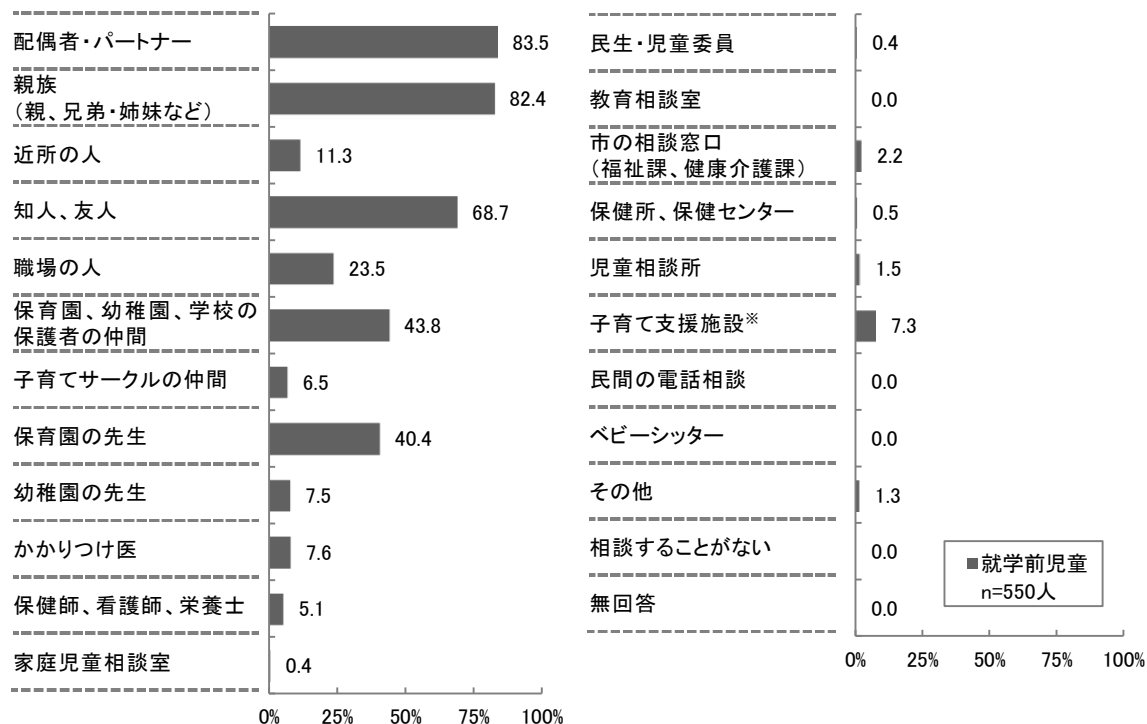
子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人がいる方は半数以上となっています。その相談先は、「配偶者・パートナー」「親族」がそれぞれ8割以上となっています。

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所がありますか。（あてはまる番号1つに○）



問10で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問10-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
（あてはまる番号すべてに○）



※子育て支援施設：高富児童館、子どもげんきはうす、おやこYYひろば、青波福祉プラザ等

2 主な保育者とその就労状況

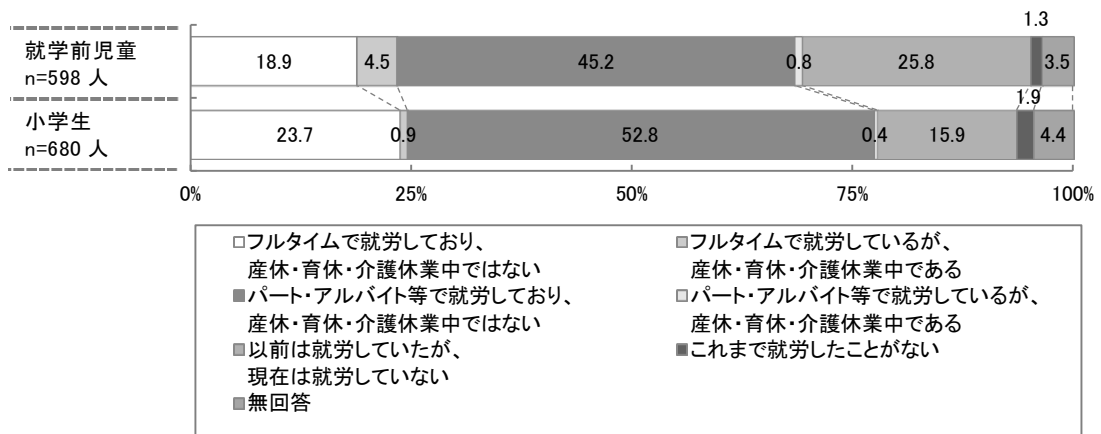
(1) 母親の就労状況

母親の現在の就労状況は、就学前児童、小学生ともに、産休・育休・介護休業中ではなく、パート・アルバイト等で就労しているとの回答が約半数で、最も多い。

母親の就労状況について、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が、就学前児童は45.2%、小学生は52.8%となっています。

フルタイムへの転換希望については、就学前児童、小学生ともに6割以上が「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」していると回答しています。

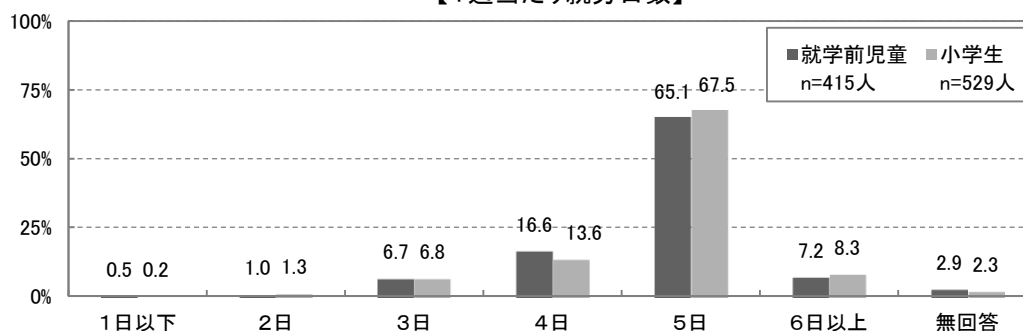
問11(問7) 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。
(あてはまる番号1つに○)



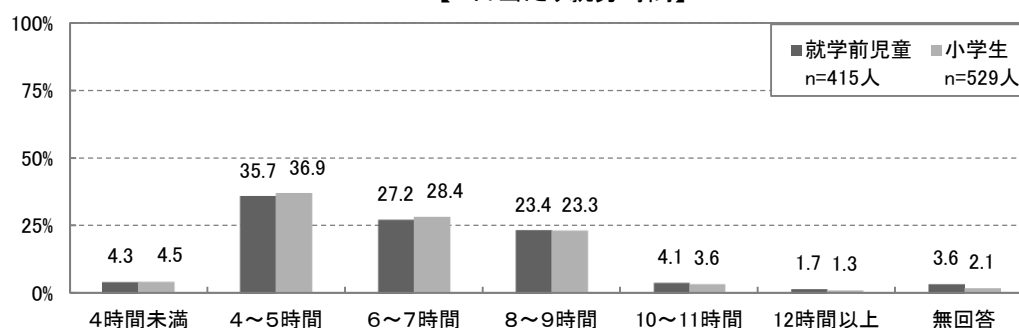
問11(問7)で「1.」または「2.」(フルタイムで就労している)、「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問11-1(問7-1) 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

【1週当たり就労日数】

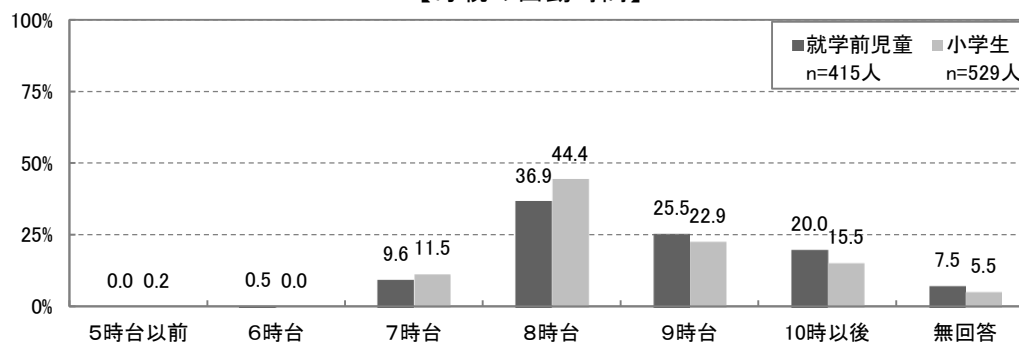


【1日当たり就労時間】

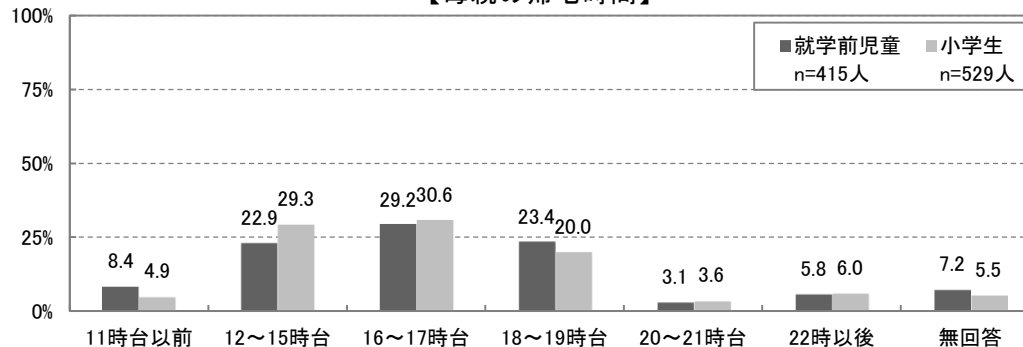


問11-2(問7-2) 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

【母親の出勤時間】

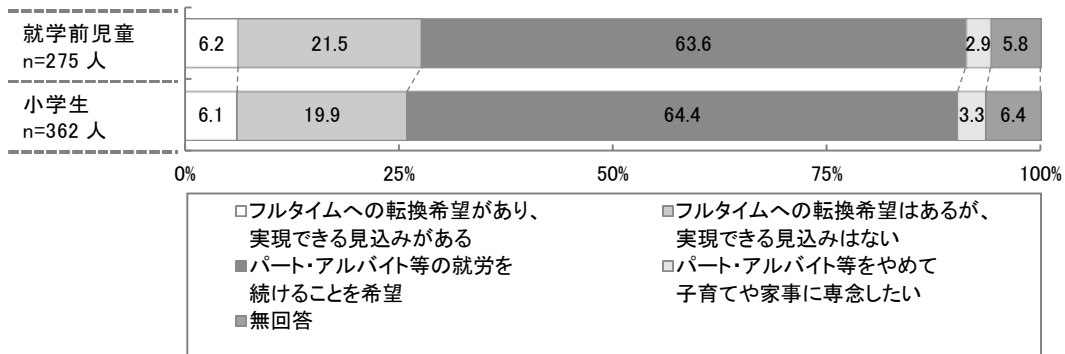


【母親の帰宅時間】



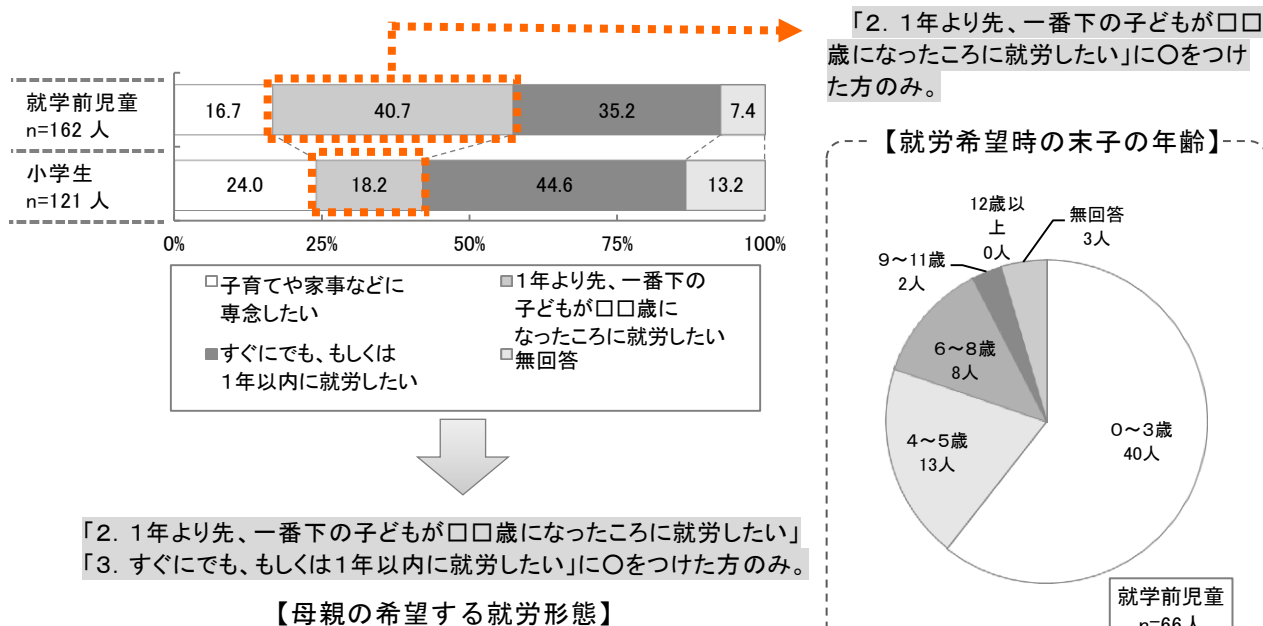
問11(問7)で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問11-3(問7-3) フルタイムへの転換希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)



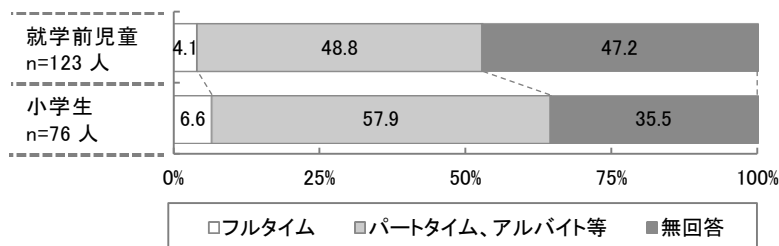
問11(問7)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

問11-4(問7-4) 就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号・記号それぞれ1つに○)



「2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」
「3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方のみ。

【母親の希望する就労形態】

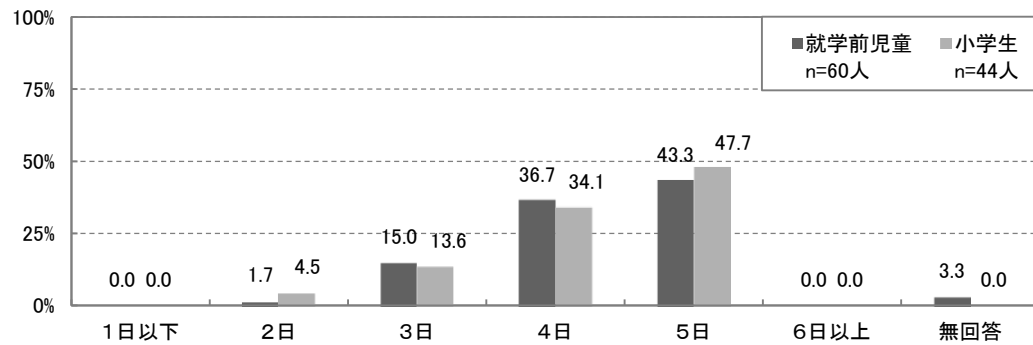




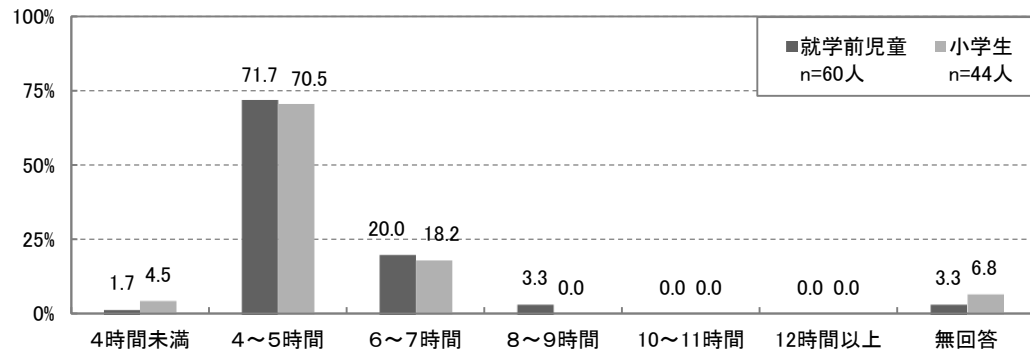
【希望する就労形態】で「イ. パートタイム、アルバイト等」に○をつけた方のみ。

【母親の希望就労日数と希望就労時間】

＜1週当たり就労日数＞



＜1日当たり就労時間＞

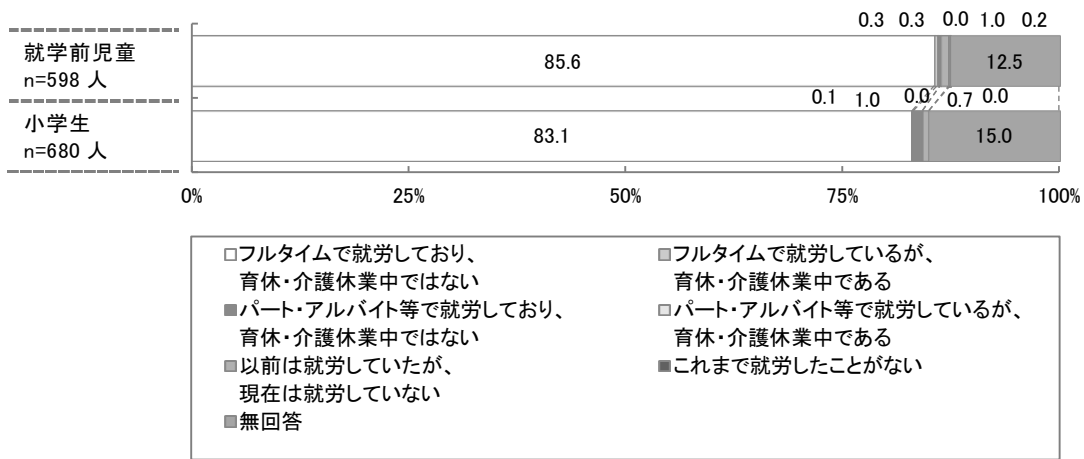


(2) 父親の就労状況

父親の現在の就労状況は、就学前児童、小学生ともに、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の回答が最も多い。

父親の就労状況について、8割以上が「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」と回答しています。

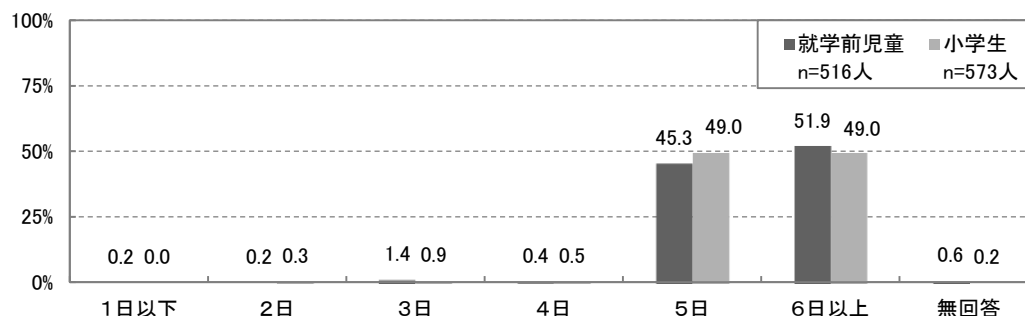
問12(問8) 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。
(あてはまる番号1つに○)



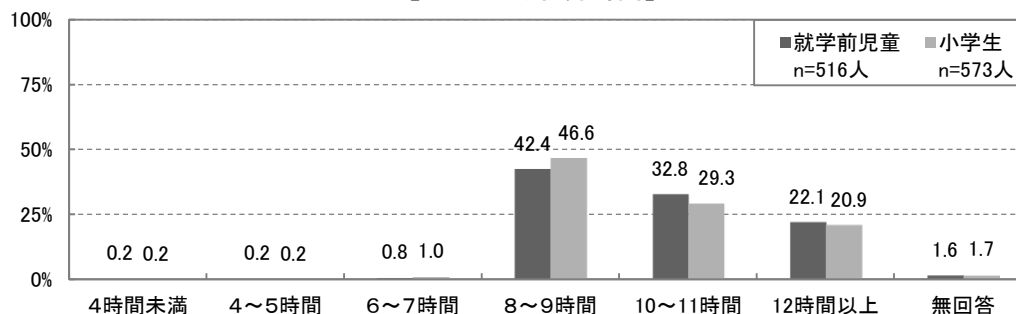
問12(問8)で「1.」または「2.」(フルタイムで就労している)、「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問12-1(問8-1) 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

【1週当たり就労日数】

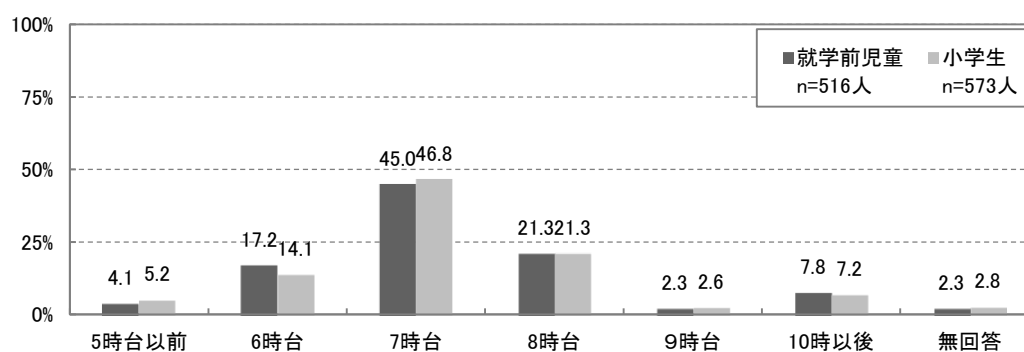


【1日当たり就労時間】

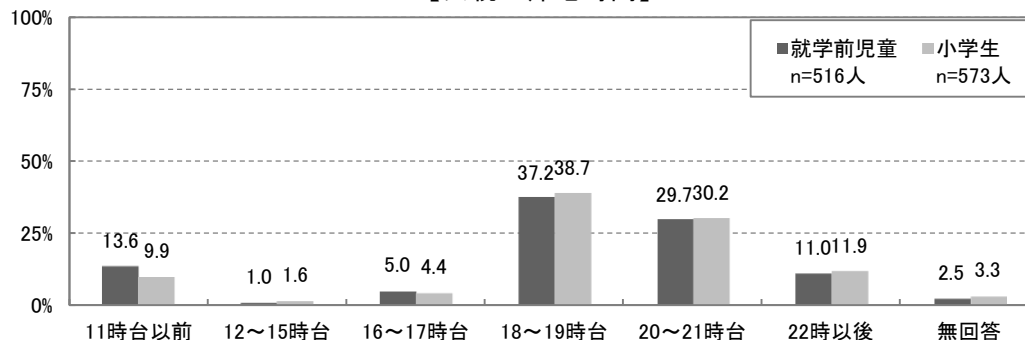


問12-2(問8-2) 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

【父親の出勤時間】

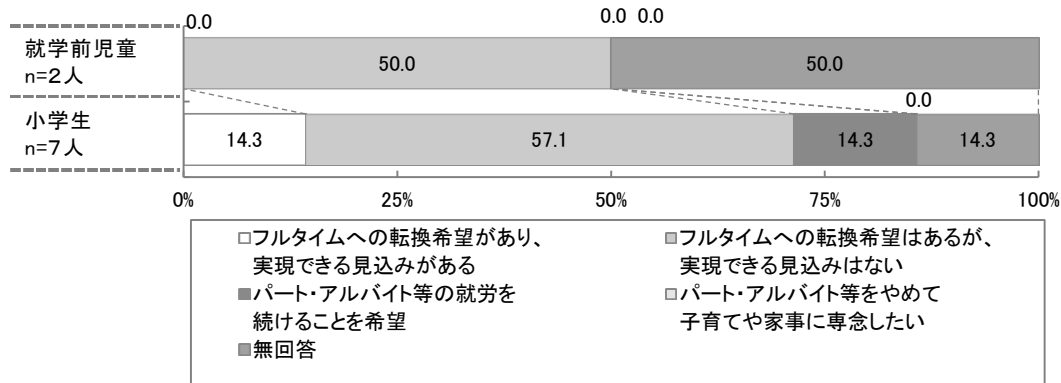


【父親の帰宅時間】



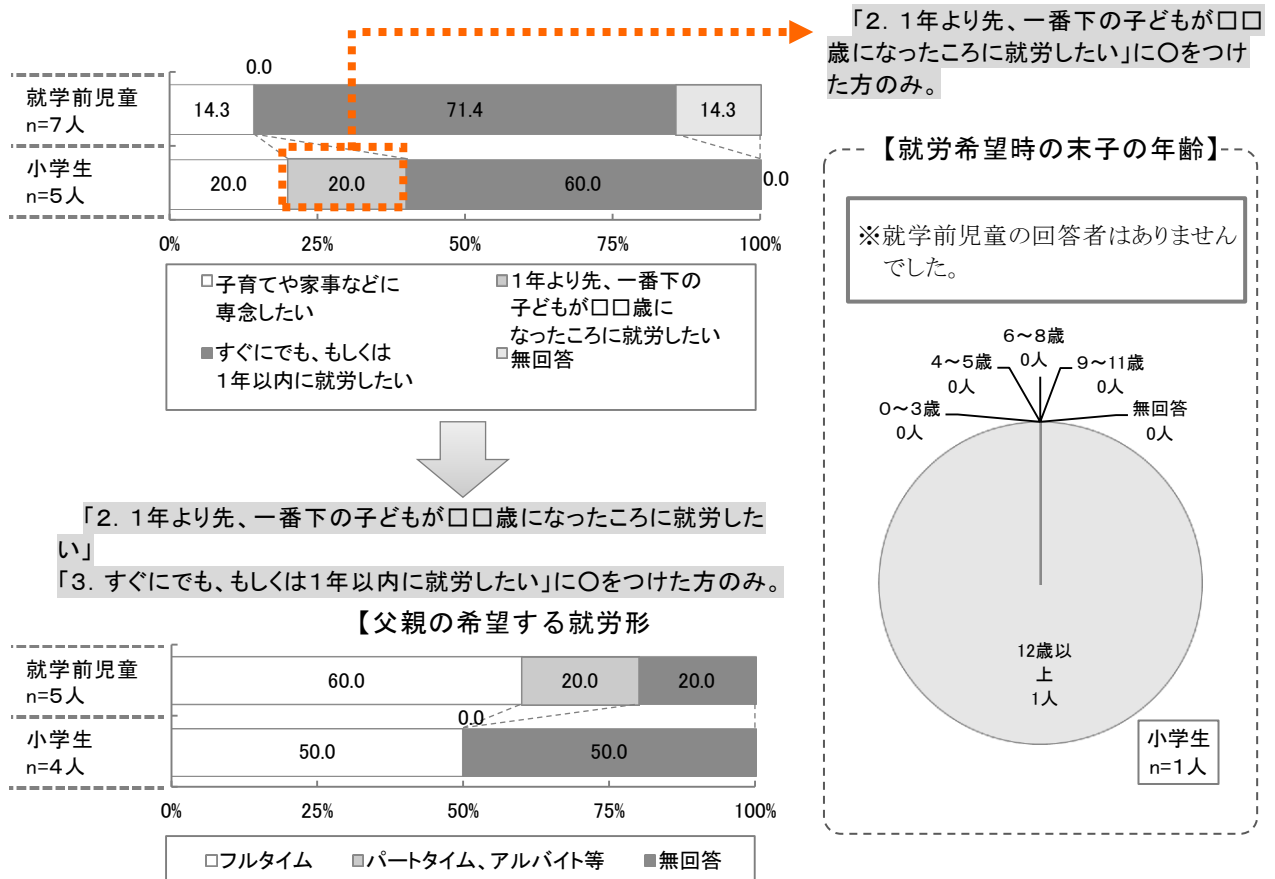
問12(問8)で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問12-3(問8-3) フルタイムへの転換希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)



問12(問8)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

問12-4(問8-4) 就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号・記号それぞれ1つに○)



【希望する就労形態】で「イ. パートタイム、アルバイト等」に○をつけた方のみ。

【父親の希望就労日数と希望就労時間】

※回答者はありませんでした。

第3章

子育て支援サービス等の現状と 今後のニーズ量

第3章 子育て支援サービス等の現状と今後のニーズ量

1 就学前児童・小学生数の推移と推計

就学前児童・小学生数の推移と推計は、以下のとおりです。

図表 就学前児童・小学生数の推移と推計

		平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年
就学前児童	0 歳	184	165	167	149	153
	1 歳	183	197	178	176	170
	2 歳	214	203	203	181	183
	3 歳	223	222	199	215	186
	4 歳	231	233	224	200	217
	5 歳	251	231	239	221	202
小学生	6 歳	263	255	229	240	222
	7 歳	285	260	255	230	241
	8 歳	287	286	259	259	233
	9 歳	299	282	279	259	261
	10 歳	306	300	278	282	258
	11 歳	294	305	298	280	282
合計		3,020	2,939	2,808	2,692	2,608



		平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年
就学前児童	0 歳	146	143	140	138	134	130
	1 歳	167	159	156	152	150	146
	2 歳	176	173	165	162	158	156
	3 歳	187	180	177	169	166	162
	4 歳	188	189	182	179	171	168
	5 歳	219	190	191	184	181	173
小学生	6 歳	202	219	190	191	184	181
	7 歳	223	203	220	191	192	185
	8 歳	243	225	205	222	193	194
	9 歳	231	241	223	203	220	191
	10 歳	260	230	240	222	202	219
	11 歳	258	260	230	240	222	202
合計		2,500	2,412	2,319	2,253	2,173	2,107

2 子育て支援サービスの利用状況と利用希望

(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

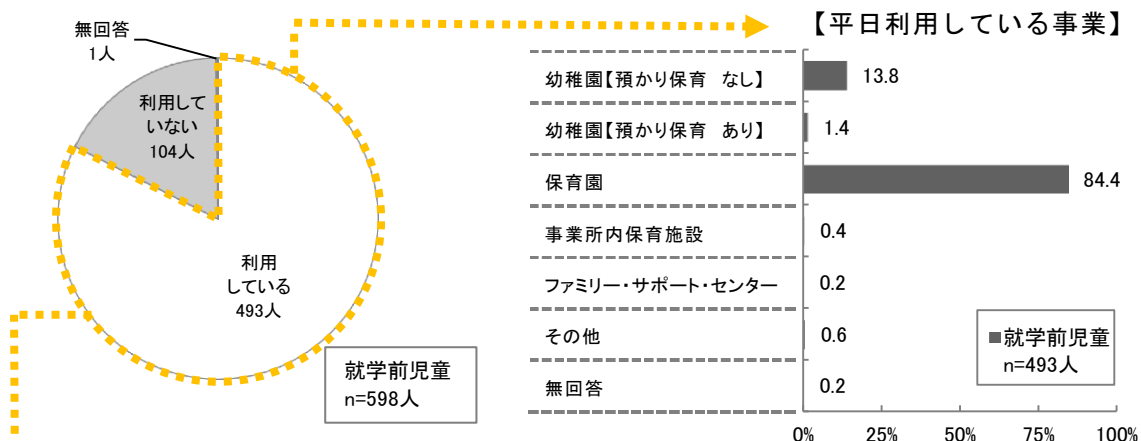
定期的な教育・保育事業について、「利用している」が8割以上、また、「利用している場所」「利用したい場所」はともに「居住している市区町村内」が多い。

定期的な教育・保育事業について、「利用している場所」と「利用したい場所」は、どちらも「居住している市区町村内」が9割以上になっています。

問13 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。
(あてはまる番号1つに○)

問13で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

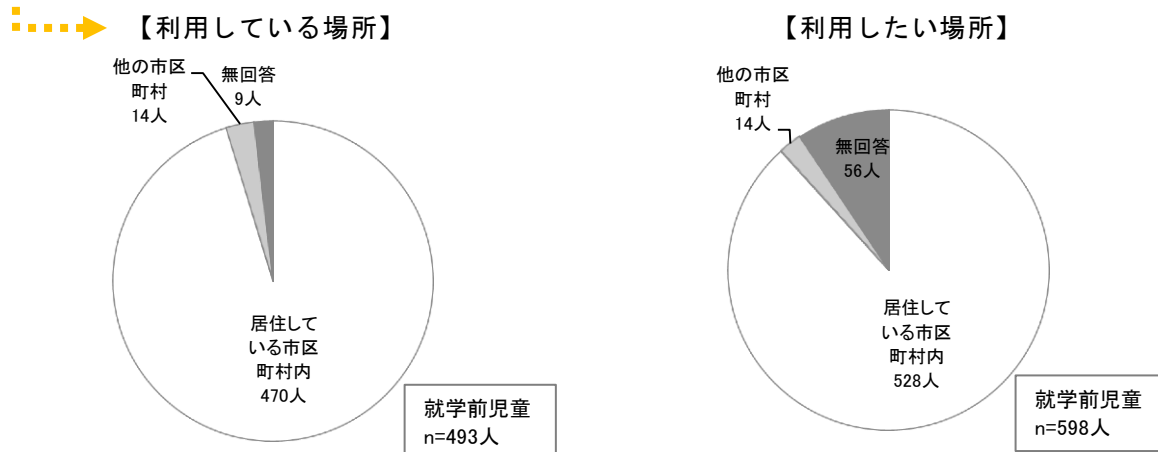
問13-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。
(あてはまる番号すべてに○)



問13で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問13-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこにありますか。(あてはまる番号1つに○)

問14-1 教育・保育事業を利用したい実施場所はどこですか。(あてはまる番号1つに○)

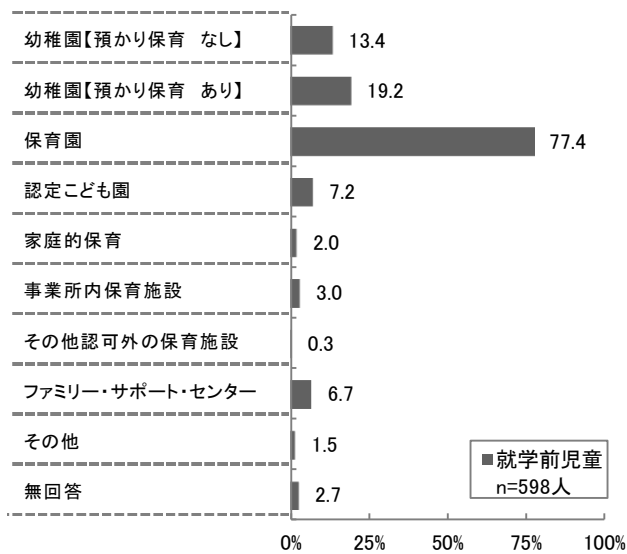


「定期的」に利用したいと考える事業は「保育園」が多い。

「定期的」に利用したいと考える事業は、「保育園」が77.4%で最も多く、次いで「幼稚園【預かり保育あり】」となっています。

すべての方にうかがいます。

問14 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的」に利用したいと考える事業はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)



(2) 施設サービスごとの利用希望

平日に定期的に利用している教育・保育の事業は、1週当たり「5日」、1日当たり「7時間」が多い。

平日に定期的に利用している教育・保育の事業は、1週当たり「5日」が9割以上を占め、1日当たり「7時間」が約5割となっています。利用開始時間は「9時台」、終了時間は「16時台」が多くなっています。

問13で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

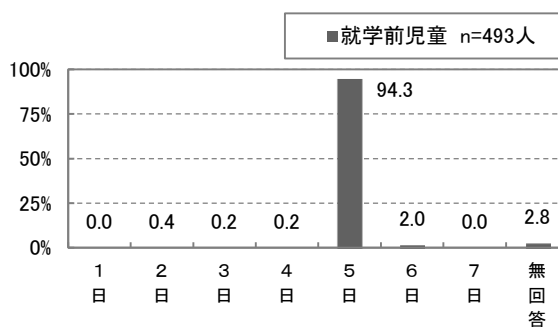
問13-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。

また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

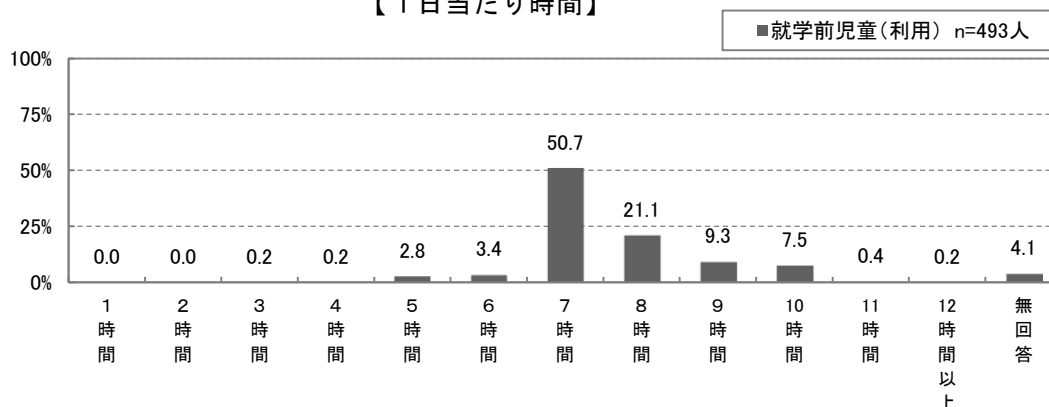
※問13-1で複数の事業に○をつけた方は、若い番号の事業についてお答えください。

①平日に定期的に利用している教育・保育の事業の利用状況

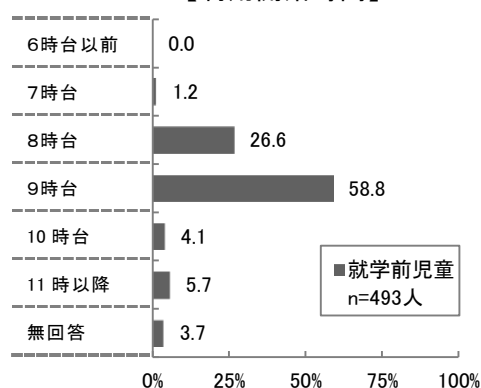
【1週当たり日数】



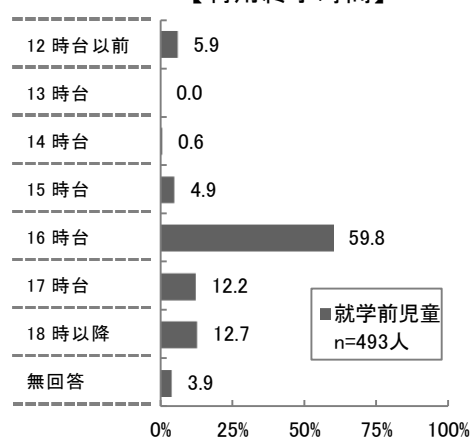
【1日当たり時間】



【利用開始時間】

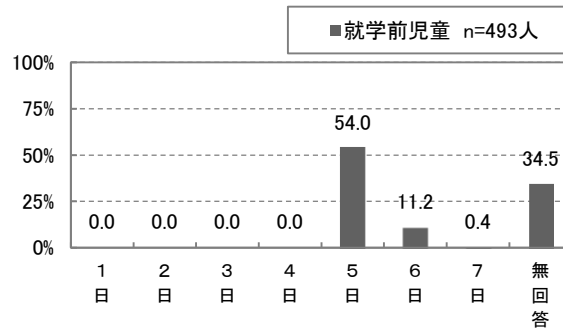
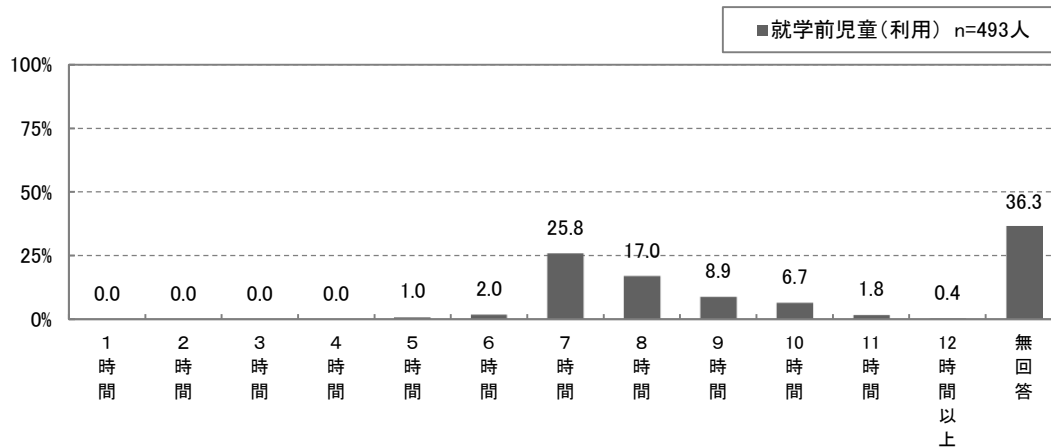
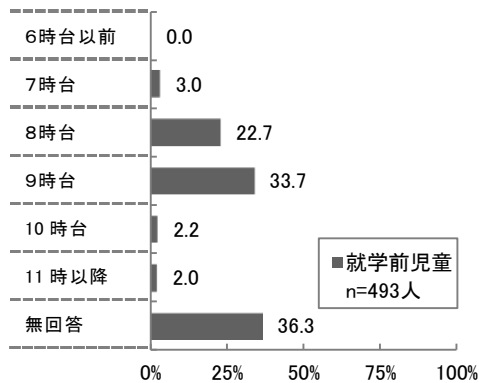
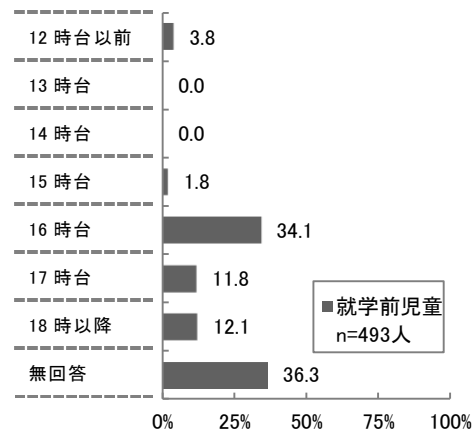


【利用終了時間】



希望日数を「6日」と回答した方が11.2%。

利用状況と比べ、大きな差はみられませんが、現在、1週当たり「6日」を利用している方は2.0%ですが、希望では11.2%となっています。

②平日に定期的に利用したい教育・保育の事業の利用希望**【1週当たり希望日数】****【1日当たり希望時間】****【利用希望開始時間】****【利用希望終了時間】**

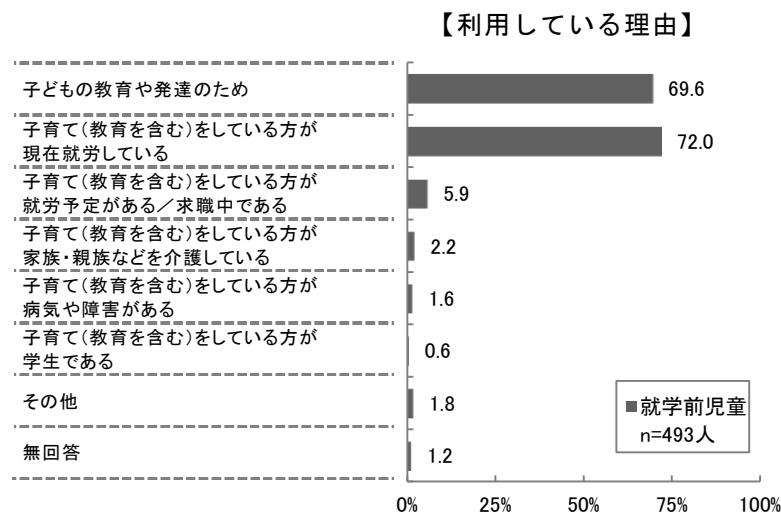
(3) 定期的な教育・保育の利用理由と未利用の理由

利用理由は「子育てをしている方が現在就労している」「子どもの教育や発達のため」が多い。

利用している理由は「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」「子どもの教育や発達のため」がそれぞれ約7割を占めています。利用していない理由は「子どもがまだ小さいため」が最も多く、子どもが「0～3歳」の時に利用を希望している方が多くみられます。

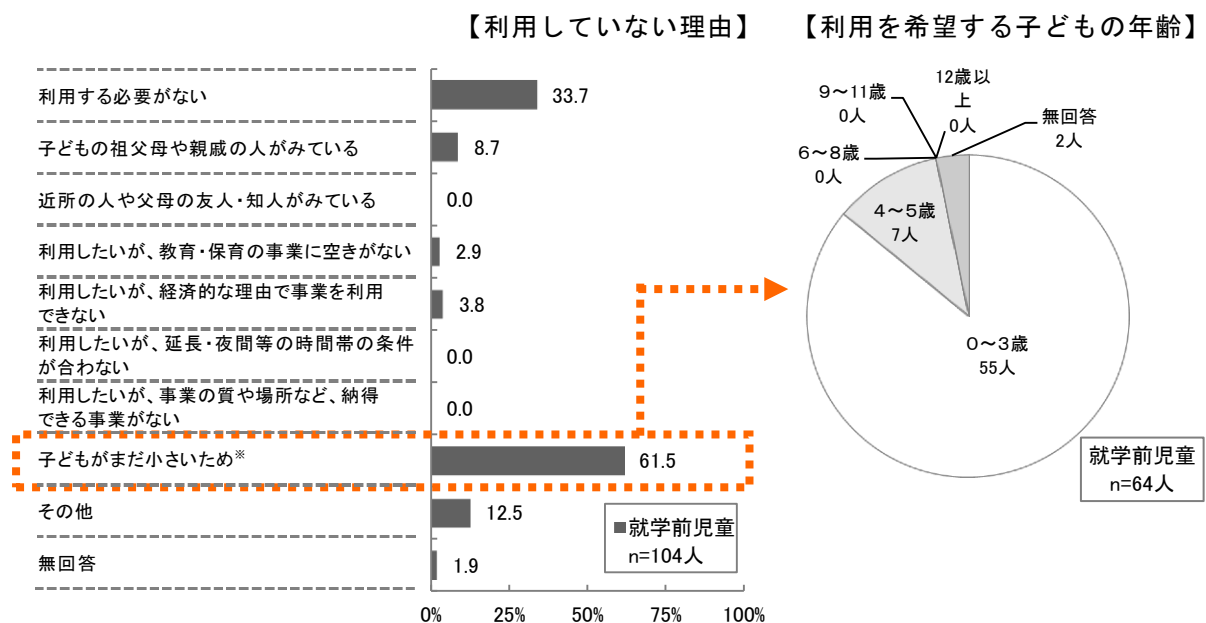
問13で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問13-4 平日に教育・保育事業を利用されている理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）



問13で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問13-5 利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）



※□□歳くらいになったら利用しようと考えている

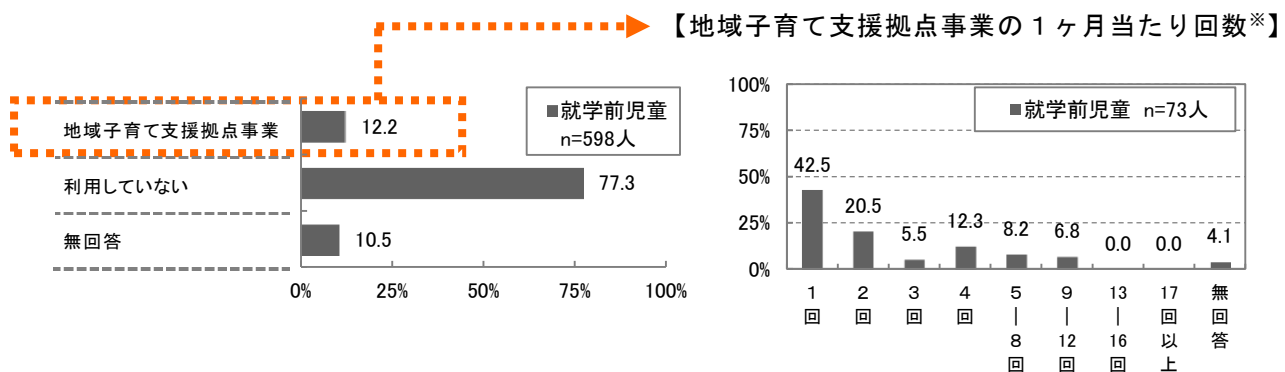
3 地域の子育て支援拠点事業の利用状況と利用希望

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況と利用希望

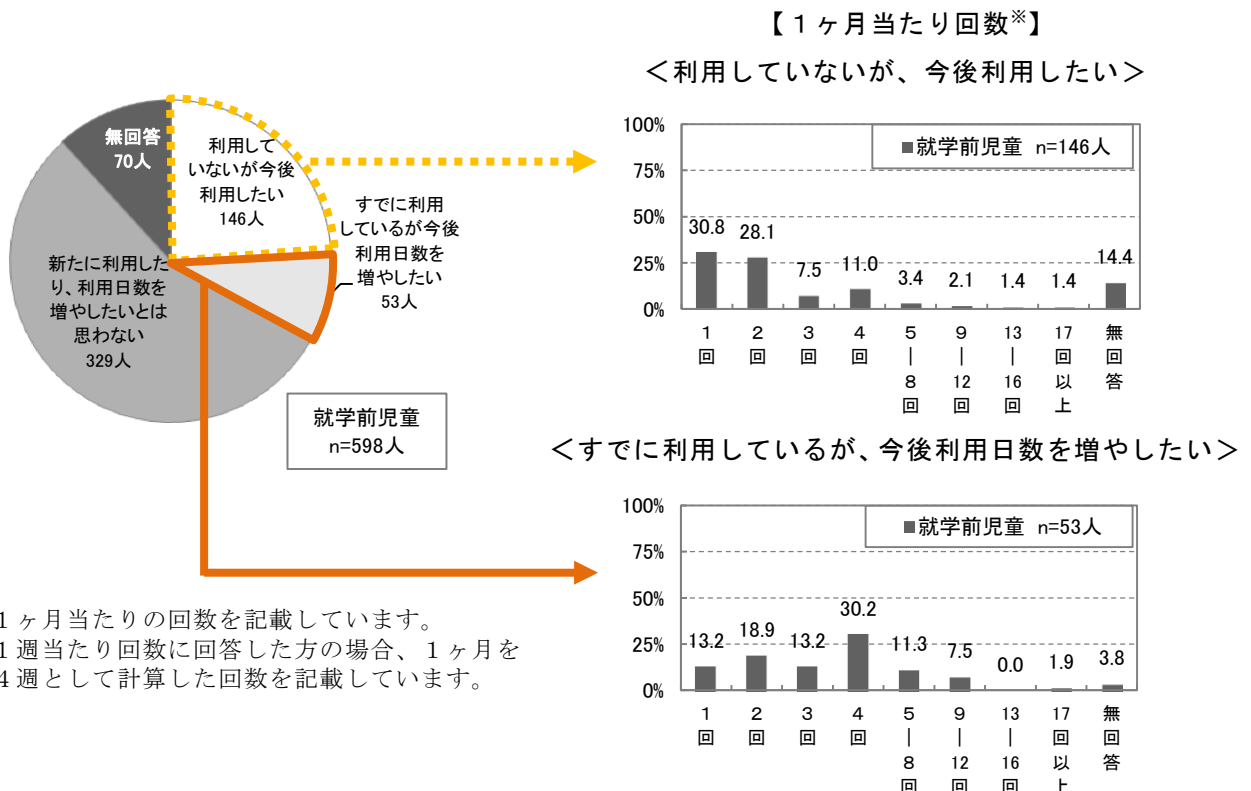
地域子育て支援拠点事業を利用していない方が約8割。

地域子育て支援拠点事業を利用していない方が77.3%となっています。事業の主な対象者は0～2歳の子育て親子ですが、本調査は兄弟がいる場合、一番上の子を「宛名の子」としているため、利用者の割合が本来よりも少なくなっていると考えられます。

問15 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター(子どもげんきはうす内)、おやこYYひろば)を利用していますか。(あてはまる番号1つに○)
※おおよその利用回数(頻度)をご記入ください。



問16 問15のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(あてはまる番号1つに○)



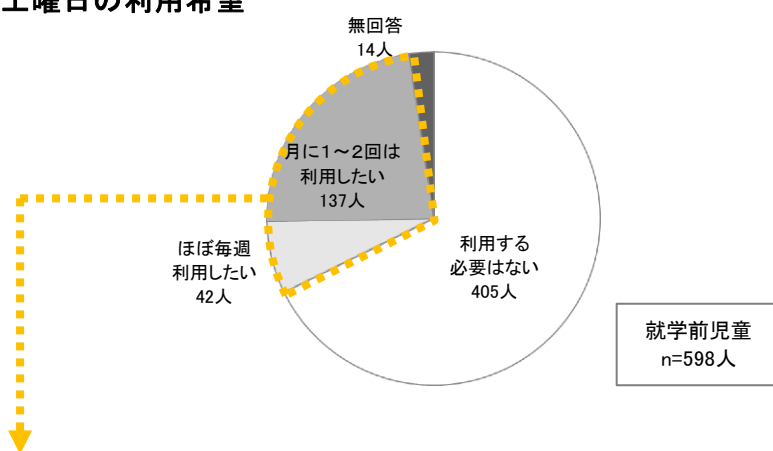
(2) 休日の教育・保育事業の利用意向

「利用する必要はない」が土曜日は約7割、日曜日・祝日は約9割。

「利用する必要はない」と回答した方が、土曜日は約7割、日曜日・祝日では約9割となっています。土曜日、日曜日・祝日ともに「月に1～2回は利用したい」が約1～2割となっています。その理由として、「月に数回仕事が入るため」が多くなっています。

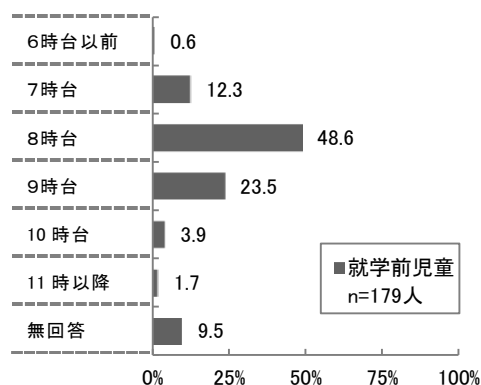
問18 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。(①②それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

①土曜日の利用希望

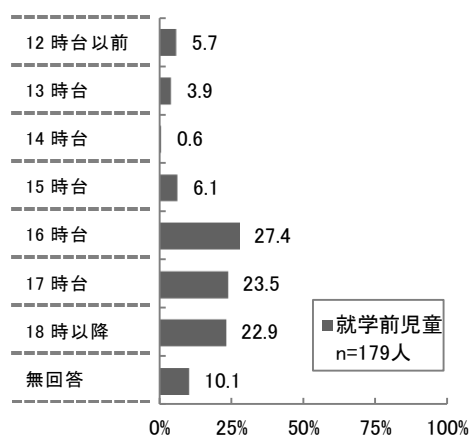


「2. ほぼ毎週利用したい」「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方のみ。

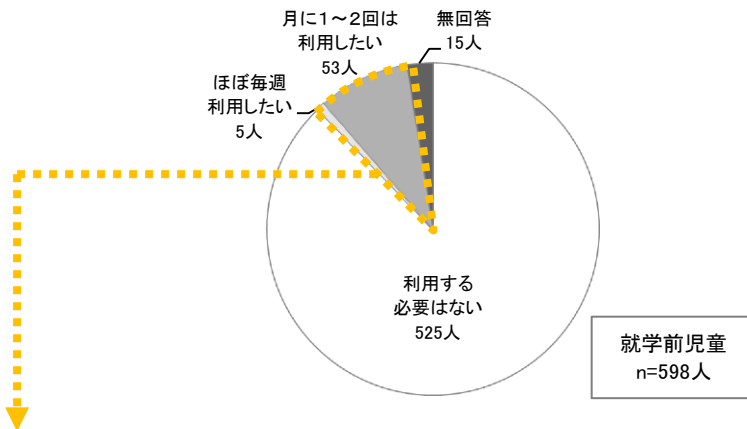
【利用希望開始時間】



【利用希望終了時間】

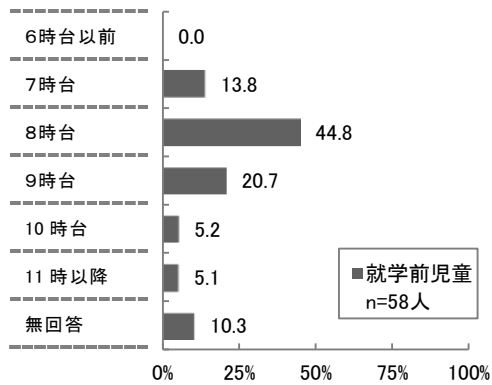


②日曜日・祝日の利用希望

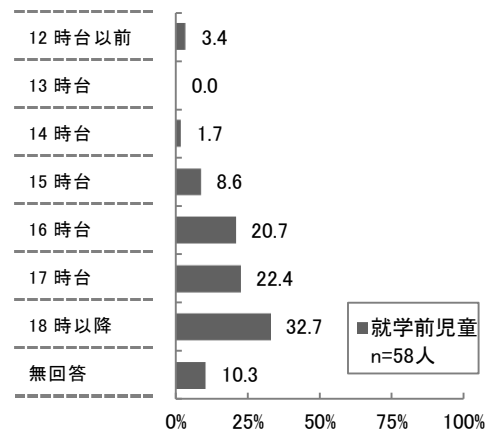


「2. ほぼ毎週利用したい」「3. 月に1~2回は利用したい」に○をつけた方のみ。

【利用希望開始時間】

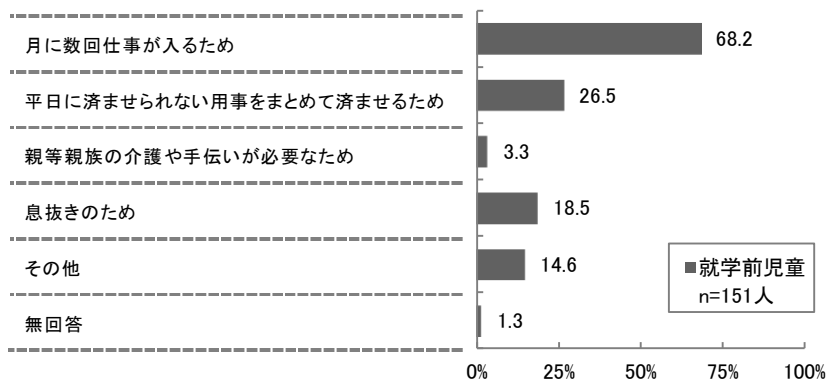


【利用希望終了時間】



問18の①もしくは②で、「3. 月に1~2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問18-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)



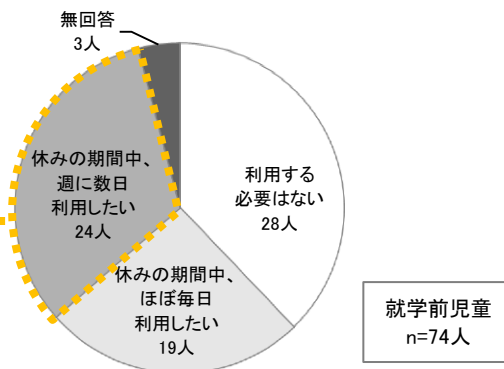
長期休暇中、ほぼ毎日、週に数日利用したい方が約6割。

幼稚園を利用されている方で長期休暇中「ほぼ毎日」「週に数日」利用したい方あわせて約6割となっています。「利用する必要はない」方が、約4割となっています。

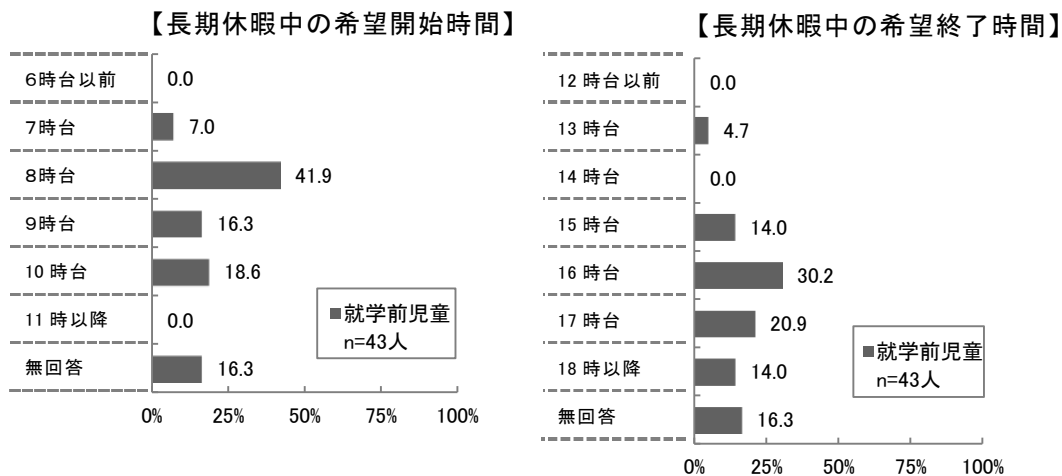
「週に数日利用したい」理由として、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」「息抜きのため」が多くなっています。

「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

問19 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。

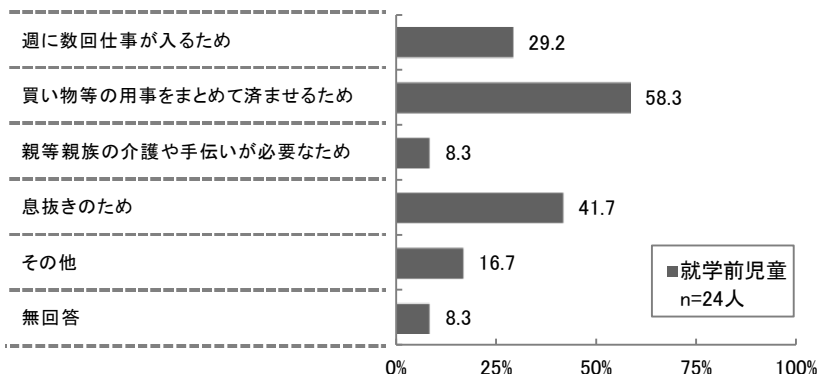


「2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方のみ。



問19で「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問19-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)



(3) 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ

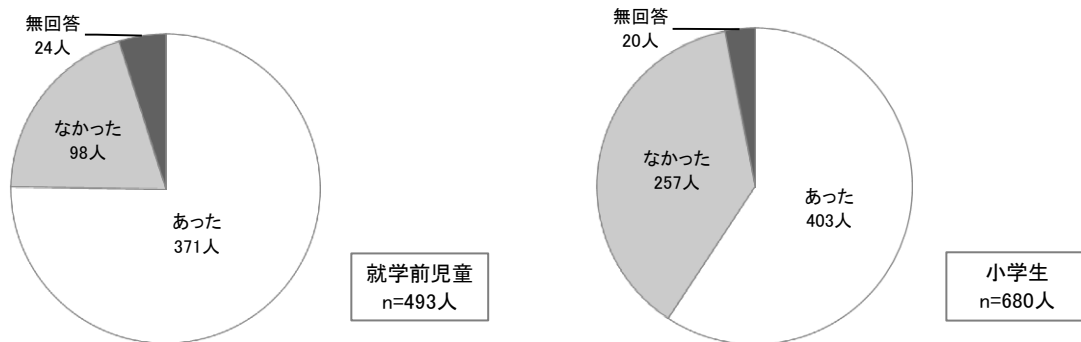
対処方法は、就学前児童、小学生ともに「母親が休んだ」が最も多い。

病気やケガにより通常の事業が利用できなかったり、小学校へ行けなかったことがある方は、就学前児童と小学生ともに半数以上となり、その時の対処方法として「母親が休んだ」が最も多くなっています。

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた方(問13で「1. 利用している」に○をつけた方)にうかがいます。

問20 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。
(あてはまる番号1つに○)

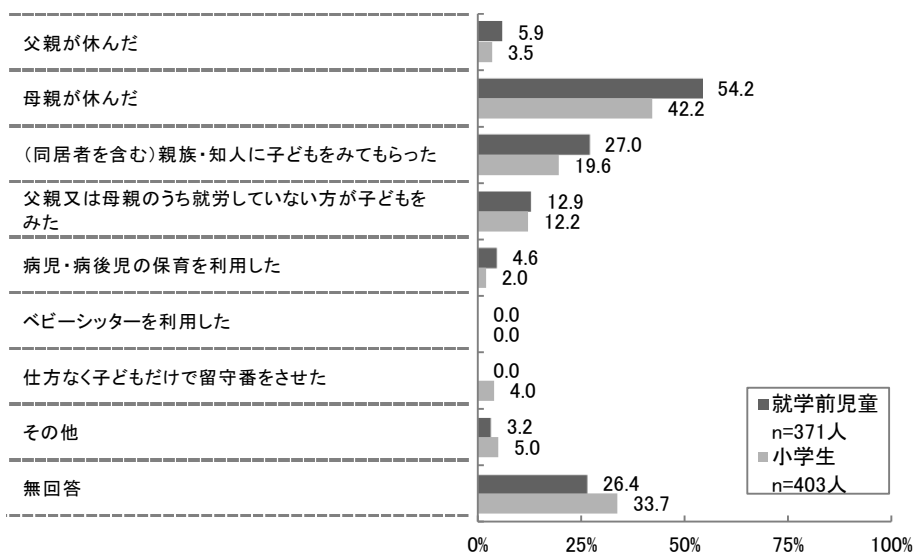
(問13) この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガでにより、平日、小学校へ行けなかったことはありますか。
(あてはまる番号1つに○)



問20(問13)で「1. あった」に○をつけた方のみ。

問20-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれになりますか。(あてはまる記号すべてに○)

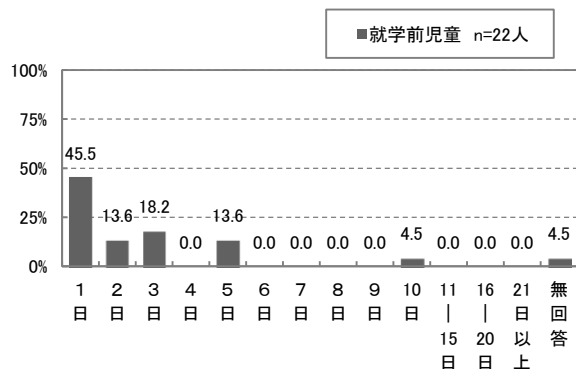
(問13-1) 宛名のお子さんが病気やケガにより、平日、小学校へ行けなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれになりますか。(あてはまる記号すべてに○)



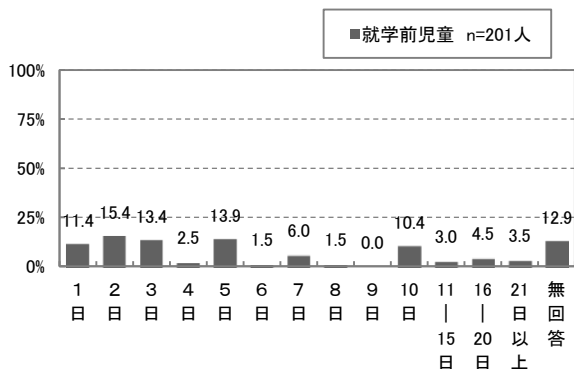


【1年間の対処方法の各日数（就学前児童）】

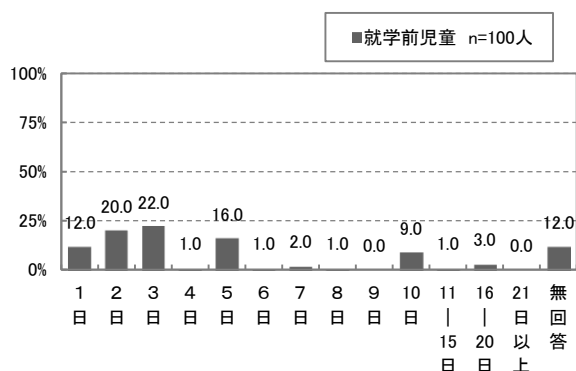
＜父親が休んだ日数＞



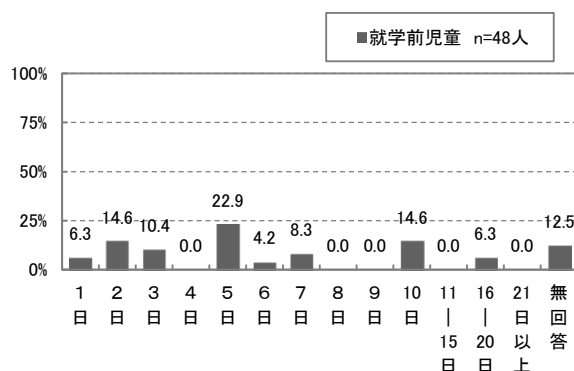
＜母親が休んだ日数＞



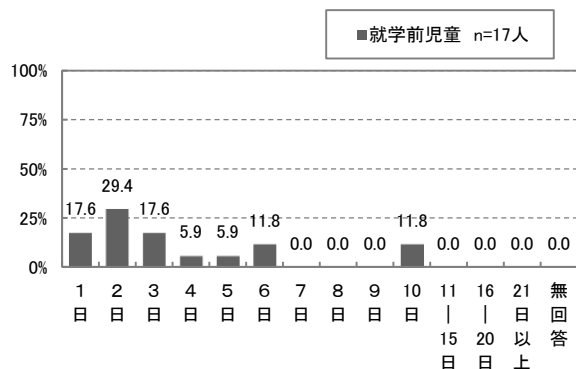
＜（同居者を含む）親族・知人に預けた日数＞



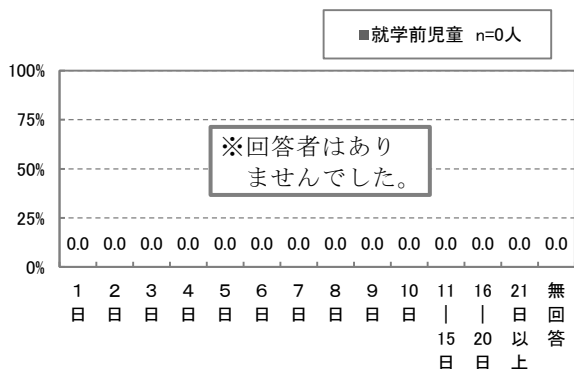
＜就労していない保護者がみた日数＞



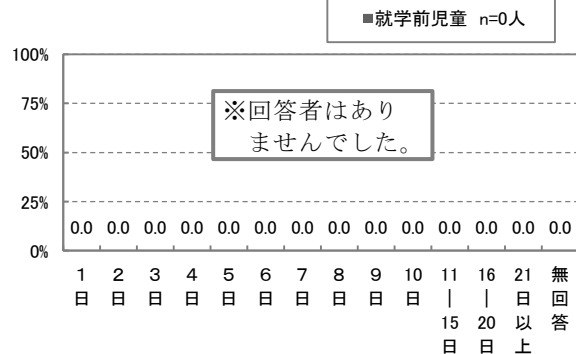
＜病児・病後児保育を利用した日数＞



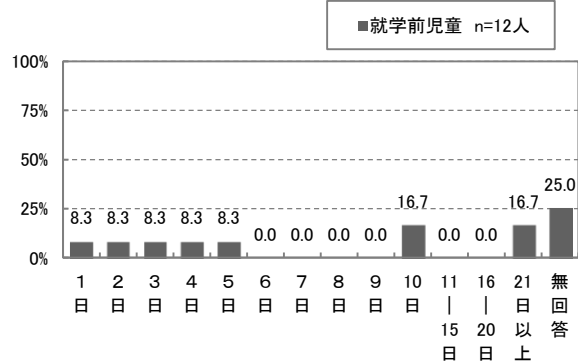
＜ベビーシッターを利用した日数＞



＜子どもだけで留守番させた日数＞

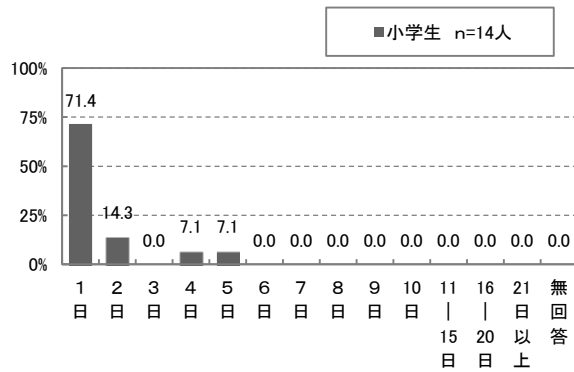


＜その他＞

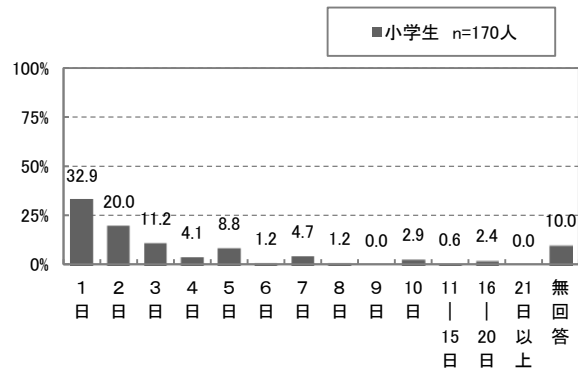


【1年間の対処方法の各日数（小学生）】

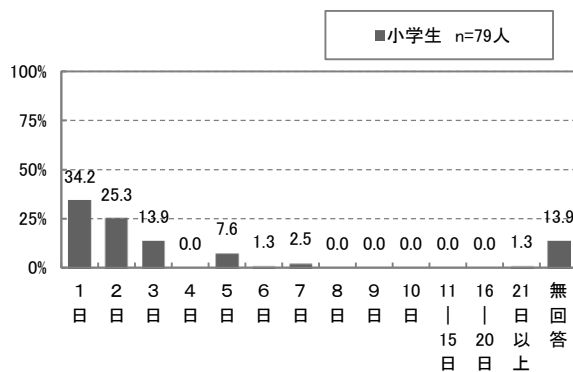
＜父親が休んだ日数＞



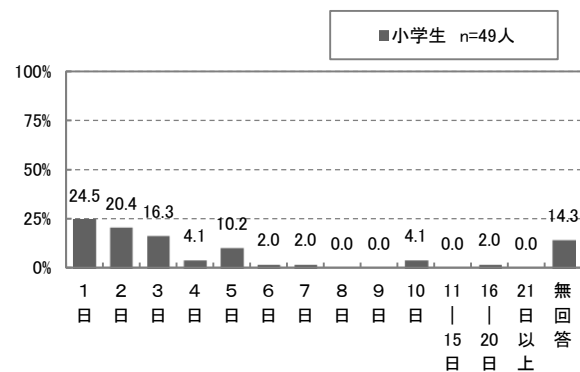
＜母親が休んだ日数＞



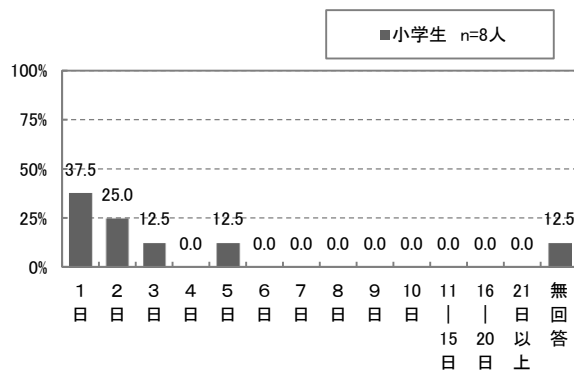
＜同居者を含む）親族・知人に預けた日数＞



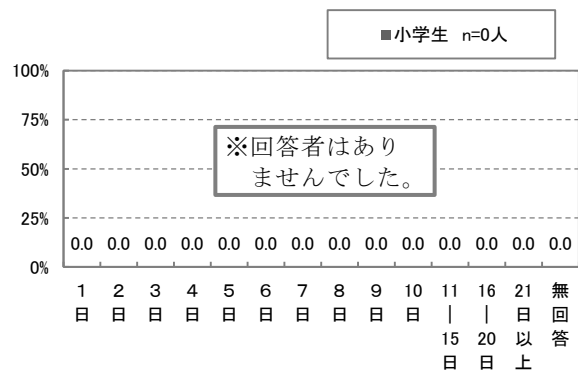
＜就労していない保護者がみた日数＞



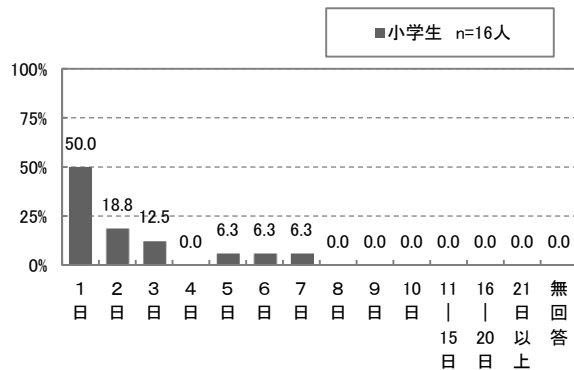
＜病児・病後児保育を利用した日数＞



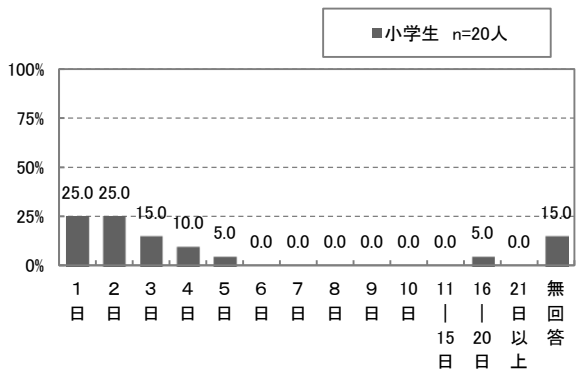
＜ベビーシッターを利用した日数＞



＜子どもだけで留守番させた日数＞



＜その他＞



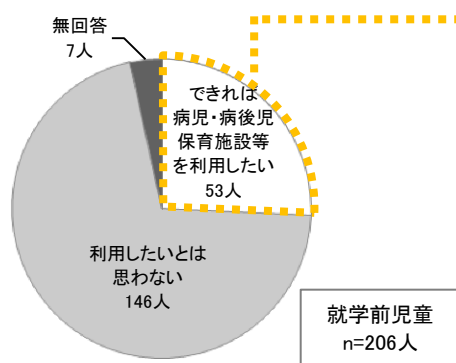
病児・病後児のための保育施設等を「利用したいとは思わない」が半数以上。

病児・病後児のための保育施設等を「利用したいとは思わない」方が就学前児童、小学生ともに半数以上となっています。その理由として、就学前児童、小学生ともに「親が仕事を休んで対応する」が多くなっています。

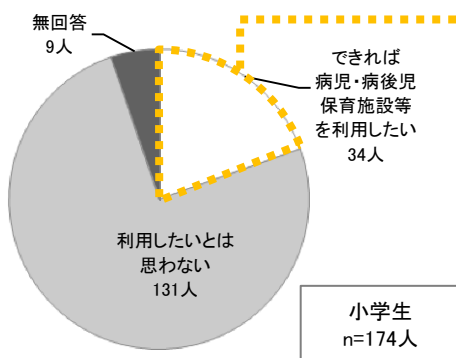
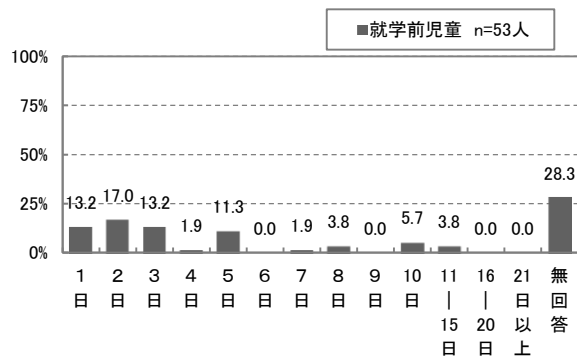
利用したい日数は、就学前児童は「2日」、小学生は「1日」が多くなっています。望ましい事業形態は、就学前児童、小学生ともに「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が多くなっています。

問 20-1(問 13-1)で「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

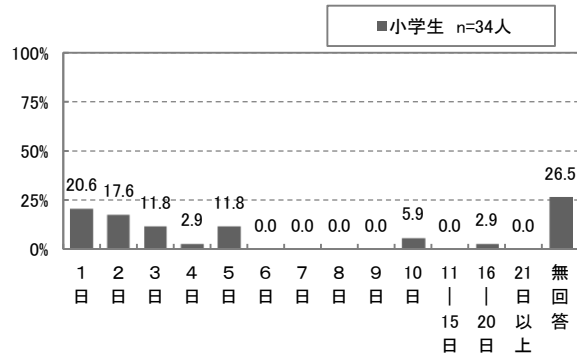
問20-2(問13-2) その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。
(あてはまる番号1つに○)



【利用したい日数】

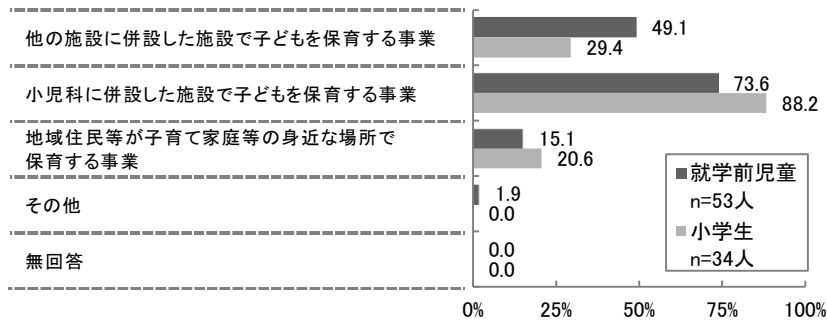


【利用したい日数】



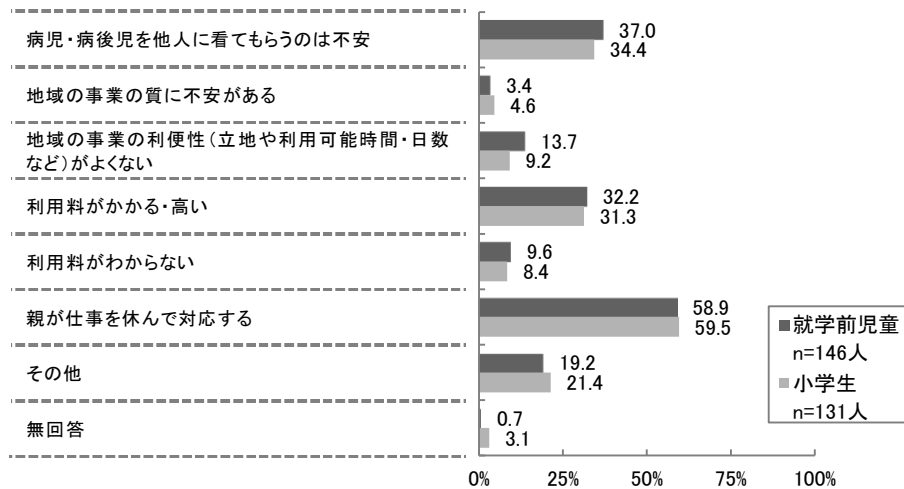
問 20-2(問 13-2)で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問20-3(問13-3) 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(あてはまる番号すべてに○)



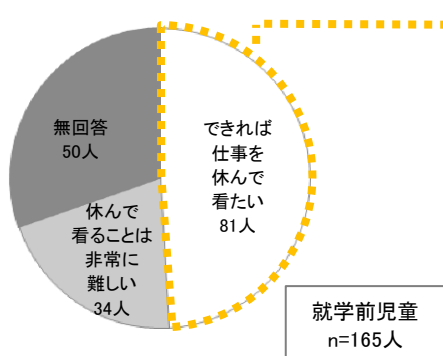
問 20-2(問 13-2)で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問20-4(問13-4) そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

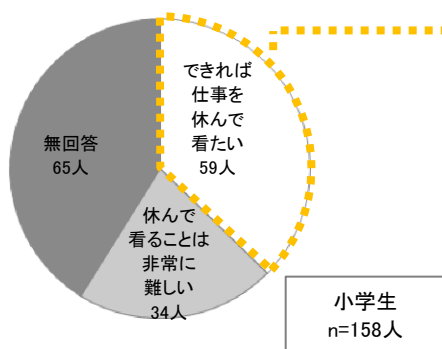
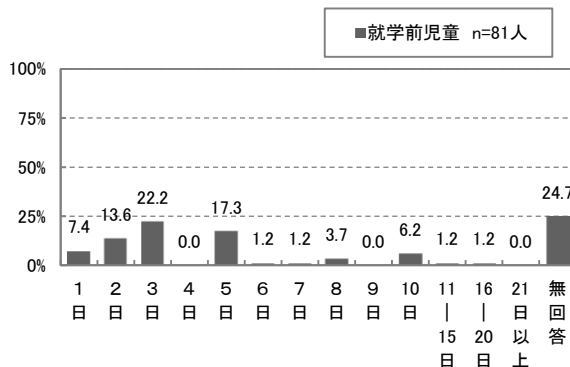


問 20-1(問 13-1)で「ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」から「ク. その他」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

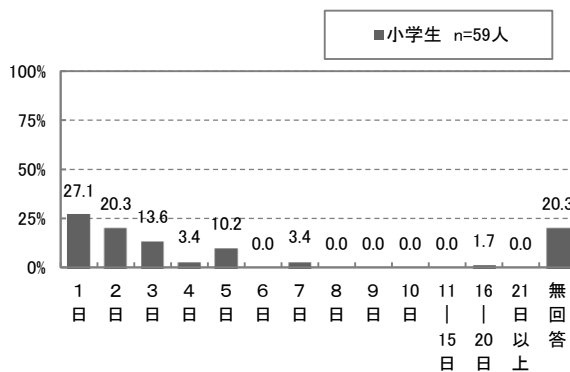
問20-5(問13-5) その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。
(あてはまる番号1つに○)



【休暇希望日数】

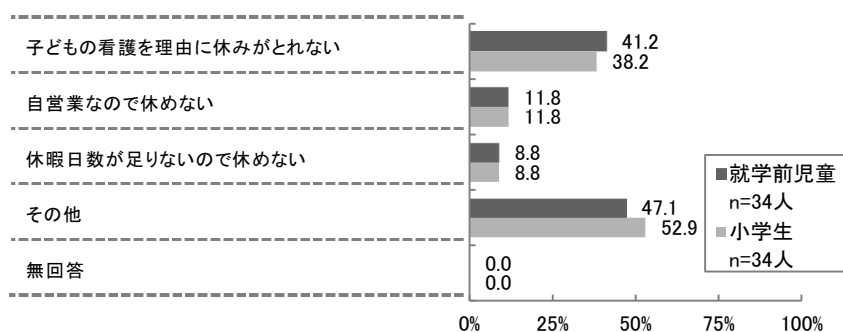


【休暇希望日数】



問 20-5(問 13-5)で「2. 休んで看することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問20-6(問13-6) そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

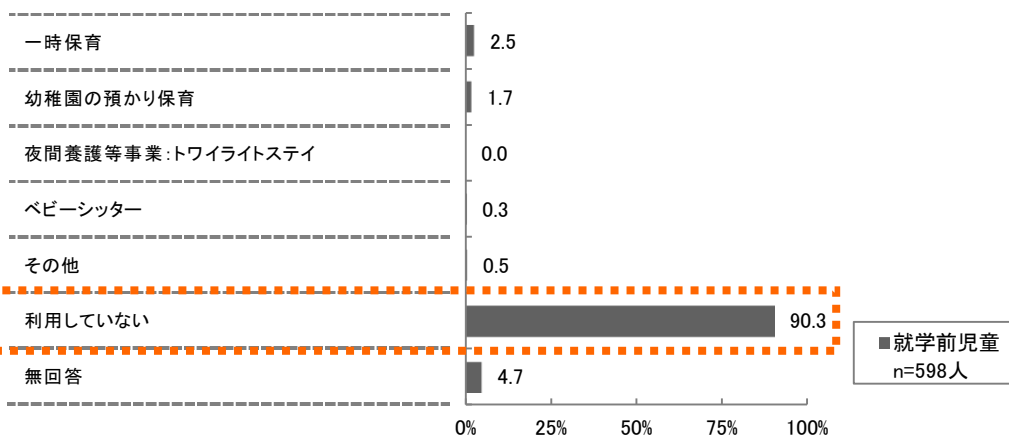


(4) 一時預かり事業の潜在ニーズ

平日の定期的な保育や病気のため以外で利用している方は少ない。

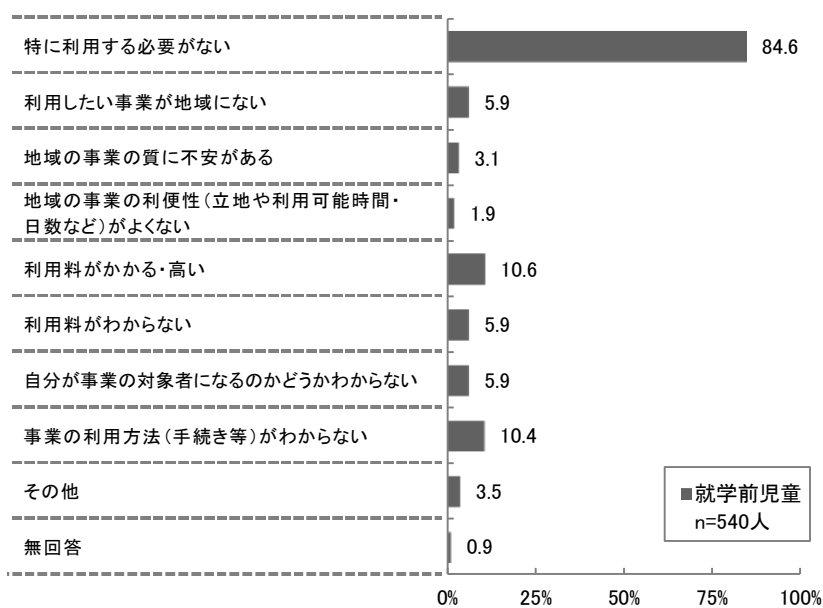
平日の定期的な保育や病気のため以外に不定期に利用している方は少なく、「利用していない」方が約9割となっています。利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が最も多くなっています。

問21 宛名のお子さんについて、平日の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(あてはまる番号すべてに○)



問21で「6. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

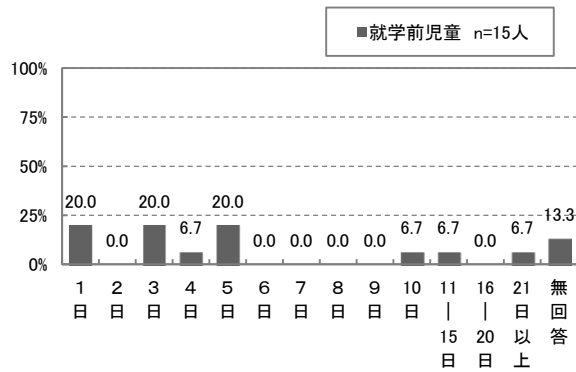
問21-1 現在利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)



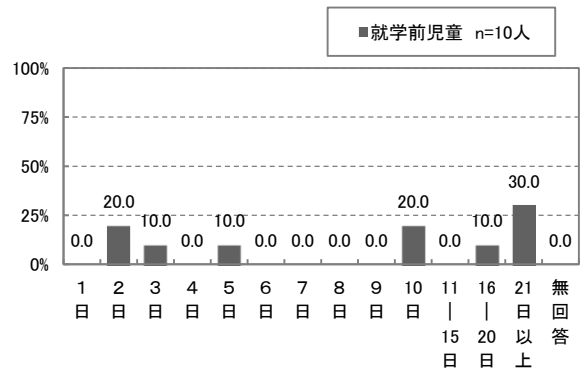


【問 21 の利用している事業の日数（年間）】

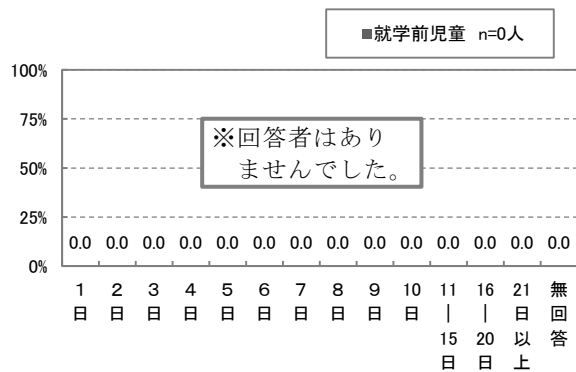
<一時保育>



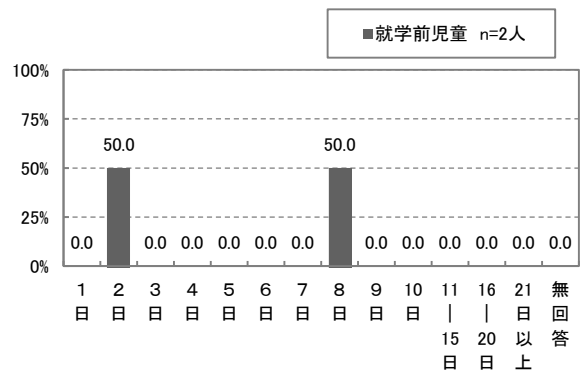
<幼稚園の預かり保育>



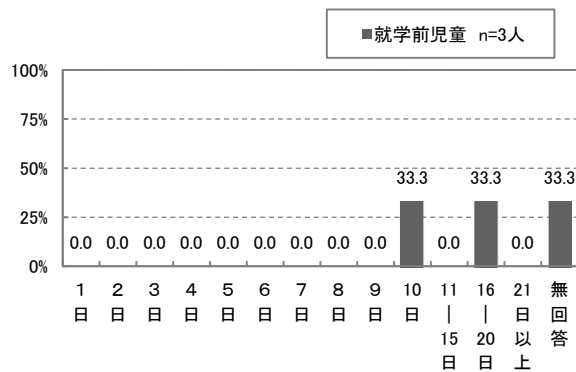
<夜間養護等事業：トワイライトステイ>



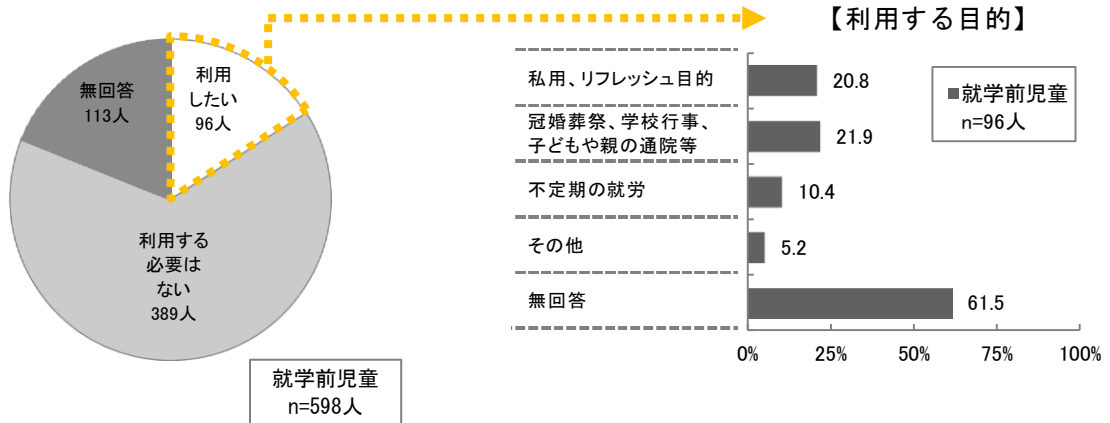
<ベビーシッター>



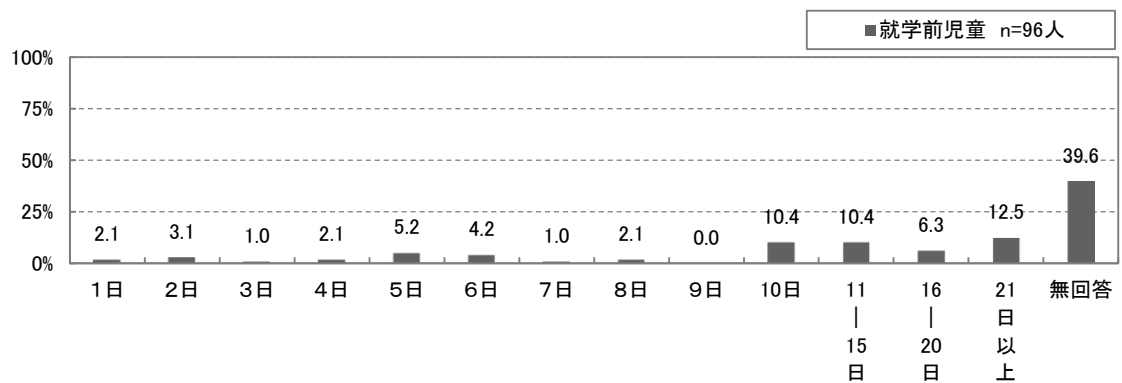
<その他>



問22 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無・日数をお答えください。
(あてはまる番号・記号すべてに○)

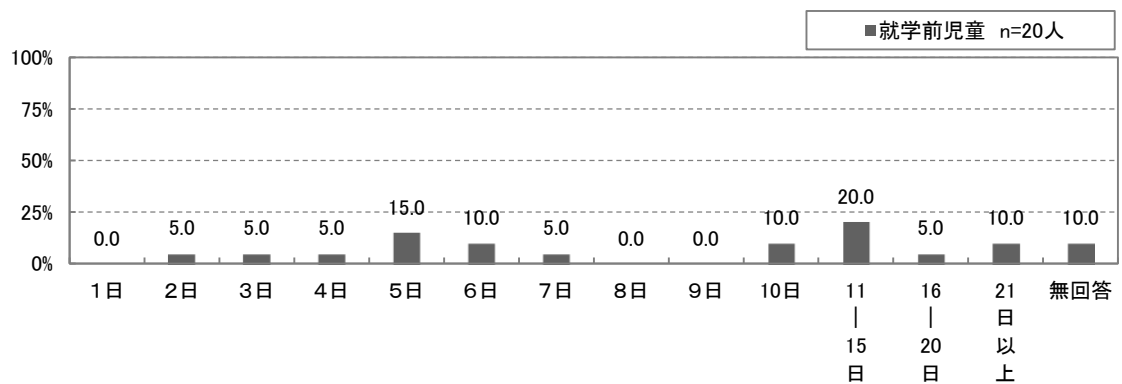


【私用、親の通院、不定期の就労等の目的での利用希望年間合計日数】



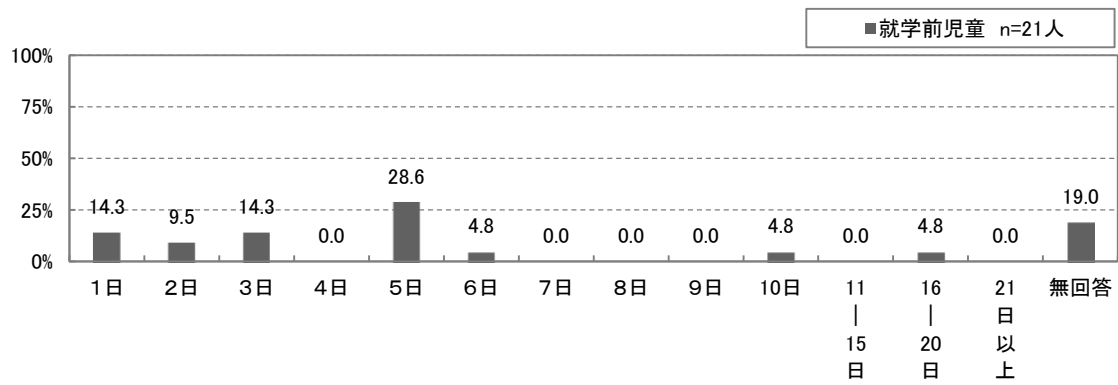
【目的ごとの利用希望年間日数】

<私用、リフレッシュ目的>

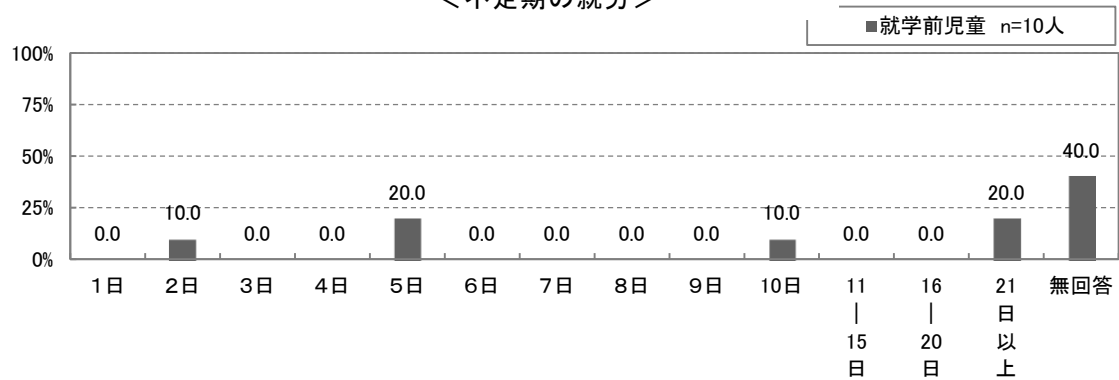




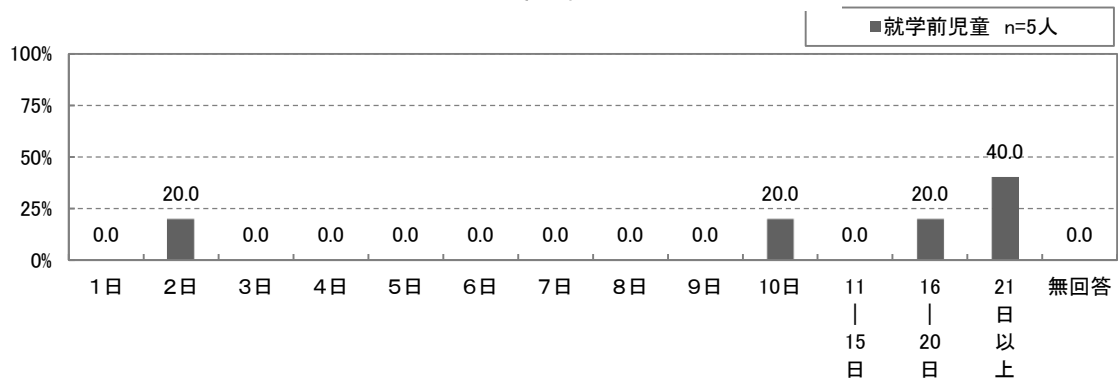
<冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等>



<不定期の就労>

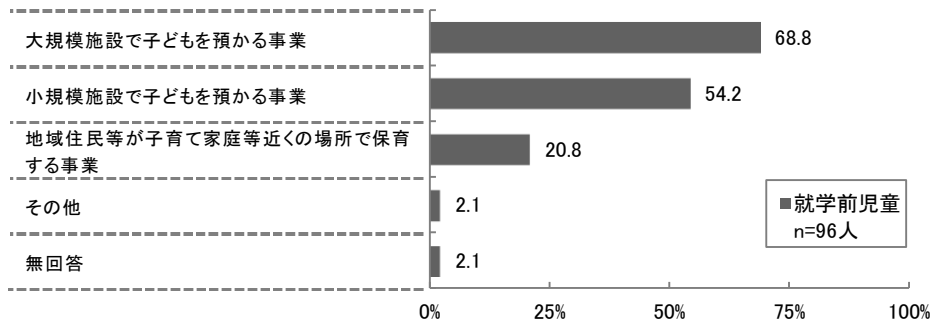


<その他>

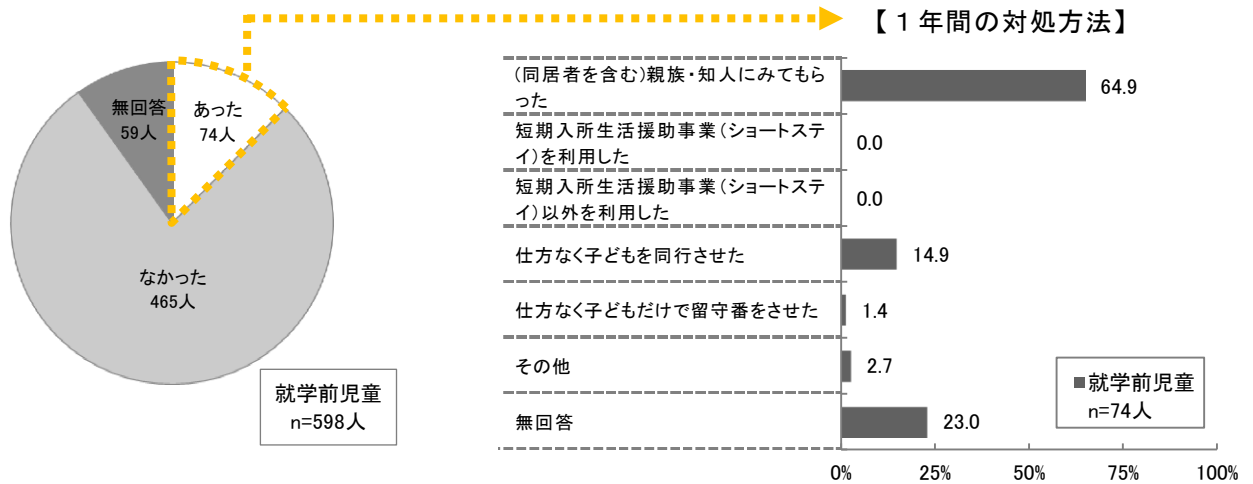


問22で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問22-1 お子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(あてはまる番号すべてに○)

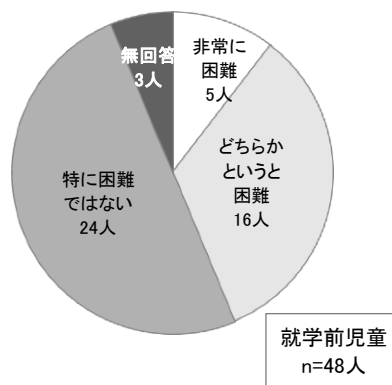


問23 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(あてはまる番号・記号すべてに○)



問23で「1. あった ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

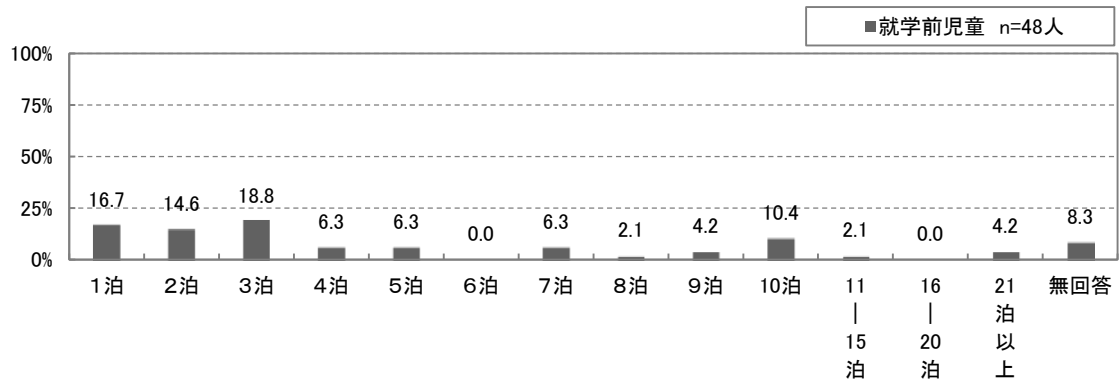
問23-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。(あてはまる番号1つに○)



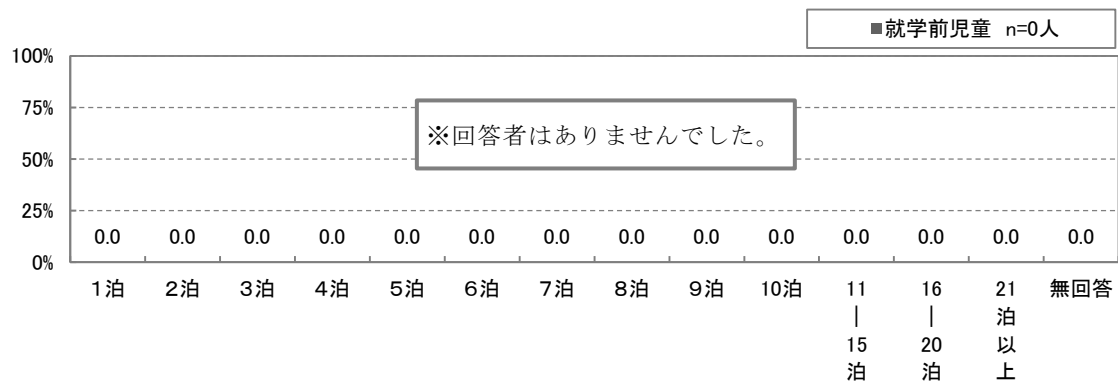


【問 23 の宿泊数】

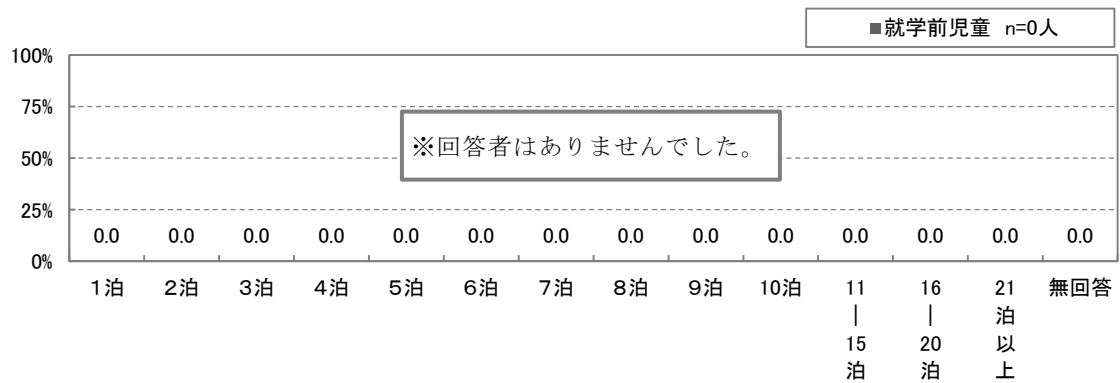
＜（同居者を含む）親族・知人にみてもらった＞



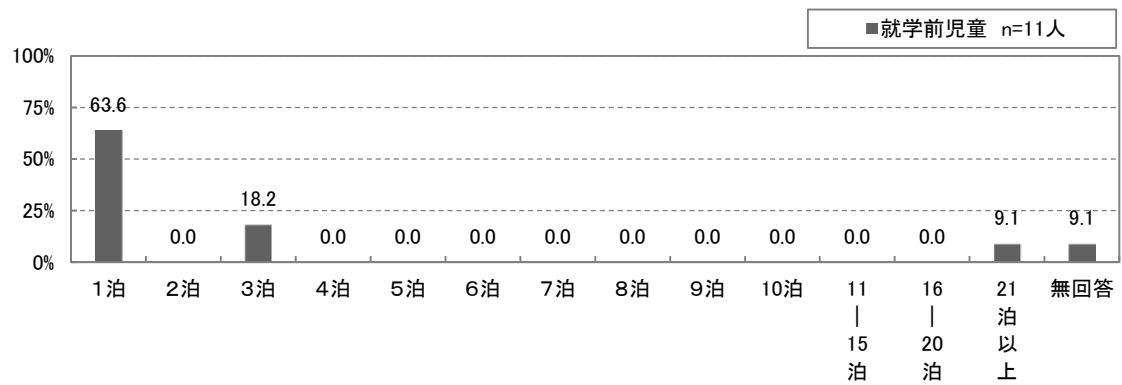
＜短期入所生活援助事業を利用した＞



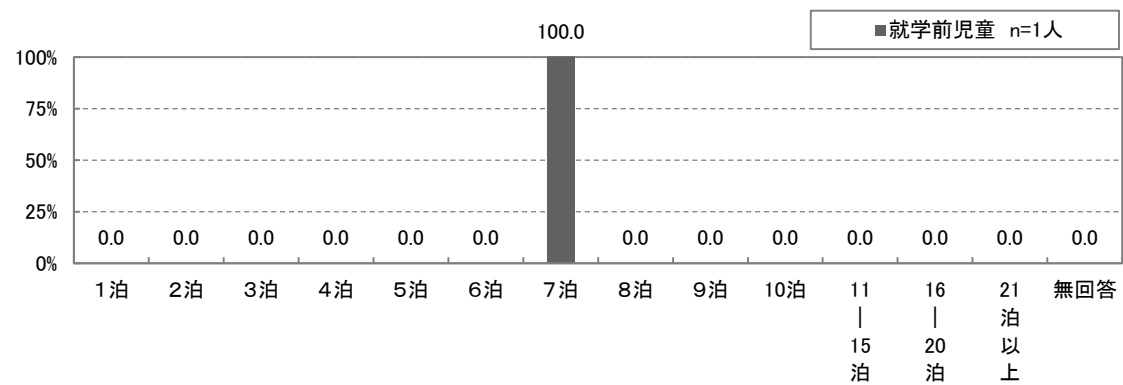
＜短期入所生活援助事業以外を利用した＞



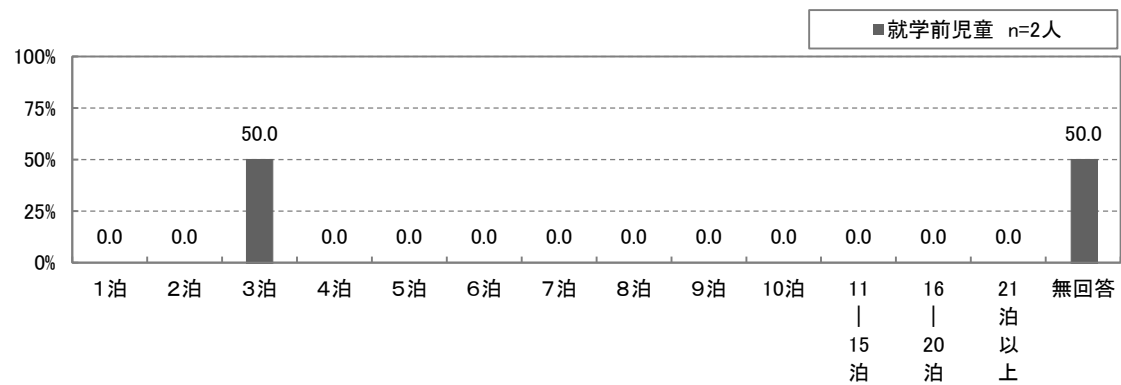
<仕方なく子どもを同行させた>



<仕方なく子どもだけで留守番をさせた>



<その他>



(5) 放課後の過ごし方について

小学1～3年生、4年生の約6割は、放課後を「自宅」で過ごしている。

放課後を過ごしている場所は「自宅」が最も多く、次いで「習い事」となっています。
放課後児童クラブの下校時から利用希望時間は、小学1～3年生では「18時台」が多く
なっています。

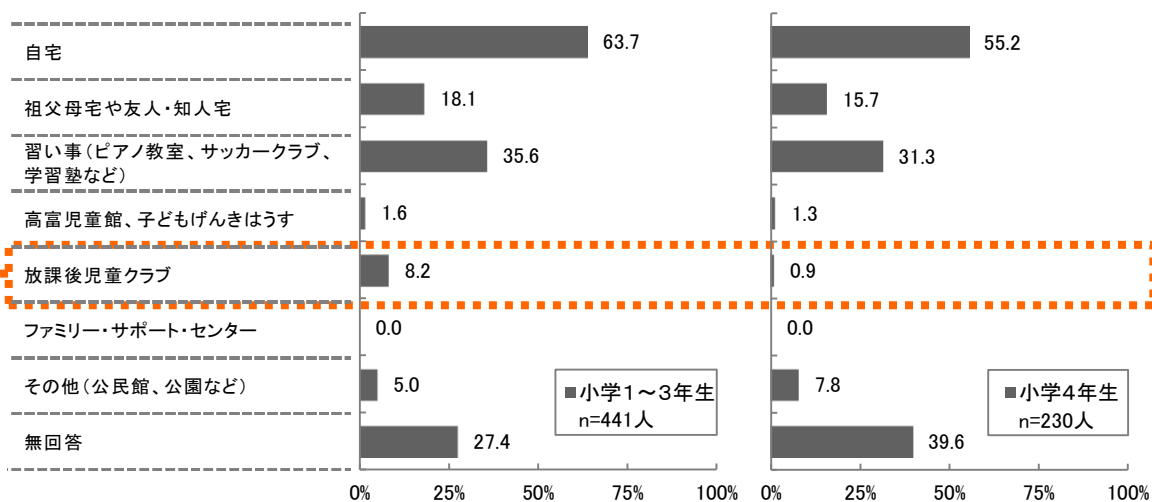
①利用状況（小学生のみ）

宛名のお子さんが小学校1～3年生の方にうかがいます。

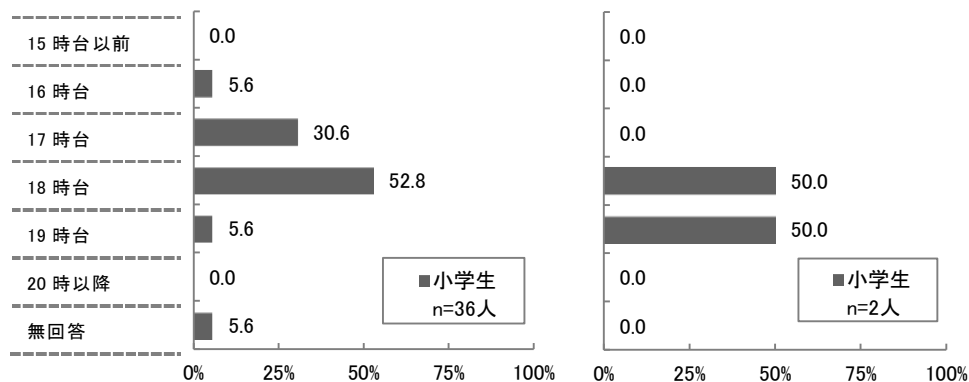
（問9）放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。
（あてはまる番号すべてに○）

宛名のお子さんが小学校4年生の方にうかがいます。

（問10）放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。
（あてはまる番号すべてに○）

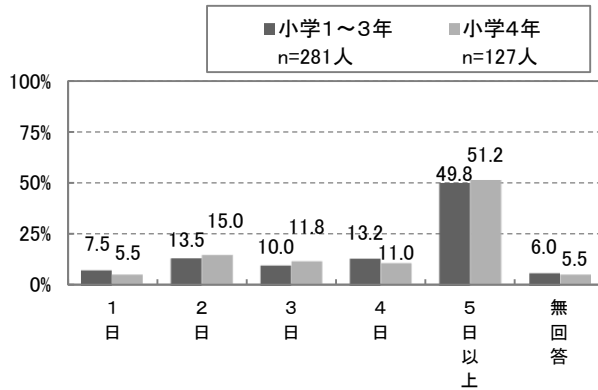


【下校時からの利用希望時間】

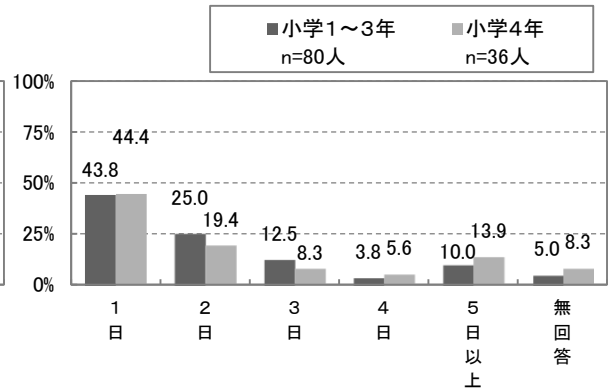


(問9)(問10) ※それぞれ該当する1週当たりの日数をご記入ください。

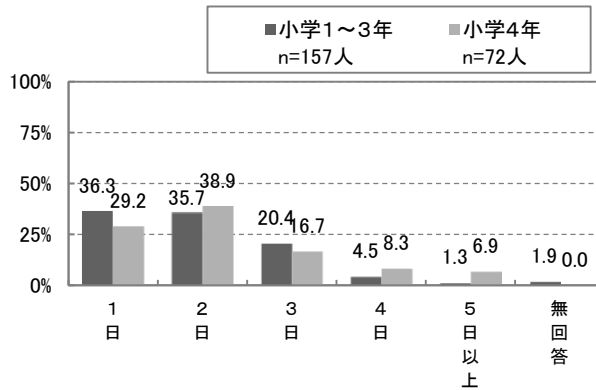
<自宅>



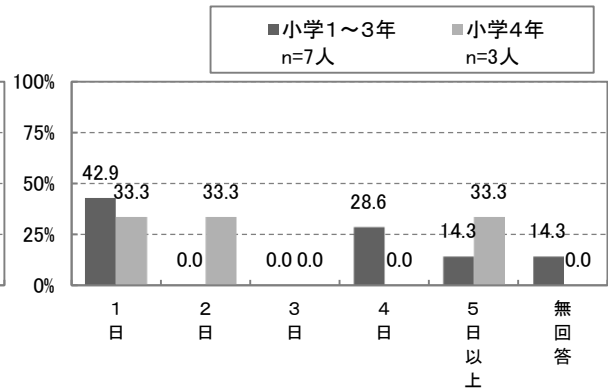
<祖父母宅や友人・知人宅>



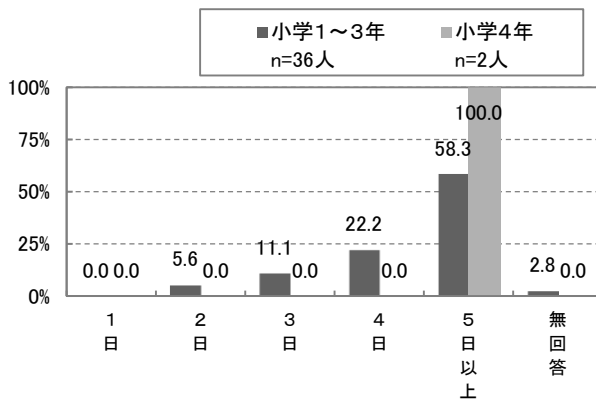
<習い事>



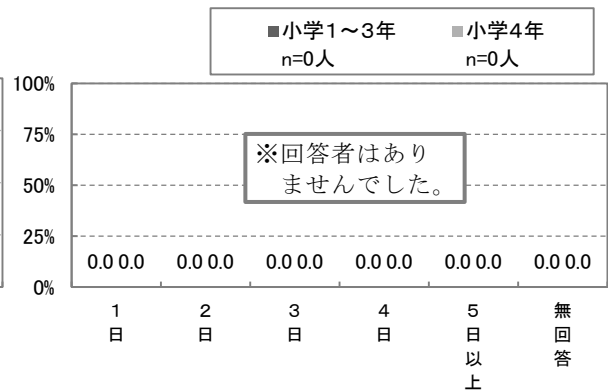
<高富児童館、子どもげんきはうす>



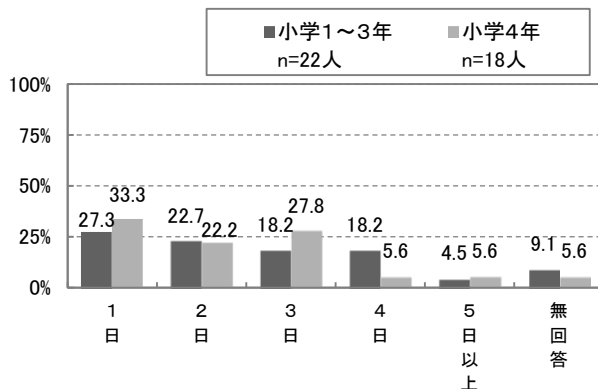
<放課後児童クラブ>



<ファミリー・サポート・センター>



<その他（公民館、公園など）>



放課後を過ごさせたい場所は「自宅」が最も多い。

放課後を過ごさせたい場所は小学校低学年、高学年ともに「自宅」が最も多く、次いで「習い事」となっています。

②利用意向

<就学前児童>

問 24、問 25 は宛名のお子さんが5歳以上の方のみにうかがいます。

問24 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

問25 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

<小学生>

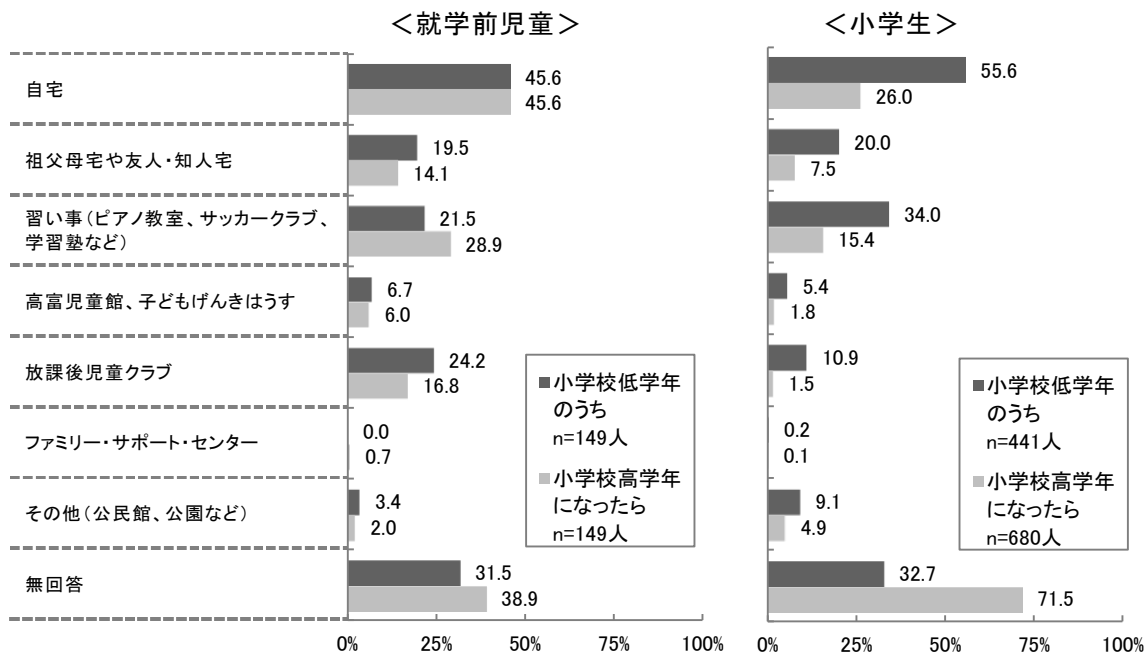
宛名のお子さんが小学校1～3年生の方にうかがいます。

（問9-1） 小学校1～3年生の間は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

宛名のお子さんすべてにうかがいます。

（問10-1） 小学校4～6年生の間は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

【放課後の時間を過ごさせたい場所】

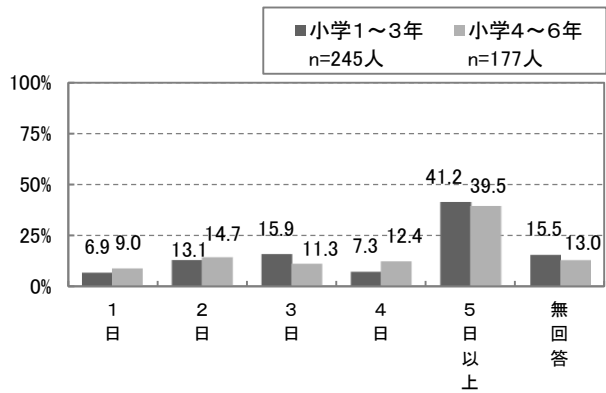
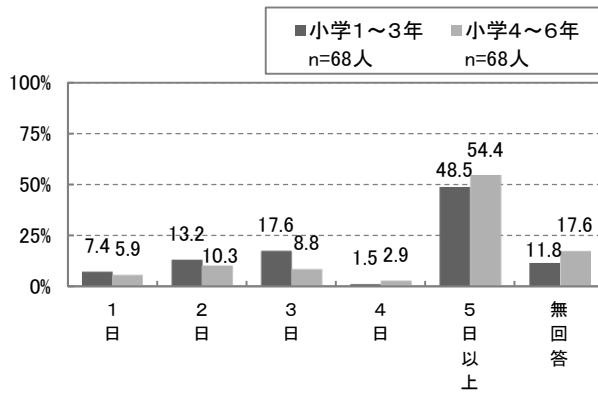


問24(問9-1)、問25(問10-1) ※それぞれ該当する1週当たりの日数をご記入ください。

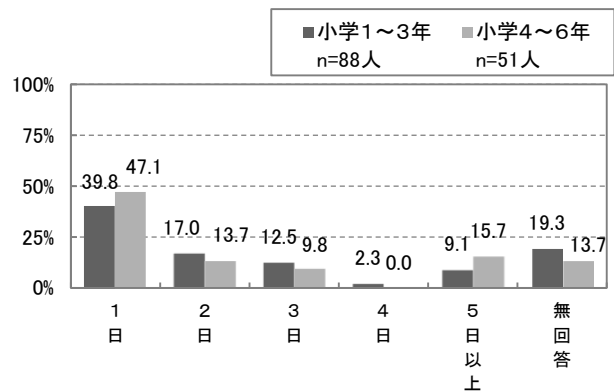
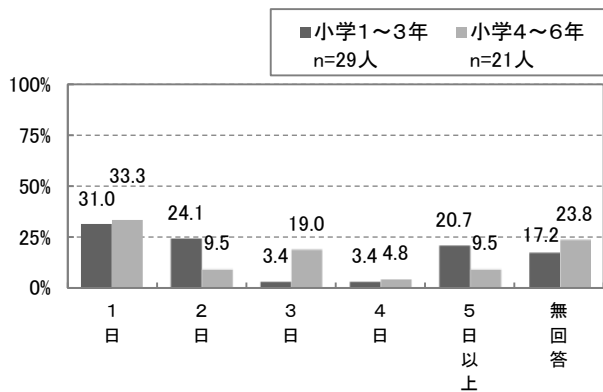
【就学前児童】

【小学生】

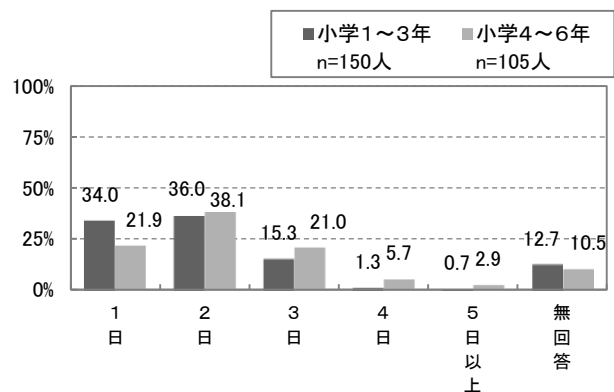
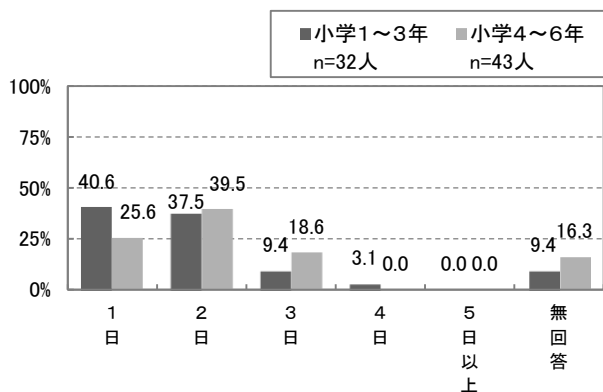
<自宅>



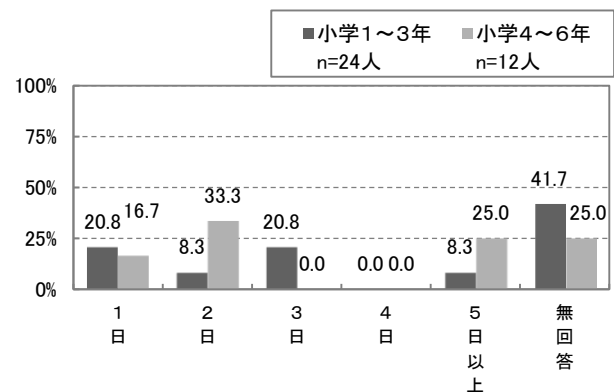
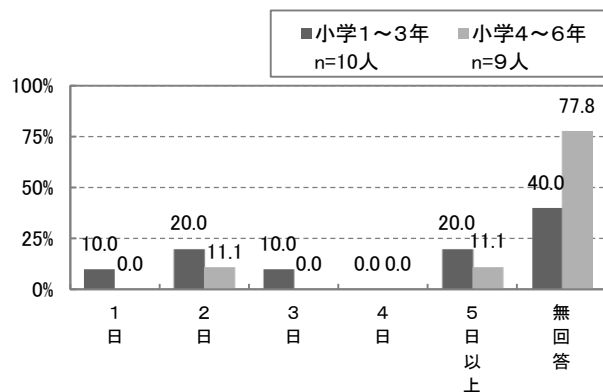
<祖父母宅や友人・知人宅>



<習い事>



<高富児童館、子どもげんきはうす>

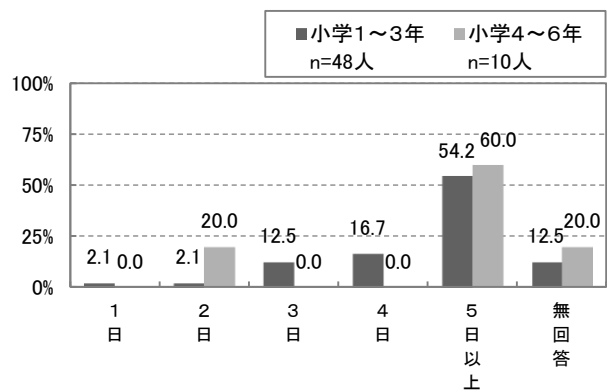
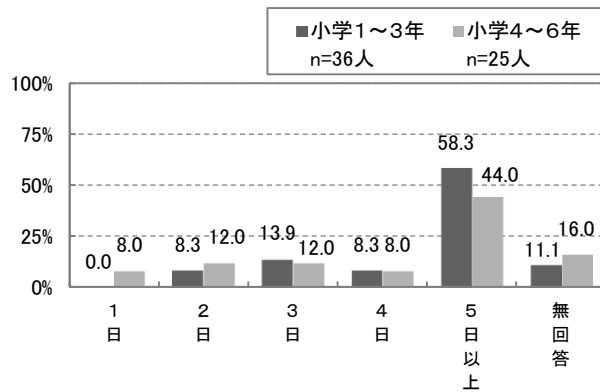




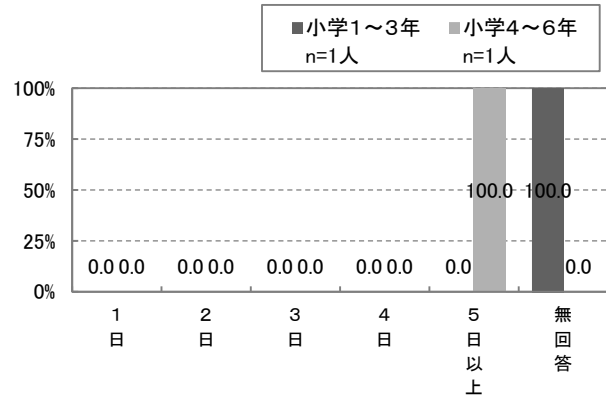
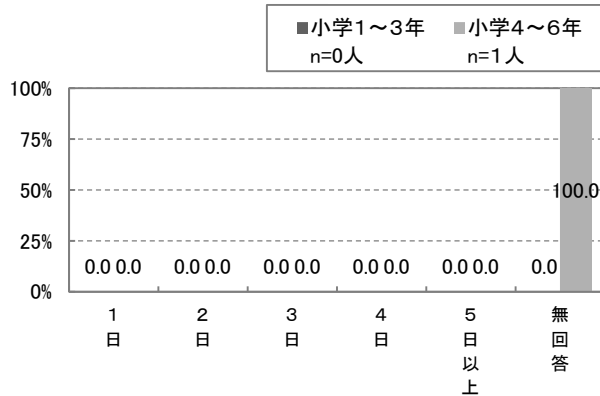
【就学前児童】

【小学生】

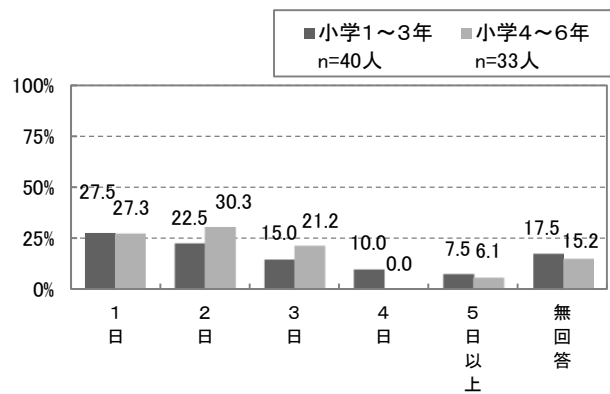
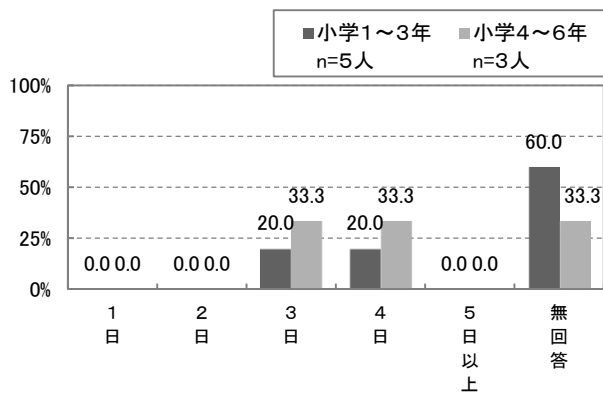
<放課後児童クラブ>



<ファミリー・サポート・センター>



<その他（公民館、公園など）>

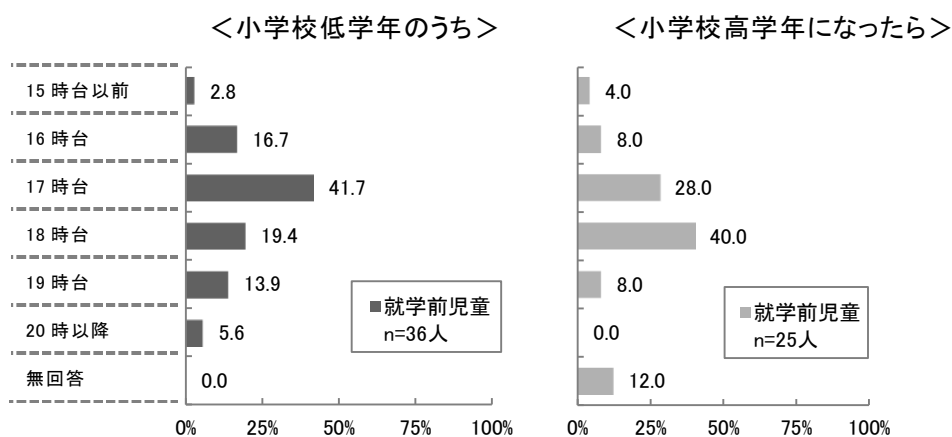


「放課後児童クラブの利用の利用について」小学校低学年のうちは「17 時台」、高学年になったら「18 時台」（就学前児童）、小学校低学年、高学年ともに「18 時台」（小学生）の利用希望が多い。

放課後児童クラブを利用する際の希望は、就学前児童では、低学年のうちは「17 時台」、高学年のうちは「18 時台」の利用希望が多くなっています。同様に小学生では、低学年、高学年ともに「18 時台」の利用希望が多くなっています。

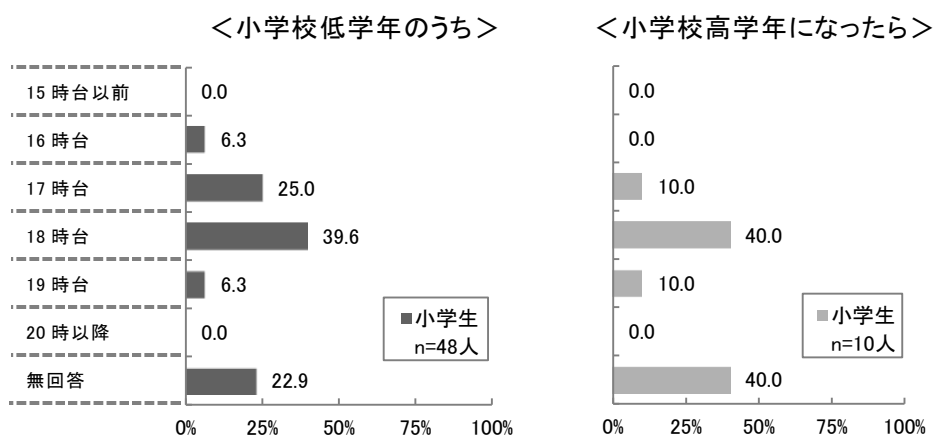
問 24、問 25 で「5. 放課後児童クラブ」に○をつけた方のみ。（就学前児童）

【下校時からの利用希望時間】



（問9-1）、（問 10-1）で「5. 放課後児童クラブ」に○をつけた方のみ。（小学生）

【下校時からの利用希望時間】



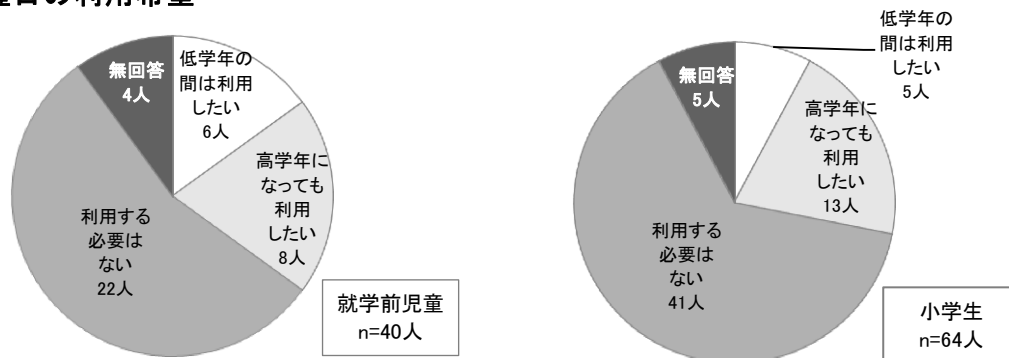
土曜日、日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望は少ない。

放課後児童クラブの土曜日の利用希望は、就学前児童、小学生ともに「利用する必要はない」と回答した方が多くなっています。日曜日・祝日も同様となっています。

問 24(問 9、問 9-1)または問 25(問 10、問 10-1)で「5. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

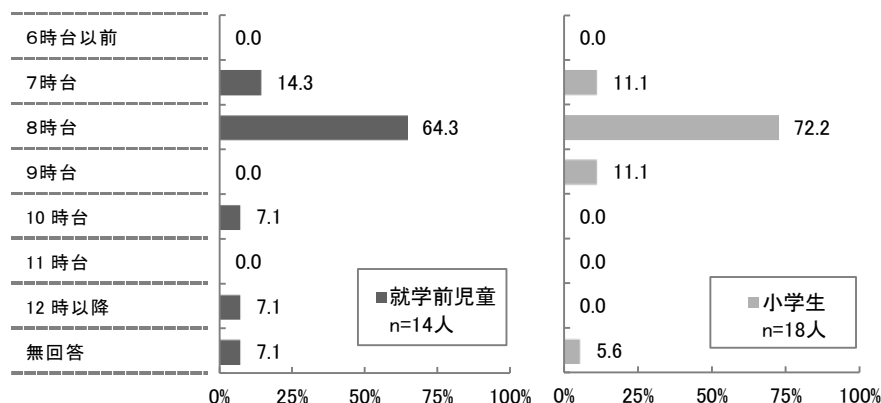
問26(問11) 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(①②それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

①土曜日の利用希望

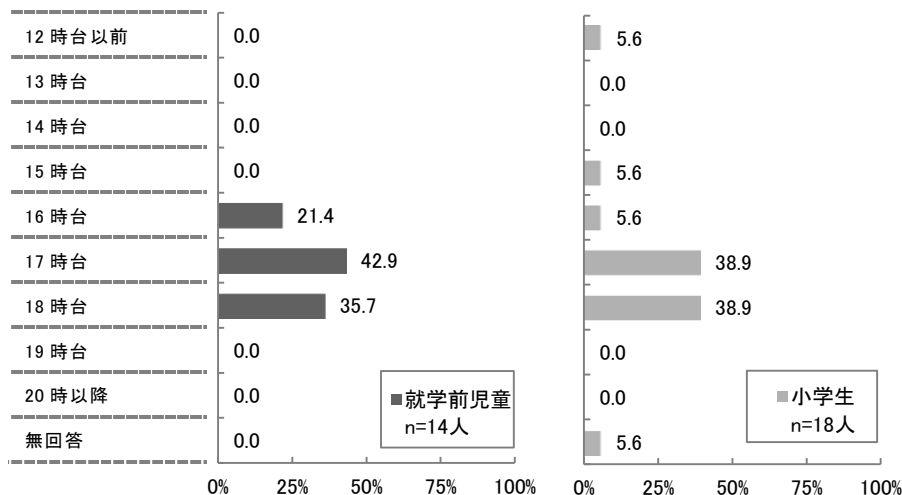


「1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい」「2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい」に○をつけた方のみ。

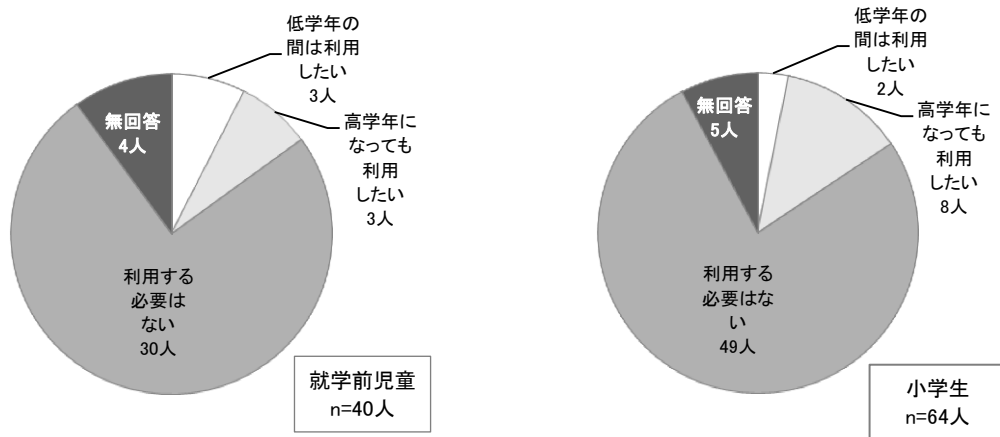
【土曜日の利用希望開始時間】



【土曜日の利用希望終了時間】

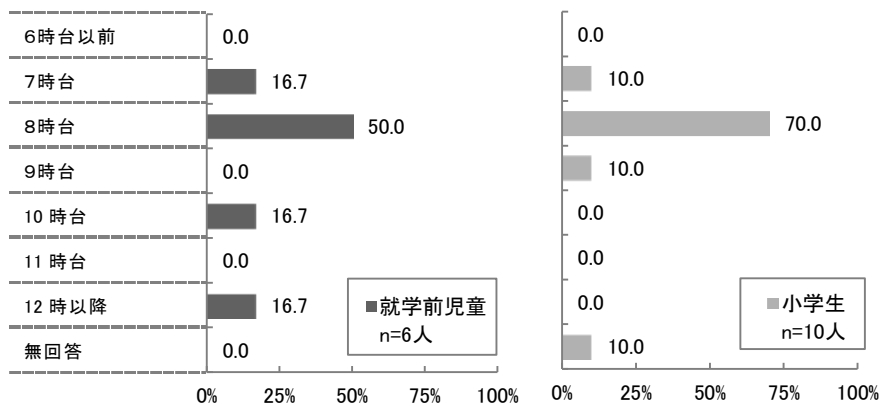


②日曜日・祝日の利用希望

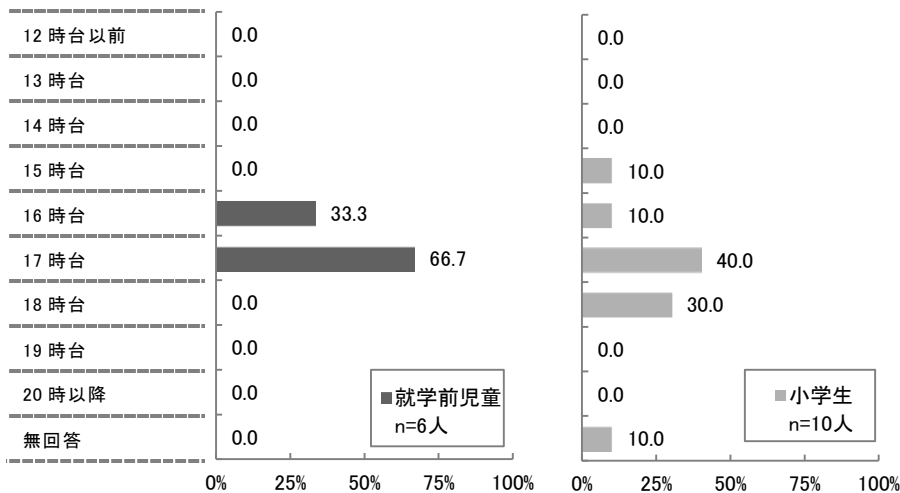


「1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい」2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい」に○をつけた方のみ。

【日曜日・祝日の利用希望開始時間】



【日曜日・祝日の利用希望終了時間】

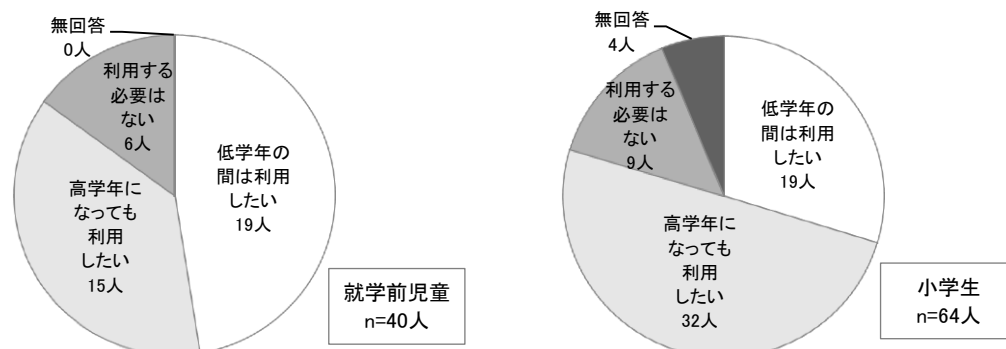


長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望は「低学年の間は利用したい」「高学年になっても利用したい」をあわせると半数以上を占める。

長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望は就学前児童、小学生ともに「低学年の間は利用したい」「高学年になっても利用したい」をあわせると半数以上を占めています。利用希望開始時間は「8時台」、終了時間は「16～18時台」の希望が多くみられます。

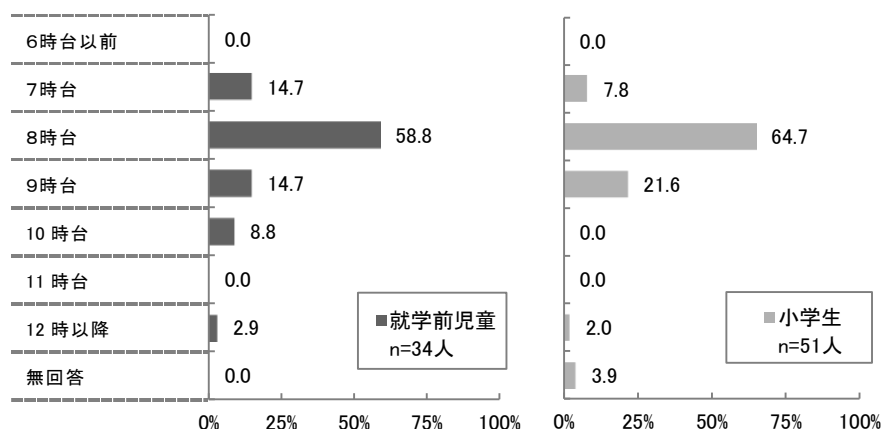
問 24 または 問 25(問9、問9-1、問 10、問 10-1)で「5. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

問27(問12) 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)

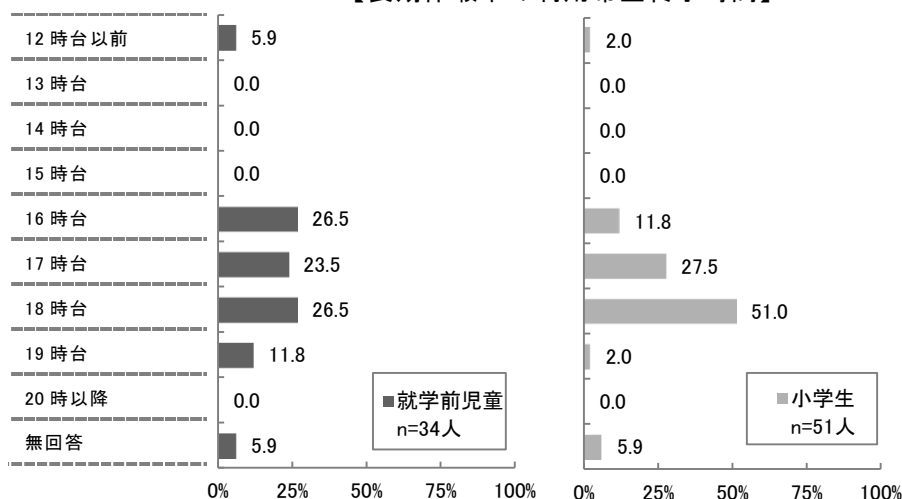


「1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい」「2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい」に○をつけた方のみ。

【長期休暇中の利用希望開始時間】



【長期休暇中の利用希望終了時間】

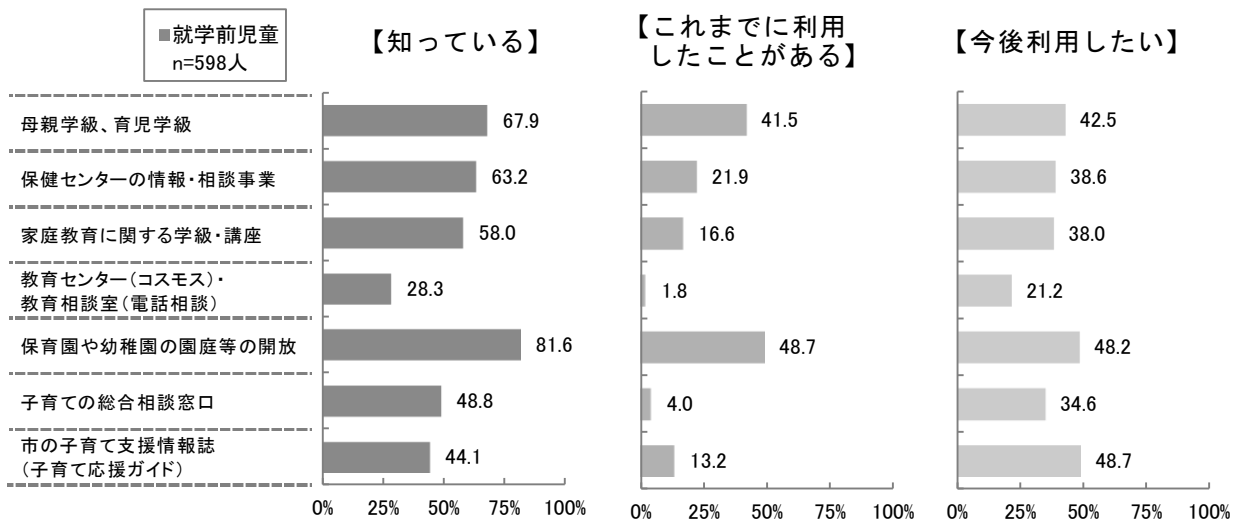


4 子育て支援サービスの周知・利用状況と今後の利用意向

「保育園や幼稚園の園庭等の開放」が最も知られ、利用されている。

知っている、利用したことのある事業は、「保育園や幼稚園の園庭等の開放」が最も多くなっています。今後利用したい事業では、「市の子育て支援情報誌」「保育園や幼稚園の園庭等の開放」が多くなっています。

問17 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

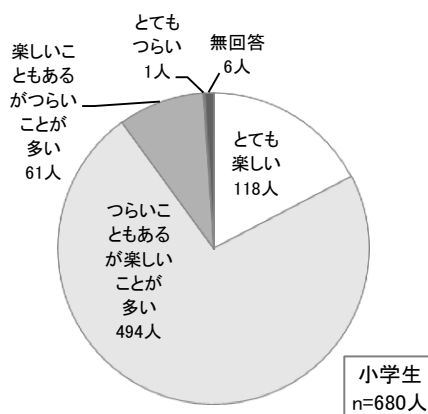
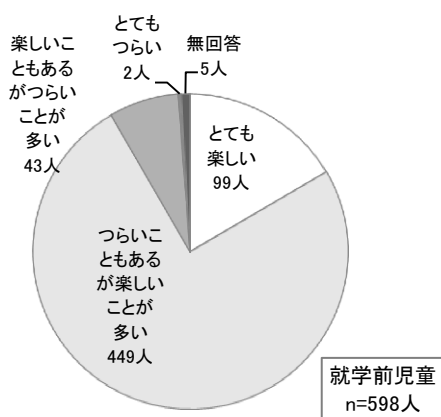


5 その他のことについて

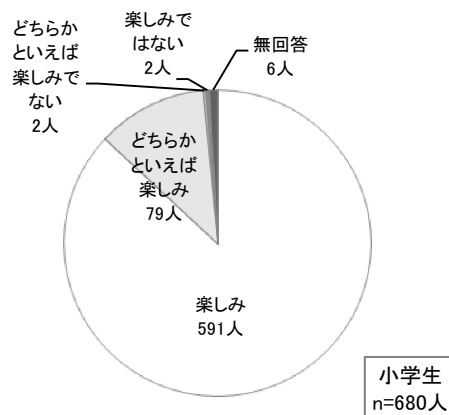
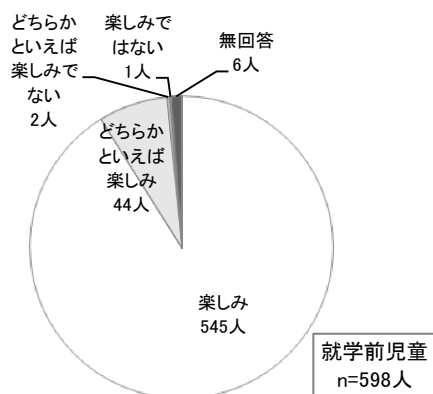
子育てを楽しんでいると感じたり、子どもの成長が楽しみな方が半数以上。

子育ては「とても楽しい」「つらいこともあるが楽しいことが多い」と感じる方がとても多くなっています。また、子育てに自信がもてなくなることが「よくある」と回答した方が就学前児童、小学生ともに約1割を占めています。

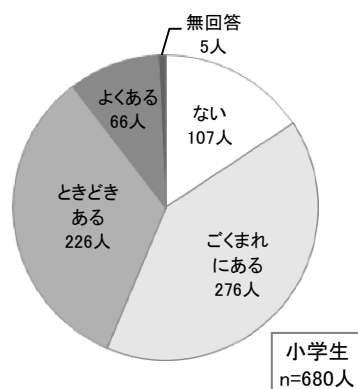
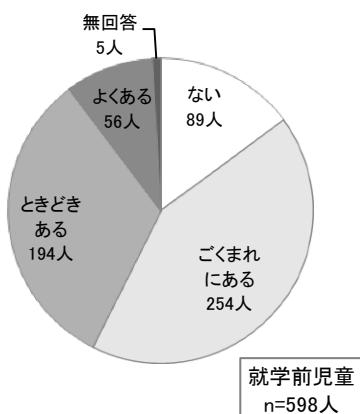
問29(問14) 子育ては楽しいですか。(あてはまる番号1つに○)



問29-1(問14-1) 子どもの成長が楽しみですか。(あてはまる番号1つに○)



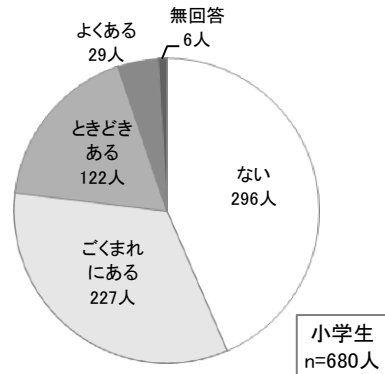
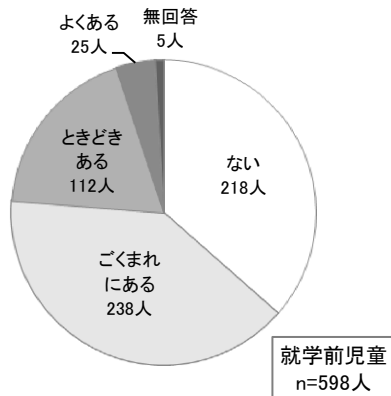
問29-2(問14-2) 子育てに自信がもてなくなることがあります。(あてはまる番号1つに○)



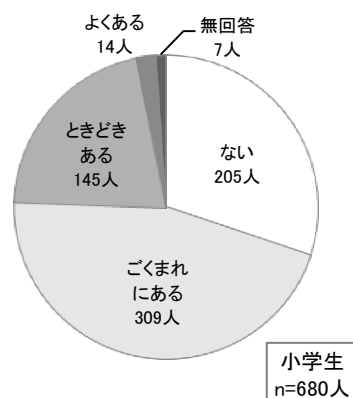
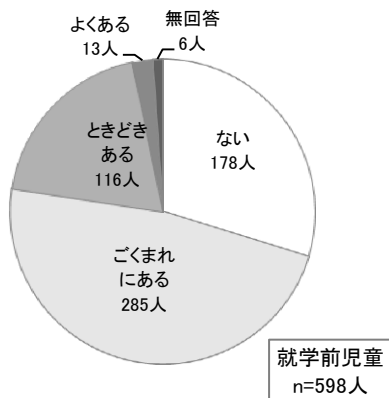
子育てがいやになったり、カッとして子どもをたたいてしまったりすることがある方は半数以上。

子育てがいやになったり、カッとして子どもをたたいてしまったりすることが「ごくまれにある」が多く、「ときどきある」「よくある」方をあわせると半数以上となっています。

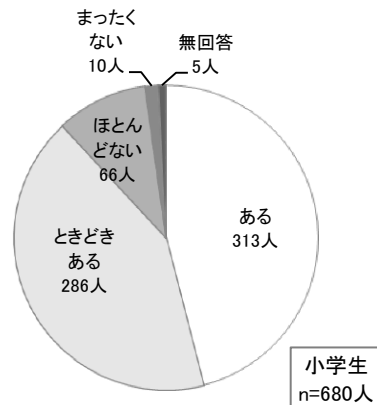
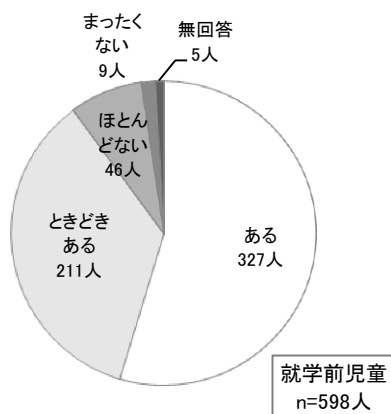
問29-3(問14-3) 子育てがいやになることがありますか。(あてはまる番号1つに○)



問29-4(問14-4) カッとして子どもをたたいてしまったりすることがありますか。(あてはまる番号1つに○)



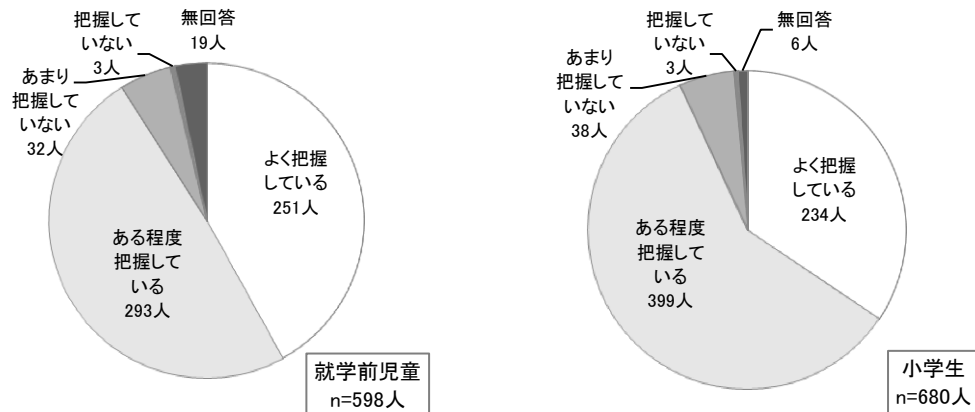
問29-5(問14-5) ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がありますか。(あてはまる番号1つに○)



仕事と子育ての両立は大変と感じている方が半数以上。

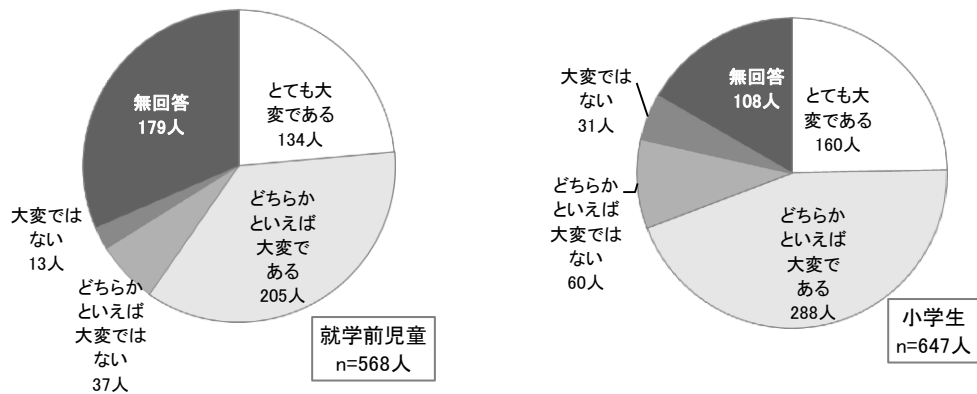
子どもの家庭外での過ごし方を「ある程度把握している」方が就学前児童、小学生ともに約半数を占めています。仕事と子育ての両立について「どちらかといえば大変である」と回答された方が最も多くなっています。仕事を優先し、子どもに我慢をさせてしまうことが「ある」「ときどきある」が半数以上を占めています。

問29-6(問14-6) 子どもの家庭外での過ごし方を把握していますか。(あてはまる番号1つに○)

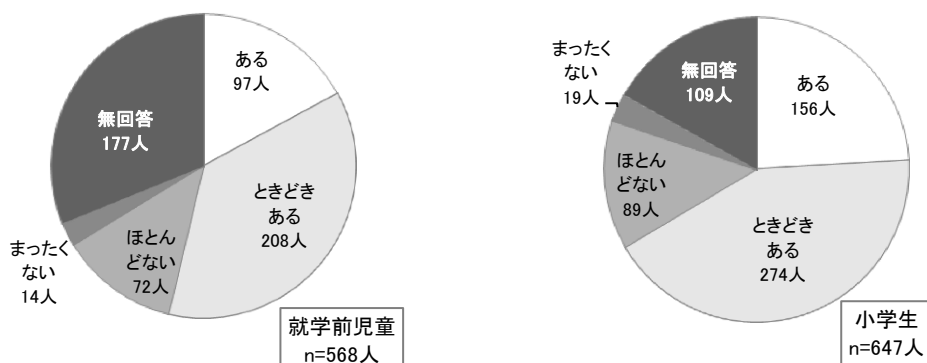


仕事をしている方にうかがいます。

問29-7(問14-7) 仕事と子育ての両立は大変ですか。(あてはまる番号1つに○)



問29-8(問14-8) 仕事を優先し、子どもに我慢をさせてしまうことがありますか。(あてはまる番号1つに○)



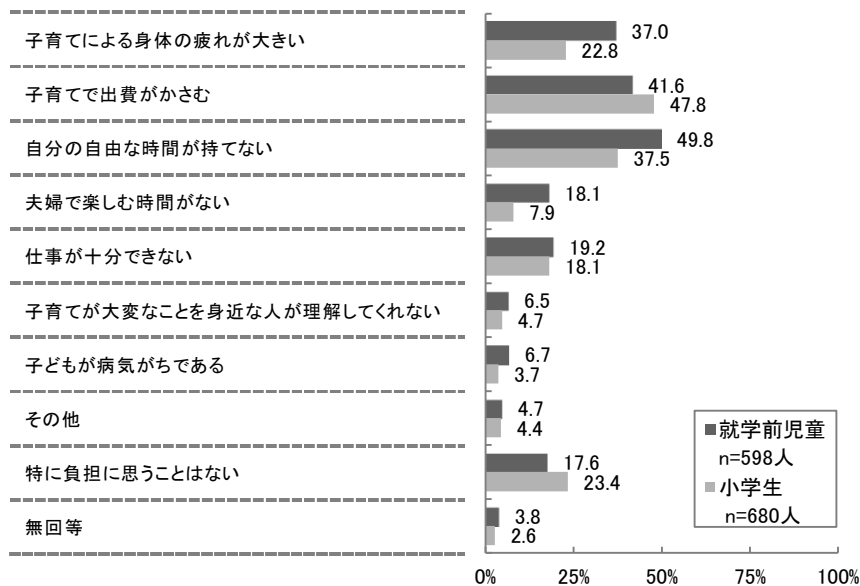
負担に感じていることは「子育てで出費がかさむ」「自分の自由な時間が持てない」。

子育てをするうえで、負担に感じていることは、就学前児童、小学生ともに「子育てで出費がかさむ」「自分の自由な時間が持てない」が多くなっています。

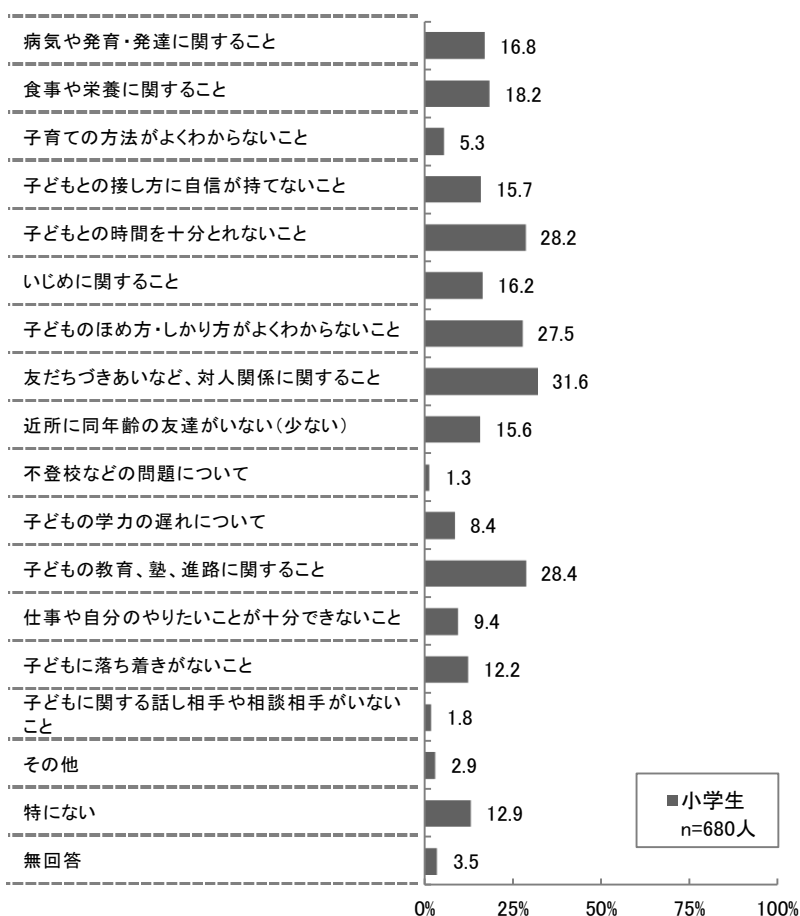
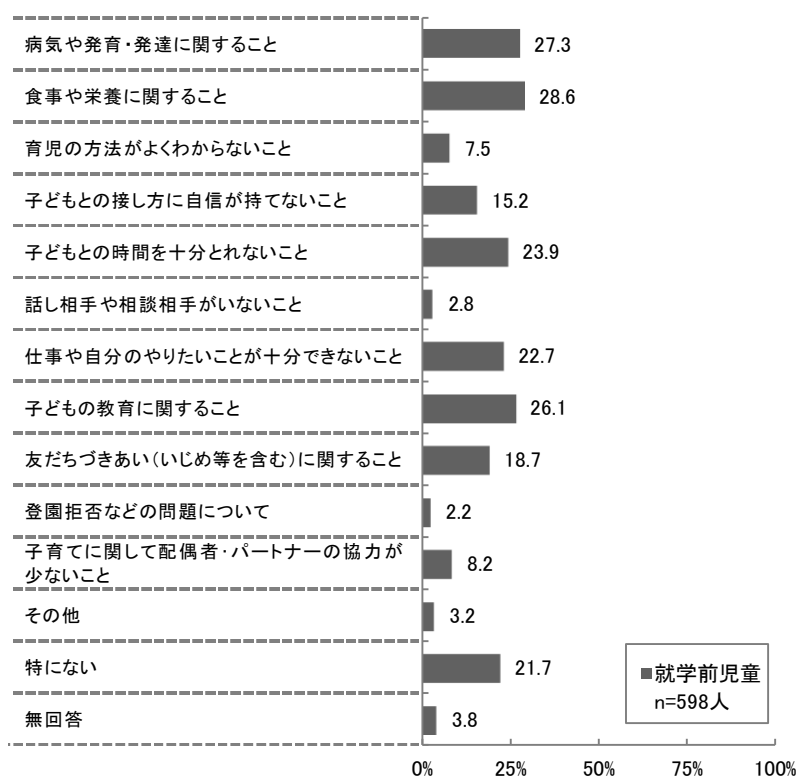
日常悩んでいることや気になることは、就学前児童では、「食事や栄養に関すること」、小学生では、「友だちづきあいなど、対人関係に関すること」が多くなっています。

子育てをするすべての方にうかがいます。

問30(問15) 子育てをするうえで、負担に感じていることはどのようなことですか。
(あてはまる番号すべてに○)



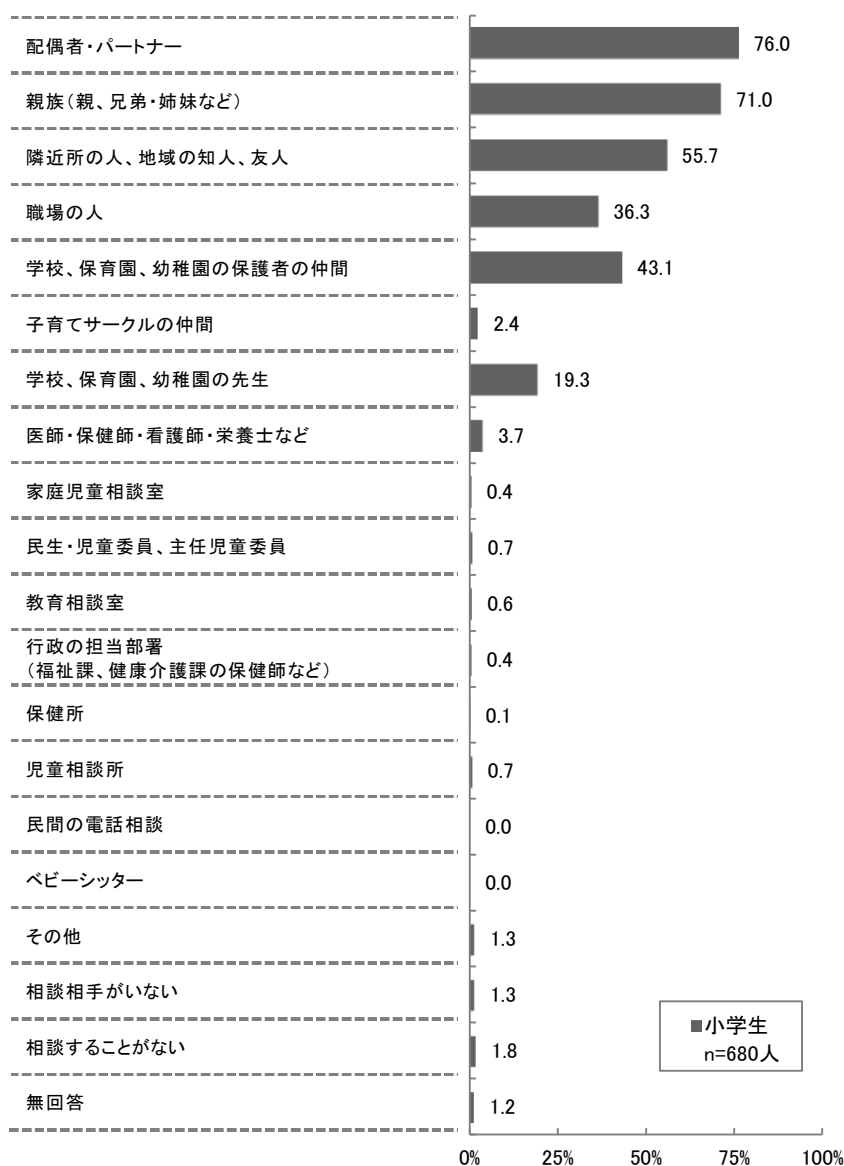
問31(問16) 子育てに関して、日常悩んでいること、また、気になることはどのようなことですか。
(あてはまる番号すべてに○)



子育てに関する悩みや不安の相談先は「配偶者・パートナー」「親族」が7割以上。

身近な地域で、子育てに関する悩みや不安の相談先は、「配偶者・パートナー」「親族（親、兄弟・姉妹など）」がそれぞれ7割以上となっています。

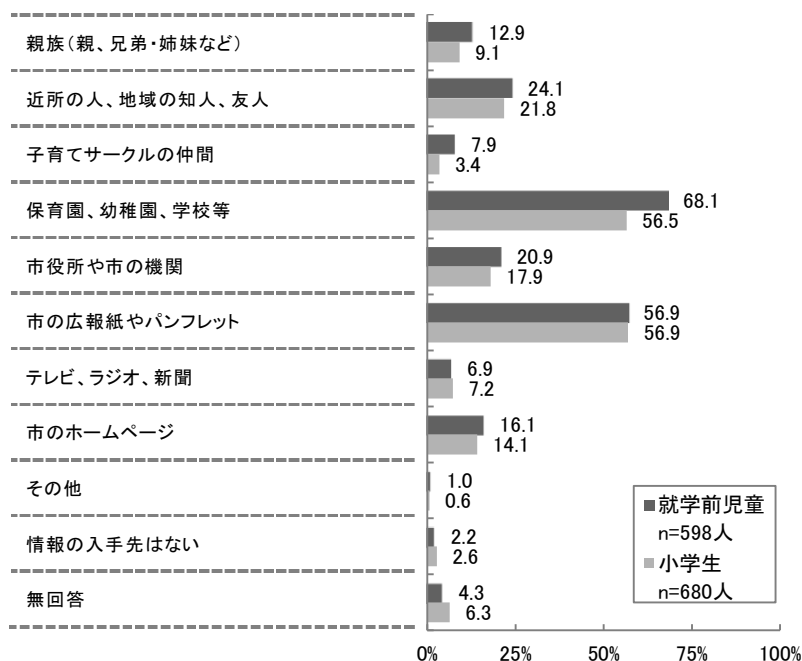
（問17）身近な地域で、子育てに関する悩みや不安を誰に相談していますか。（あてはまる番号すべてに○）



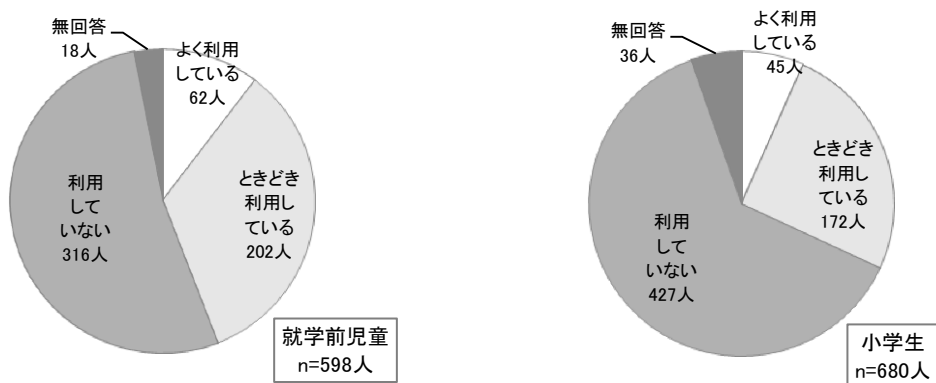
「保育園、幼稚園、学校等」「市の広報紙やパンフレット」から市の子育て支援サービスに関する情報を入手したいという方が5割以上。

市の子育て支援サービスに関する情報を「保育園、幼稚園、学校等」「市の広報紙やパンフレット」から入手したいと回答した方が就学前児童、小学生ともにそれぞれ5割以上となっています。インターネットの利用の有無については、「利用していない」が就学前児童、小学生ともに半数以上となっています。

問32(問18) 市の子育て支援サービスに関する情報は、どこから入手することを希望しますか。
(あてはまる番号すべてに○)



問33(問19) 子育てに関する情報について、インターネットを利用していますか。(あてはまる番号1つに○)

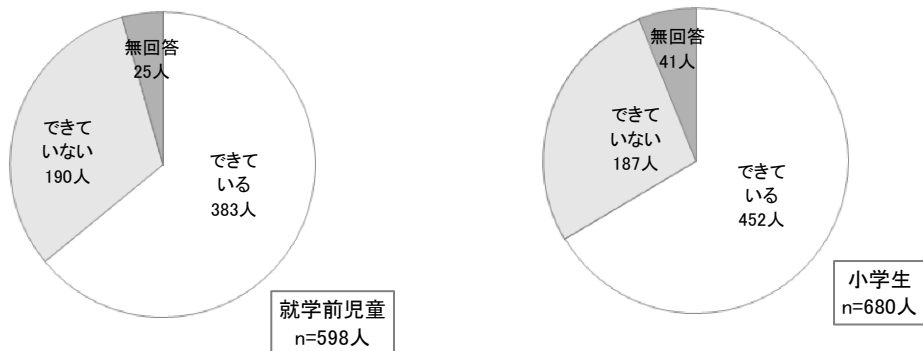


親同士の交流が「できていない」と感じている方が約3分の1を占めている。

親同士の交流が「できていない」と感じている方が就学前児童、小学生ともに約3分の1を占めています。反対に「できている」と感じる方は半数以上を占めています。交流ができているところは、就学前児童では「保育園、幼稚園等」、小学生では、「学校行事」でそれぞれ8割以上となっています。

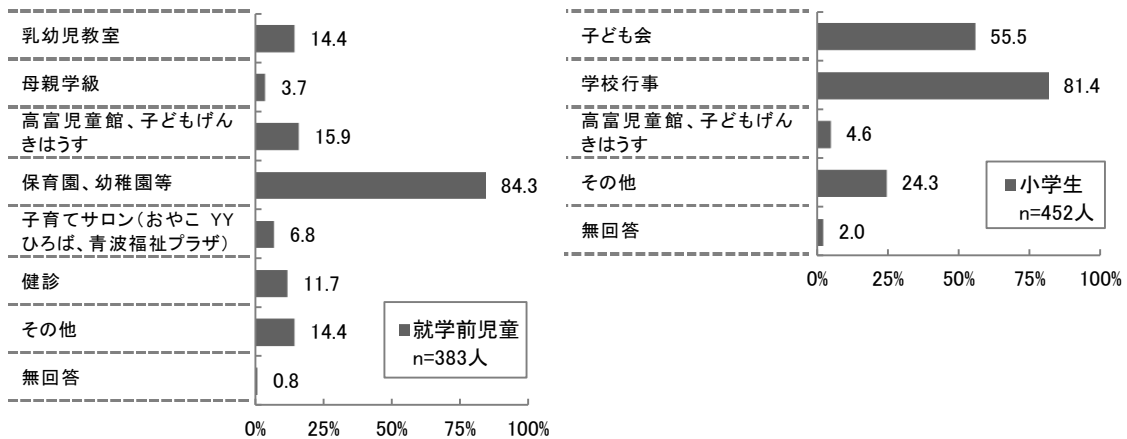
公立保育園の民営化については、「わからない」が約7割を占め、「賛成」と「反対」を比べると、「反対」の方が多くなっています。

問34(問20) 親同士の交流ができていると感じていますか。(あてはまる番号1つに○)

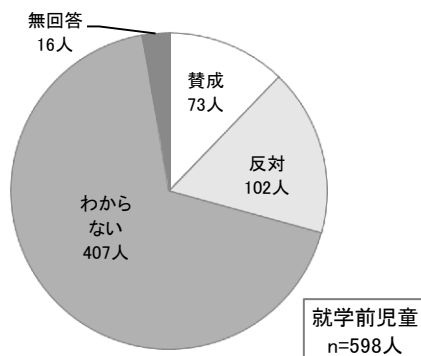


問34(問20)で「1. できている」に○をつけた方にうかがいます。

問35(問21) どのようなところで交流ができていると思われますか。(あてはまる番号すべてに○)



問36 公立保育園の民営化に賛成ですか。



第4章 育児休業制度の利用状況

第4章 育児休業制度の利用状況

1 育児休業制度の利用状況

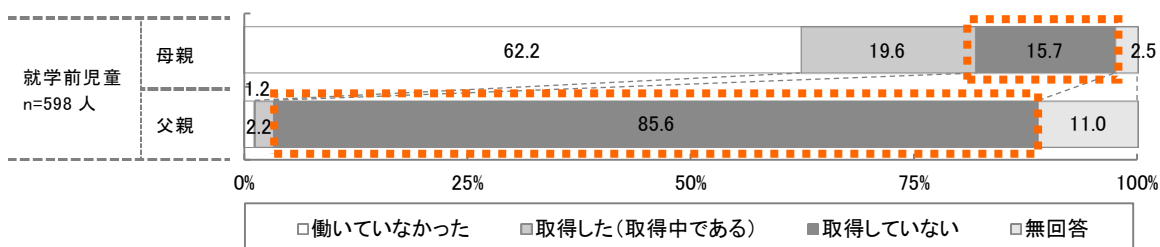
育児休業を取得した（取得中である）母親は約2割、父親は1割未満。

育児休業を「取得した（取得中である）」母親は19.6%、父親は2.2%となっています。取得していない理由として、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」が多く、父親は、「制度を利用する必要がなかった」「仕事が忙しかった」が多くなっています。

問28 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

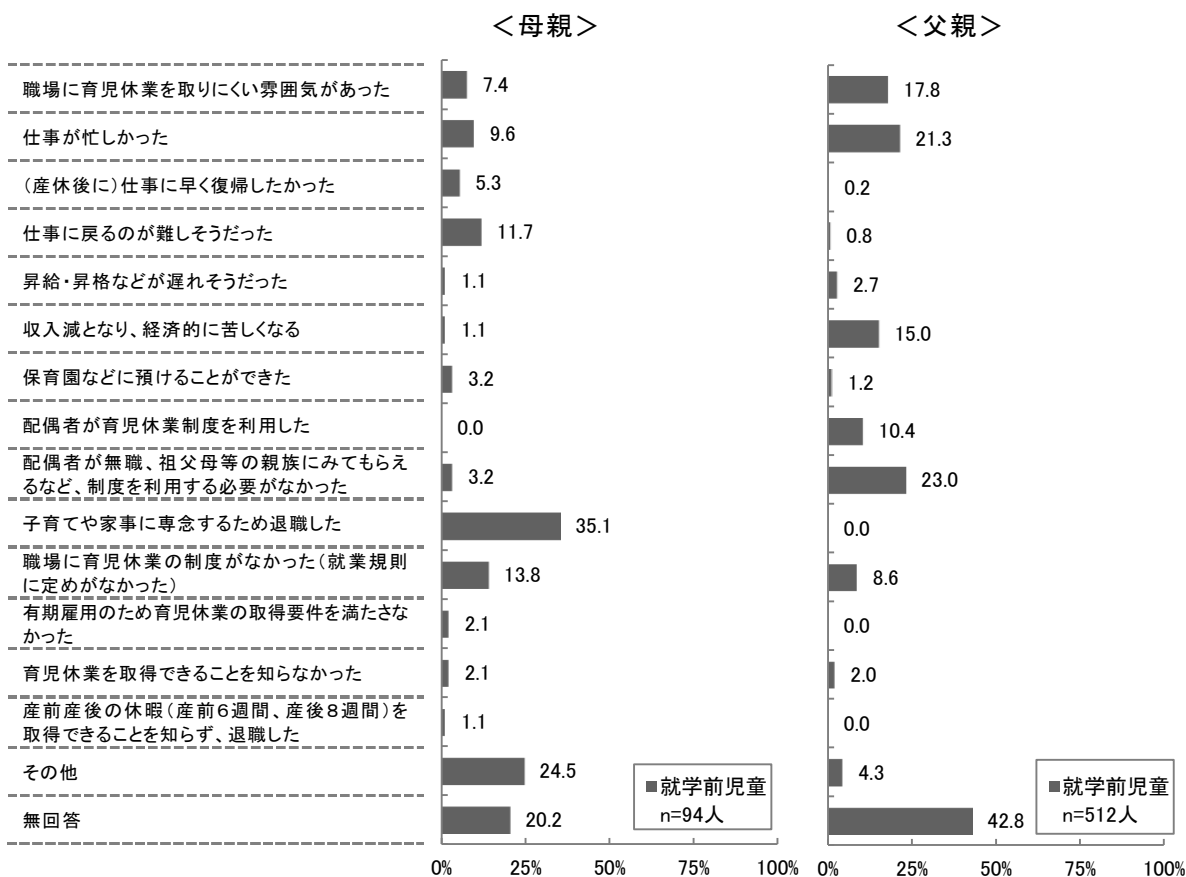
（母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

※取得していない方はその理由をご記入ください。



「3. 取得していない」に○をつけた方のみ。

【育児休業を取得していない理由】

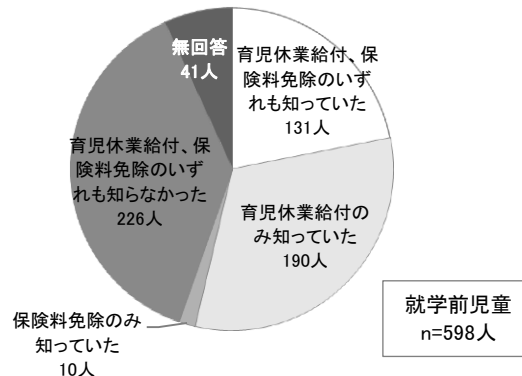


「育児休業取得後、職場に復帰した」方は母親、父親ともに半数以上。

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」方が、約3分の1を占めています。

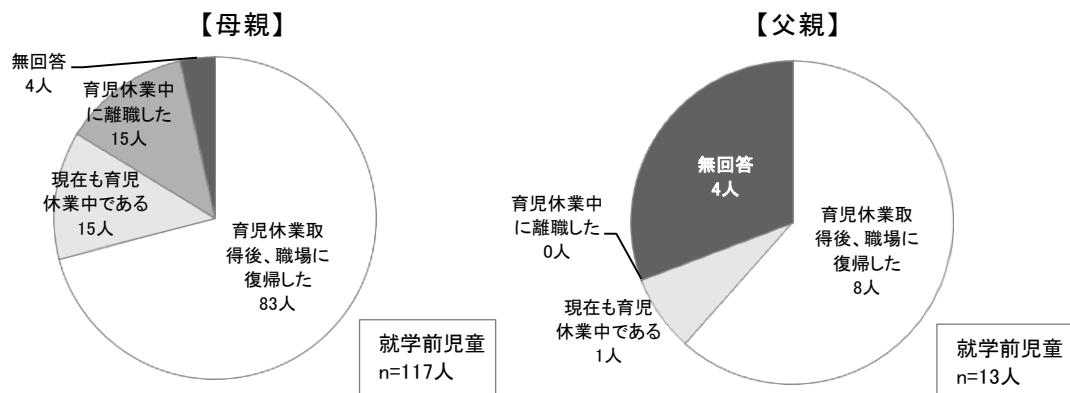
育児休業取得後、職場に復帰した方は全体の半数以上となっています。また、復帰のタイミングが、年度初め（4月）以外だった方が多くなっています。

問28-1 育児休業給付、社会保険料免除の仕組みについて、ご存じでしたか。（あてはまる番号1つに○）



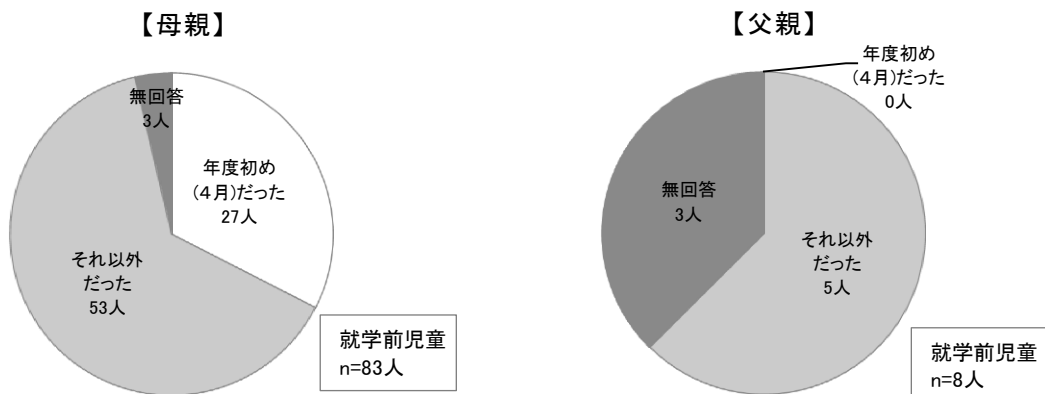
問28で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。

問28-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（あてはまる番号1つに○）



問28-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問28-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初め（4月）の保育園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（あてはまる番号1つに○）



実際の取得期間は、母親は「10－12ヶ月」、父親は「1－3ヶ月」が多い。

勤務先の休業制度や取得当時の希望では、母親の場合、「10－12ヶ月」「31ヶ月以上」が多くなっていますが、実際の取得期間では、「10－12ヶ月」が最も多くなっています。

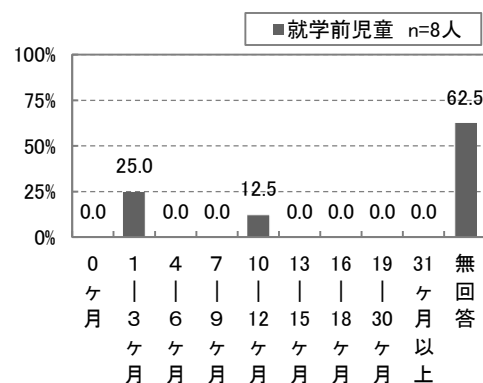
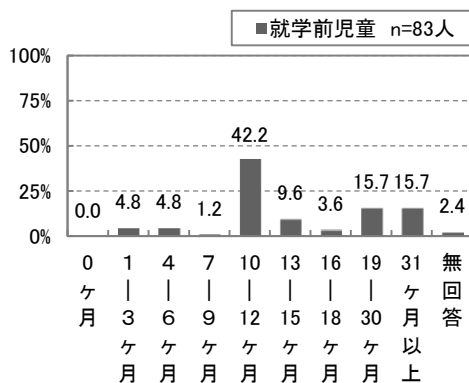
問28-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問28-4 お子さんが何歳何ヶ月のときに育児休業から職場復帰しましたか。
勤務先の育児休業制度での休業期間は何歳何ヶ月まで取れますか。
勤務先の育児休業制度の期間内で何歳何ヶ月まで取りたかったですか。

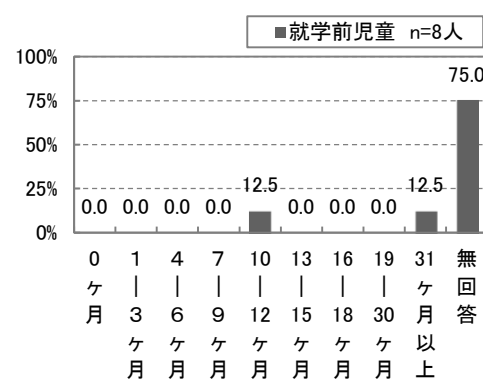
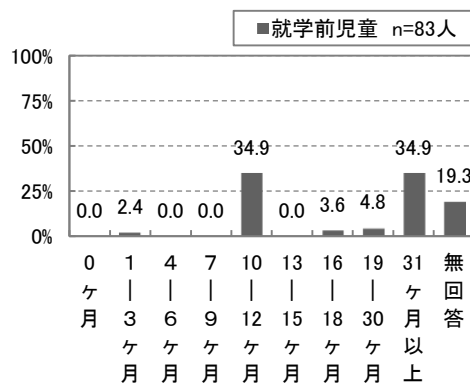
【母親】

<実際の取得期間>

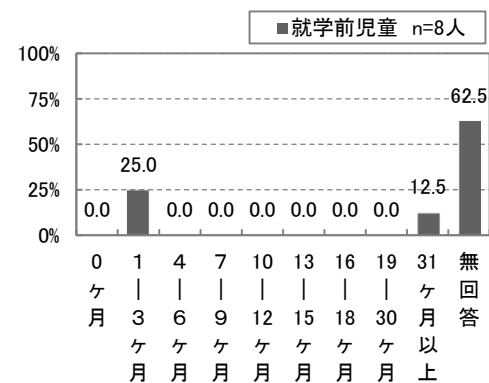
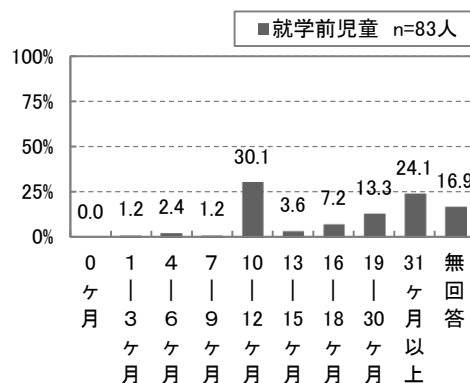
【父親】



<勤務先の休業制度>



<取得当時の希望>

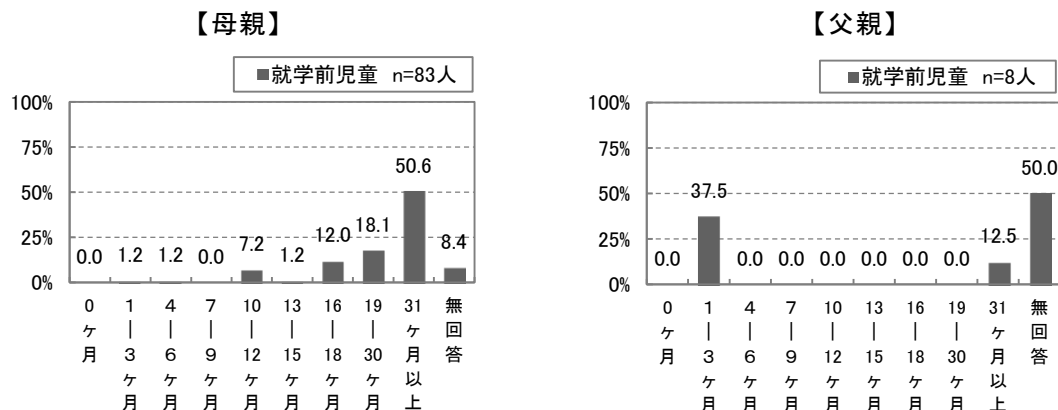


育児休業を「31ヶ月以上」取りたかった母親が約5割。

育児休業期間が3歳までであった場合、「31ヶ月以上」取りたかった母親が約5割となっています。また、希望より早く復帰した理由は、母親では「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が多くなっています。

問28-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

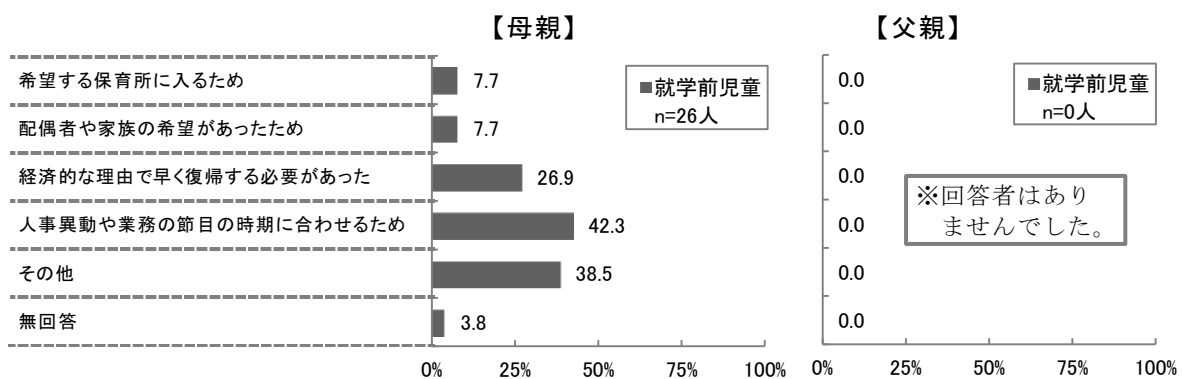
問28-5 勤務先の育児休業期間が3歳までであった場合、希望としてはお子さんが何歳何月のときまで取りたかったですか。



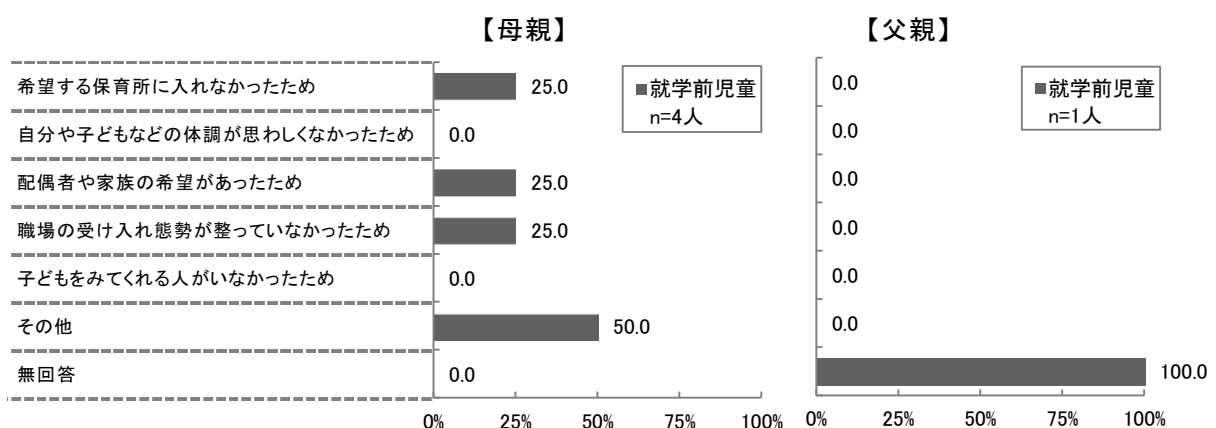
問28-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問28-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

①「希望」より早く復帰した方（あてはまる番号すべてに○）



②「希望」より遅く復帰した方（あてはまる番号すべてに○）

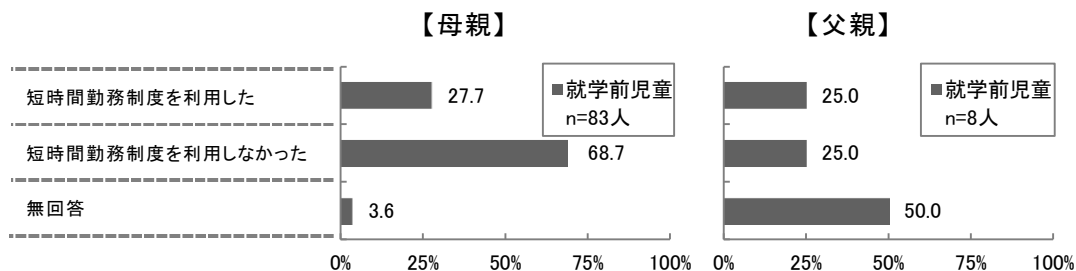


「短時間勤務制度を利用しなかった」就学前児童の母親が約7割。

就学前児童の母親で「短時間勤務制度を利用しなかった」方は約7割となっています。父親では利用した方と利用しなかった方が同じ割合となっています。利用しなかった理由は、母親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が多くなっています。

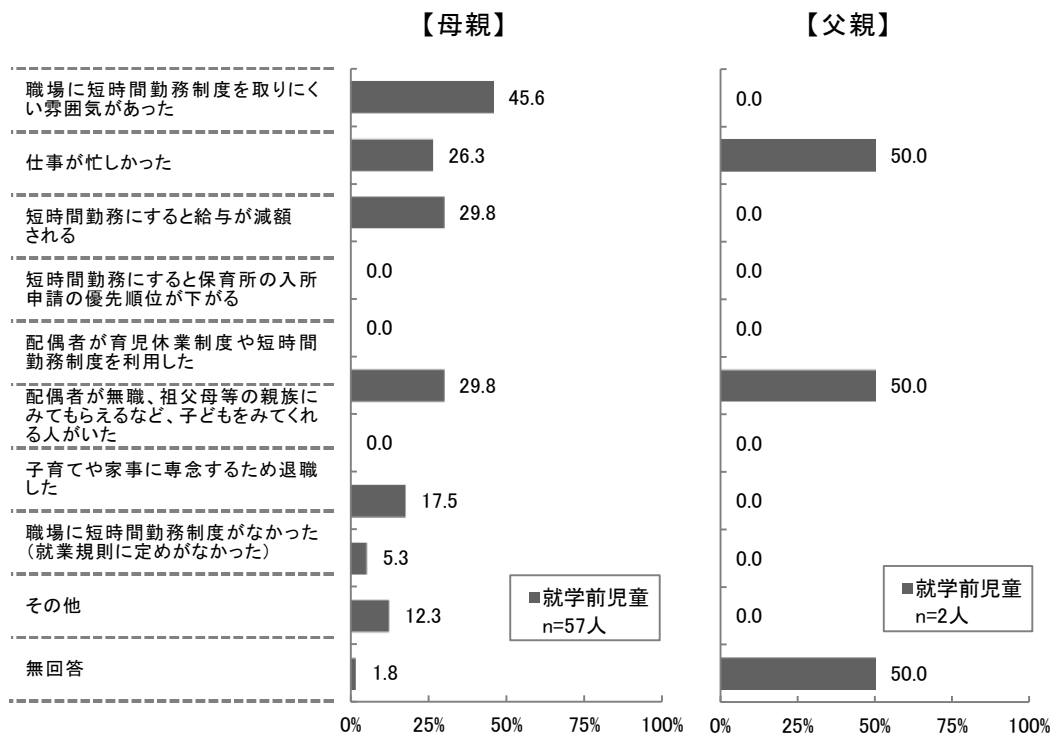
問28-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問28-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(あてはまる番号1つに○)



問28-7で「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」に○をつけた方にうかがいます。

問28-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

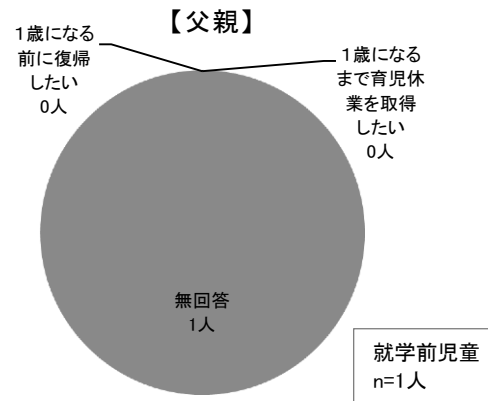
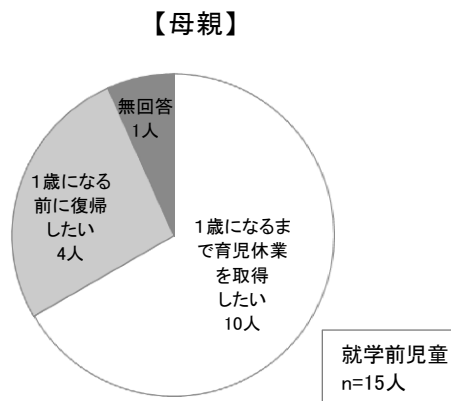


「1歳になるまで育児休業を取得したい」母親が多い。

お子さんが1歳になったときに必ず預けられる利用できる事業があれば、「1歳になるまで育児休業を取得したい」と回答する母親が多くなっています。

問 28-2 で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

問28-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。
(あてはまる番号1つに○)



2 地域の子育て支援の環境や支援への満足度

子育ての環境や支援への満足度は「普通」が最も多い。

子育ての環境や支援への満足度は、就学前児童、小学生ともに「普通」が最も多く、次いで、就学前児童は「やや満足」、小学生は「やや不満」が多くなっています。

問37(問22) お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。
(あてはまる番号1つに○)

